

第7次NACCS詳細仕様 (制度改革等を除く) 説明会資料

2023年5月～6月

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

目次

I	はじめに	P1
II	第7次 NACCS 開発コンセプト	P2
III	開発スケジュール	P3
IV	第7次 NACCS 更改の検討体制	P4
V	これまでの検討経緯	P6
VI	第7次 NACCS 主要変更点の概要	P7
VII	詳細仕様検討案件一覧	P12
VIII	詳細仕様検討結果	P18
<EDI 編>		
	ebMS 処理方式の廃止、netNACCS 処理方式の接続仕様公開	P19
	EDIFACT のバージョンアップ対応	P20
<共通編>		
	GW 配下用パッケージソフトの廃止	P23
	非同期電文の対象見直し	P24
	添付業務の改善（添付容量の拡大）	P26
	DB 保存期間の延長	P27
	第7次 NACCS における認証方法	P27
<UI・端末編>		
	帳票等への日時印字の改善	P28
	フォントやアイコンのモダン化	P29
	オートコンプリート対象項目の拡大	P30
	個人用入力チェック機能の追加	P30
	入力画面と出力帳票のレイアウト統一	P31
	グリッド対象の拡大	P31
	区切り表示項目の仕様変更	P32
	複数行項目での折り返し可能化	P32
	WebNACCS におけるユーザーインターフェースの見直し	P33
	WebNACCS 対象業務の拡大	P34
	携帯端末への対応	P34

<通関編>

航空・海上識別の選択の自動化	P35
「申告添付訂正（MSY01）」等の通信文のみの修正可能化	P37
納付書等出力先の改善	P37
共通管理番号の番号紐づけ数拡大	P38
共通管理番号の自動補完	P38
輸出入申告等一覧照会業務における全官署照会の可能化	P39
「当初輸入申告呼出し(修正申告)(DLI02)」業務における当初申告情報の呼出し可能権限の拡大	P39
「当初輸入申告呼出し（修正申告）（DLI02）」業務等実施後の呼出し処理可能時間の拡大	P40
「関税割当証明書裏落数量仮登録（TQC）」業務の裏落とし回数上限の引き上げ	P40
蔵入承認（IS）された貨物情報での移入承認（IM）申請の可能化	P41
更正通知書情報等の「社内整理用番号」追加	P41
「輸出申告事項登録（EDA）」業務等の「インボイス番号」項目の仕様変更	P42
管理資料「輸出申告一覧データ(H01)」の改善	P42
管理資料の追加（見本持出申請の一覧）	P43
包括保険業務の改善	P44
納期限延長に係るリアルタイム口座対応	P44
修正申告の審査業務 効率化	P46
特例申告業務の改善	P47
包括評価申告の個別業務化	P48
知的財産関係手続に係る各種通知の電子化	P49
機用品蔵入等承認申請の改善	P49
石油石炭税法第 15 条に基づく特例納付のシステム化	P50
減免戻し税等明細書提出のシステム化	P51

<貨物（共通）編>

貨物状況通知サービスの提供	P53
SIR 業務と EIR 業務の統合	P55
保税運送申告書申告番号の表示のスペース表示	P56

<貨物（航空）編>

「AWB 情報登録（輸入）呼出し（ACH11）」業務の改善	P57
「ロケーション情報登録(LOA01)」業務の改善	P58
「貨物取扱登録(特殊貨物)(CHT)」業務取消し時の仕様改善	P58
「搬出確認登録(一般)(OUT)」業務の改善	P59
「輸入便情報照会(HAWB)(IMF12)」業務の改善	P59
「保税蔵置場在庫状況照会(輸出)(IWH)」業務の改善	P60
航空貨物におけるラウンド運送機能の追加	P60
航空貨物における仮陸揚関連業務の改善	P61

<貨物（海上）編>

BL 番号枝番運用の改善	P63
「輸入貨物荷渡情報登録(DOR)」業務の通知先の追加	P64
「輸入コンテナ引取予定情報通知(ID 通知)(RSS01)」業務の改善	P64
積戻貨物に関する輸入本船名等の「G01 輸入貨物搬出入データ」への出力	P65
改装・仕分け後の「見本持出確認登録（MHO）」業務の改善	P65
「内国貨物運送申告(DCC)」業務等の改善	P66
内航船による外貿コンテナフィーダー手続	P66
バンニング情報における輸出管理番号登録可能件数の拡大	P67
「船積確認登録(CCL)」業務におけるパッケージソフトでの業種チェック	P69
許可・承認貨物（輸出）情報の改善	P70
ACL カスタマイズツールの改善	P70
ACL 業務のマーク欄、品名欄の改行(折り返し可能化)	P71
ACL 業務の入力可能文字の改善	P71
ACL 業務の入力項目の改善・ACL 業務の入力項目の追加	P72
ACL 業務の電文分割の改善	P72
「積荷目録状況照会(IMI)」業務の改善	P73
「貨物在庫状況照会（IWS）」業務の改善	P74
「貨物情報照会(ICG)」業務の改善	P74
「貨物取扱登録(改装・仕分け)(SHS)」業務等の帳票レイアウトの改善	P75
「システム外搬入登録(輸出許可済)(BIE)」業務の入力項目への「許可年月日」の追加等	P75

<輸入食品、動物検疫、植物検疫編>

通関係関連省庁添付登録業務(MSF)の改善	P76
-----------------------	-----

<輸入食品編>

IFA 業務等での蔵置場所チェック処理の追加	P78
輸入食品業務に係る紙申請業務の汎用申請化	P79
計画輸入届出の電子化	P80
見本採取票の電子化	P80

<動物検疫、植物検疫編>

動物検疫業務、植物検疫業務の管理資料の追加	P81
-----------------------	-----

<動物検疫編>

動物検疫所から申請者への連絡機能の追加	P83
輸入畜産物業務における受付項目の追加	P84
輸出畜産物検査申請一覧照会（EMI）業務における検査状況（現物検査）の出力値の見直し	P84

<植物検疫編>

電子植物検疫証明書（ePhyto）の開発	P85
輸出植物検査申請事項登録業務における「欄部項目入力」へのコピー & ペースト機能追加	P87
再輸出の検査申請時の「生産国の検査合格証明書」の初期設定値の変更	P87
申請情報の流用時のコードに紐づいた情報の出力及び植物等輸出検査申請控等の表示内容の追加	P88

<外為法編>

裏書業務における一括登録業務の新規追加	P89
外為法関連業務の Web 化	P90

<海上入出港編>

WebNACCS（海上入出港業務）の改善	P91
WVS 業務の改善	P93
CSV ファイル作成ツールの改善及び WUD 業務の改善	P94
WOT 業務の改善	P95
不開港から不開港への船舶出入港に係る許可申請のシステム可能化	P95
入港通報等の添付ファイル機能の追加	P96
検疫所への本邦寄港地情報の通知	P96

<利用申込編>

利用申込手続の改善.....	P97
----------------	-----

第 7 次 NACCS に関する情報、問合せ先.....	P99
------------------------------	-----

便利な機能のご紹介.....	P100
----------------	------

I はじめに

I はじめに

はじめに

本資料は2025年10月に予定している第7次NACCS更改に向けて、2019年8月から本年4月まで合計21回にわたって開催したワーキンググループ（WG）において検討を行った詳細仕様の検討結果について、中間取りまとめとして作成した資料ですが、いずれも最終確定となっているものではありません。（ただし、取りまとめ内容は情報処理運営協議会、第7次NACCS更改専門部会において了承を得た内容となります。）

詳細仕様は現在も引き続き検討を行っている段階であり、最終確定時期は2024年3月を予定しております。
従いまして、本資料の記載内容は今後変更等がありえますので、あらかじめご承知おきいただきますようお願いいたします。

今回の説明会においては、自社システムに影響を及ぼす可能性のある項目、お客様の現在の業務処理に大きく影響を与える項目等、更改に向けて早いタイミングでお知らせしておく必要がある項目を中心に説明させていただきます。
詳細仕様全体につきましては、2024年3月の詳細仕様確定後、改めて説明させていただく予定としております。

お客様におかれましては、本資料を自社システム影響や業務処理見直しの有無等を確認、検討するための資料として、ご活用いただければと考えております。なお、本資料中の各案件の説明ページにはワーキンググループ（WG）の開催回を記載しておりますので、詳細な内容については弊社ホームページに掲載している資料をご参照いただきますようお願いいたします。

また、業務仕様書、EDI仕様書等、必要な情報についてもご提示できるタイミングとなりましたら、順次掲載することを予定しておりますので、併せてご利用いただければと思います。（最終確定は2024年3月以降となります。）

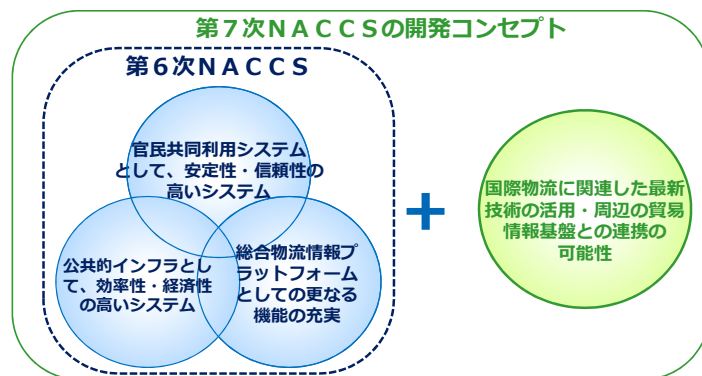
Ⅱ 第7次NACCS開発コンセプト

Ⅱ 第7次NACCS開発コンセプト

第7次NACCS更改における開発コンセプト

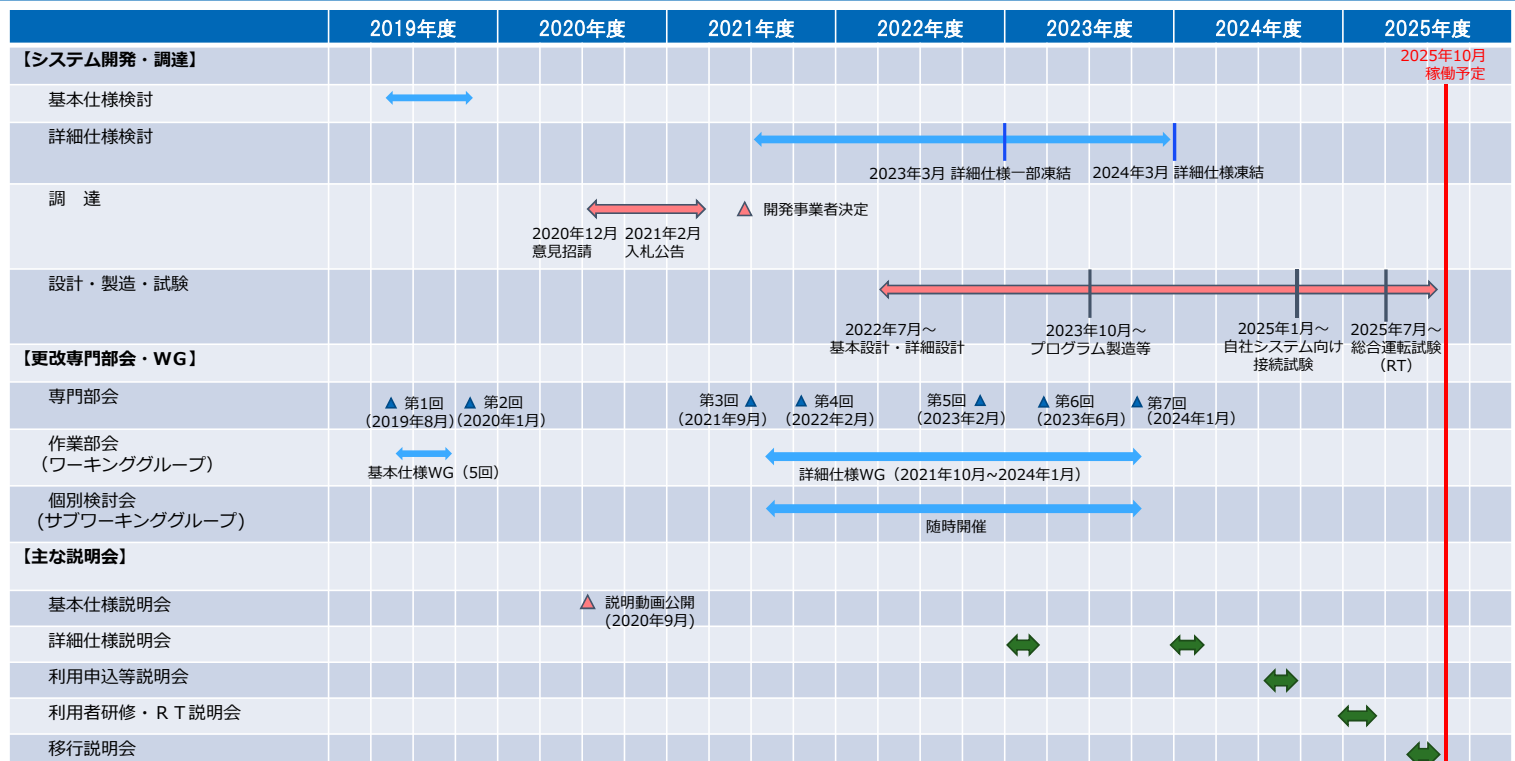
第7次NACCS更改に当たっては、3要素に下記4を加えた以下の4つのコンセプトにより開発を進めることとする。

1. 官民共同利用システムとして、安定性・信頼性の高いシステム
 - システムの安定性・信頼性を確保するシステム更改の実現
 - 強固な情報セキュリティ対策の実現に向けたシステム構築の検討
 - 大規模災害時および大規模障害時におけるバックアップ機能の更なる見直し
2. 公共的インフラとして、効率性・経済性の高いシステム
 - システムの効率性・経済性を確保するシステム構成の見直し
 - システム開発コストの低減化の検討
 - サーバの仮想化、クラウド化によるリソースの有効活用の検討
3. 総合物流情報プラットフォームとしての更なる機能の充実
 - 更なる利便性の向上を目指したプログラム変更、新規業務の検討
 - インターネット経由による新たな自社システム接続方式の検討
 - 様々なユースケースに柔軟に応えるタブレット端末等によるNACCS利用の検討
4. 国際物流に関連した最新技術の活用・周辺の貿易情報基盤との連携の可能性
 - 最新技術の実用性の検討
 - 官民で検討されている各種デジタルプラットフォーム（貿易情報基盤）との連携の可能性の検討
 - 国際連携機能の更なる拡大の検討



Ⅲ 開発スケジュール

Ⅲ 開発スケジュール

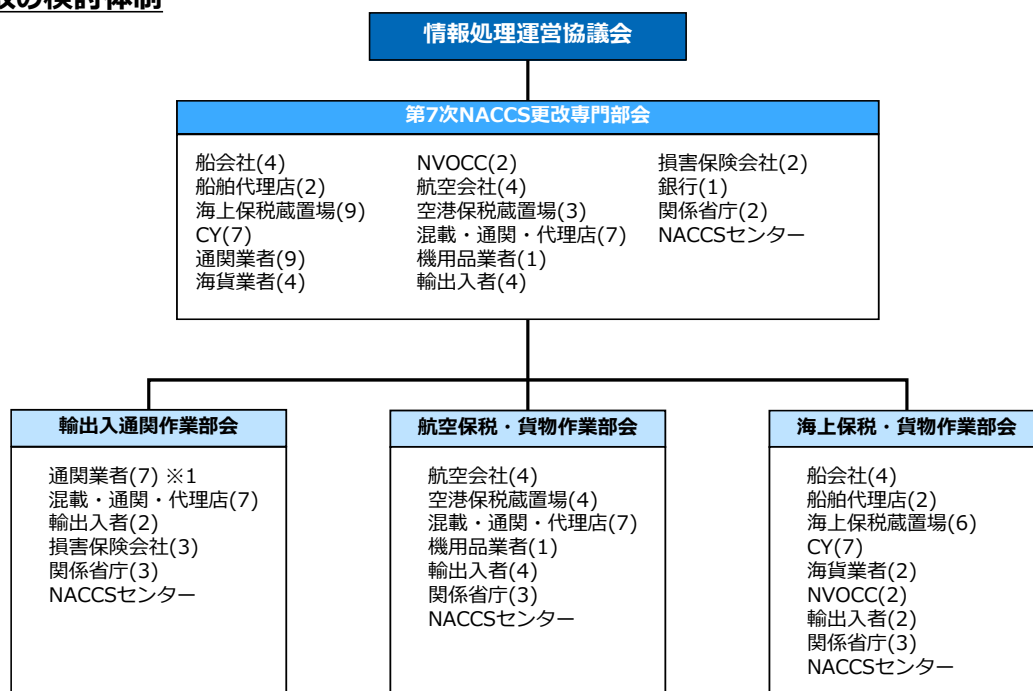


※開催年月については、現時点での予定であり進捗状況により変更する場合があります

Ⅳ 第7次NACCS更改の検討体制

Ⅳ 第7次NACCS更改の検討体制

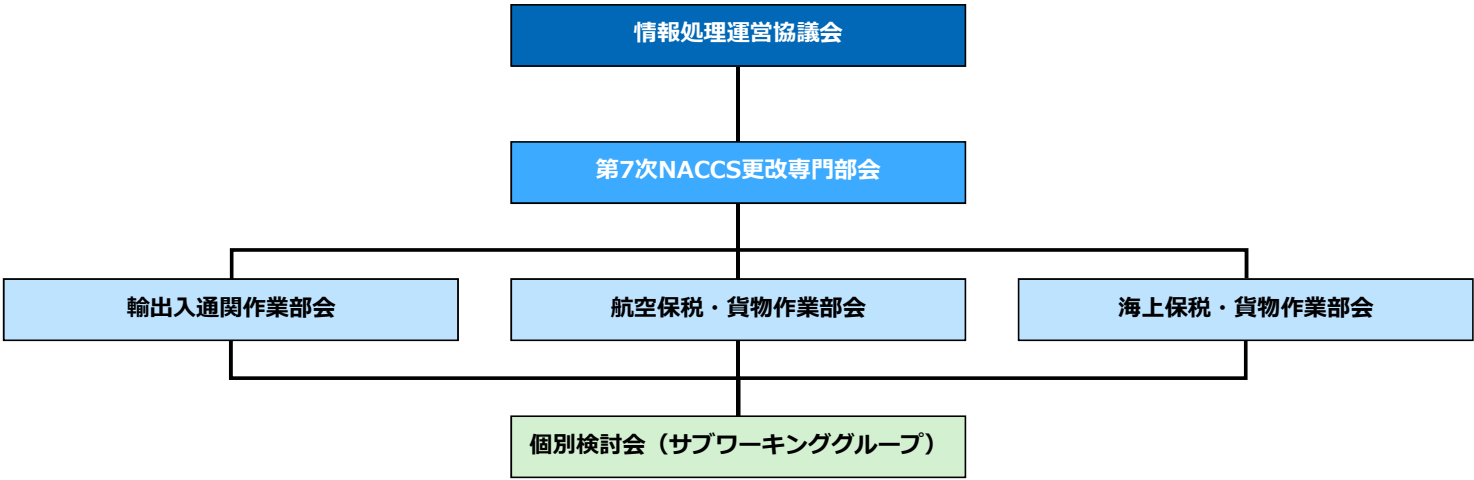
第7次NACCS更改の検討体制



※1 通関業者を1社追加

※ () 内は委員数を表す

基本的には作業部会において議論を進めることとなりますが、検討する案件により、必要に応じて個別検討会（サブワーキンググループ）を設置し、検討を進めたいと考えています。



V これまでの検討経緯

V これまでの検討経緯

No.	年月日	会議名	会議内容
1	2019年3月8日	第11回 情報処理運営協議会	第7次NACCS専門部会の設置を審議・承認
2	2019年8月8日	第1回 第7次NACCS更改専門部会	第7次NACCS基本仕様の検討を開始
3	2020年1月16日	第2回 第7次NACCS更改専門部会	第7次NACCS基本仕様書の審議・承認
4	2020年3月5日	第12回 情報処理運営協議会（中止※）	第7次NACCS基本仕様書の共有
5	2021年3月5日	第13回 情報処理運営協議会（中止※）	第7次NACCS更改の進捗状況の共有
6	2021年9月16日	第3回 第7次NACCS更改専門部会	開発ベンダー決定のご報告 第7次NACCS詳細仕様の検討を開始
7	2022年2月10日	第4回 第7次NACCS更改専門部会	第7次NACCS詳細仕様検討の進捗状況を報告
8	2022年3月4日	第14回 情報処理運営協議会（中止※）	第7次NACCS詳細仕様検討の進捗状況を共有
9	2023年2月2日	第5回 第7次NACCS更改専門部会	第7次NACCS詳細仕様案（制度改正等を除く）の 審議・承認
10	2023年3月3日	第15回 情報処理運営協議会	第7次NACCS詳細仕様案（制度改正等を除く）の 審議・承認

※新型コロナウイルス感染拡大のため資料送付のみ

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

区分	No.	案件名	案件概要	資料P
EDI	1	ebMS処理方式の廃止 netNACCS処理方式の接続仕様公開	ebMS処理方式を廃止する。 netNACCSのインターフェースの仕様を公開(API公開)する。	19
	2	EDIFACTバージョンアップ対応	第7次NACCSでは、現行バージョンに対応した機材のサポート期間終了に伴い、自社システム(EDIFACT)利用者への影響を考慮し、2021年前期バージョン(D21A)を採用する。航空のEDIFACT対象業務については、バージョンアップは行わない方針とする。	20
共通	1	GW配下用パッケージソフトの廃止	GW配下用パッケージソフト(メール処理方式)を提供終了する。それに伴いメール型宛先管理機能を強化する。	23
	2	非同期電文の対象見直し	開庁時申告時や共同利用端末からの申告時についても、通常申告通りEXZ型電文として申告端末に出力するように変更する。申込業務に対する回答通知をEXZ型電文として申込端末に出力する。	24
	3	添付業務の変更(添付容量の拡大)	添付業務における添付ファイル容量の制限値を拡大する。	26
	4	第7次NACCSにおける認証方法	第7次NACCSにおけるインターネット経由の接続における認証方法は、多要素認証方式を引き続き採用することとし、多要素認証方法においては、引き続き『デジタル証明書』による認証を行う。	27

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

区分	No.	案件名	案件概要	資料P
UI 端末	1	NACCS のパッケージソフトのユーザーインターフェース改善	以下の改善を行う。 ・フォントやアイコンのモダン化 ・オートコンプリート対象の拡大 ・個人用入力チェック機能をオプション機能として構築 ・税関の入力画面と出力される帳票の横幅の桁ずれへの対処 ・グリッド対象機能の拡大 ・帳票等への日時印字の改善 ・複数行項目の折り返し可能化 ・区切り表示項目の仕様変更	28~32
	2	WebNACCSにおけるユーザーインターフェースの見直し	利便性、操作性等の大幅な向上を目的に、画面遷移、レイアウト、デザイン等について改善を行う。	33
	3	WebNACCS対象業務の拡大	新たに以下6業務をWebNACCS対象業務に追加する。 包括保険確認登録(HKA)業務、包括保険確認登録呼出し(HKB)業務、 為替レート照会(IER)業務、担保照会(IAS)業務、担保一覧照会(IAS01)業務、 混載貨物状況照会(IIC)業務	34
	4	携帯端末への対応(港湾関連業務以外)	「輸出入通関・貨物関連業務」の対象業務について、従来のパソコン向けのページレイアウトに加え、スマートフォン・タブレット向けのページレイアウトを提供する。	34

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

区分	No.	案件名	案件概要	資料P
通関	1	納付書情報等出力先の改善	航空申告分の納付書情報の出力先として、代表通関業者を設定可能とする。	37
	2	共通管理番号の番号紐づけ数拡大	共通管理番号に紐づけ可能な他法令届出・申請件数を最大297件に拡大する。	38
	3	共通管理番号の自動補完	共通管理番号へリンクを選択した場合で共通管理番号の入力が無い場合は、先行の他法令業務で払い出された共通管理番号を自動補完し、リンクする。	38
	4	輸出入申告等一覧照会業務における全官署照会の可能化	輸出入申告等一覧照会業務において、以下の変更を行う。 「税関官署コード」欄に「AL」が入力された場合は、あて先官署単位に全官署のデータを出力する。 「通関士コード」欄、「輸出入者コード」欄を項目追加し、入力したコードで絞り込んだ照会を可能とする。 出力画面(照会結果が出力された画面)から申告官署等を繰り返し入力し展開可能にする。	39
	5	「当初輸入申告呼出し(修正申告)(DLI02)」業務における当初申告情報の呼出し可能権限の拡大	DLI02業務に「当初申告利用者コード」および「当初B/L番号／AWB番号」を項目追加し、DLI02業務実施者と当初申告者が異なる場合は、追加項目を必須とし呼出し処理を可能とする。	39
	6	見本持出申請一覧の管理資料の追加	管理資料として新たに「見本持出許可申請一覧データ」を追加し、前月中の見本持出許可および見本持出許可取消に関するデータを収集し、一覧形式で提供する。	43

VI 第7次NACCS主要変更点の概要



区分	No.	案件名	案件概要	資料P
通関	7	納期限延長に係るリアルタイム口座対応	関税等の納期限延長制度(個別納期限延長、包括納期限延長、特例納期限延長)を利用した申告について、リアルタイム口座振替による納付を可能とする。	44
	8	修正申告の審査業務 効率化	修正申告に税額計算機能を備えた新規業務を設ける。	46
	9	特例申告業務の改善	特例申告控情報に添付書類提出の有無を表示し、特例申告時に提出すべき添付書類の有無を確認可能とする。 NACCSに特例申告期限内訂正の業務を新設する。 一括特例申告事項登録(TKA01)業務について、輸入(引取)申告番号をシステムで補完する。	47
	10	税関手続における新規業務の追加	汎用申請またはマニュアル手続で行っている下記業務に対応する業務を新設する。 ・ 包括評価申告の個別業務化 ・ 石油石炭税法第15条に基づく特例納付のシステム化 ・ 減免戻し税等明細書提出のシステム化	48～51

VI 第7次NACCS主要変更点の概要



区分	No.	案件名	案件概要	資料P
貨物 (共通)	1	貨物状況通知サービスの提供	通知を必要とする貨物とその通知契機を事前に登録すると、保税地域への搬入や輸出入許可などの貨物情報の更新時に、リアルタイムに登録者端末宛てに通知する業務を新設する。	53
貨物 (航空)	1	「搬出確認登録(一般)(OUT)」業務の改善	OLT貨物に関するOUT入力をAWB単位ではなく、保税運送申告番号から対象のAWB番号を呼び出すことが可能となるよう呼出業務を新設する。	59
	2	航空貨物におけるラウンド運送機能の追加	保税運送申告(一般)(OLT01)業務に新規運送種別「Q(検疫等の経由運送)」を追加し、当該種別を使用した場合に、再搬入を可能とする。 マニュアルでの保税運送申告について、ラウンド運送に限らず、搬出後に貨物情報を削除することなく、搬入確認登録(システム対象内保税運送)(BIN01)業務での搬入を可能とする。	60
	3	航空貨物における仮陸揚関連業務の改善	・ 混載仮陸揚貨物の空港間保税運送をシステムで手続可能とする。 ・ 航空会社蔵置場における仮陸揚貨物の搬出先として、航空会社蔵置場以外の蔵置場も選択可能とする。 ・ 混載仮陸揚貨物の仕分け・仕合せをシステムで一貫して手続可能にする。	61

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

区分	No.	案件名	案件概要	資料P
貨物 (海上)	1	B/L番号枝番運用の改善	予備申告を枝番付きの貨物で行う場合、その後の貨物情報仕分け(CHJ)業務または貨物取扱登録(改装・仕分け)(SHS)業務の枝番払出し処理において、該当枝番が存在した場合は、新たに枝番を払い出さずに、該当枝番の貨物を更新する。	63
	2	「輸入貨物荷渡情報登録(DOR)」業務の通知先の追加	DOR業務において、通知先の入力有無にかかわらず、船卸前は貨物管理番号に登録されたコンテナオペレーション会社、船卸後は貨物の蔵置場所を管理する利用者に帳票を出力する仕様とする。	64
	3	内航船による外貿コンテナフィーダー手続	内航船単位に複数コンテナの積込(搬出)登録および陸揚(搬入)登録が可能な業務を新設する。	66
	4	バンニング情報における輸出管理番号登録可能件数の拡大	1コンテナに対して登録可能な輸出管理番号を最大6,000件とする。 バンニング情報追加(VAA)業務にて1送信で登録できる輸出管理番号数を100件まで拡大する。 本改変の対象帳票の輸出管理番号の繰り返し数を最大1,500件に変更する。	67

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

区分	No.	案件名	案件概要	資料P
貨物 (海上)	5	ACL業務の改善	以下、改善を行う。 ・ACL01業務、ACL02(ACL情報登録(在来船・自動車船用))業務のマーク欄、品名欄等の複数行項目において折り返しを可能とする。 ・品名欄、記号番号欄等の電文分割について、メール処理方式におけるEXC型電文の分割可否を選択可能とする。 ・「_(アンダーバー)」及び「~(チルダ)」の入力を一部項目において可能とする。 ・荷主連絡先メールアドレス欄を3欄とする。 ・コンテナ番号入力欄に内個数・OVER HEIGHT・OVER WIDTH・OVER LENGTHの入力欄を設ける。 ・シール欄を6欄に増やす。	70~72

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

区分	No.	案件名	案件概要	資料P
輸入食品 動物検疫 植物検疫	-	通関系関連省庁添付登録業務(MSF)の改善	通関系関連省庁添付登録(通関系関連省庁添付登録(検疫所(食品))(MSF01)、通関系関連省庁添付登録(動物検疫所、植物防疫所)(MSF02))業務に対応した訂正業務及び照会業務を新設する。	76
輸入食品	-	輸入食品業務に係る紙申請業務の汎用申請化	輸入食品業務に関連する検疫所への汎用申請業務を新設する。 ※対象とする手続は検討中	79
動物検疫 植物検疫	-	動物検疫業務、植物検疫業務の管理資料の追加	NACCSを利用して行われた動物検疫・植物検疫関連業務について、通関業務取扱明細簿の記載項目に即した件数等の把握が可能となる新規管理資料(動物・植物申請一覧データ)を提供し、動物検疫・植物検疫関連業務の件数等の把握を可能とする。	81
動物検疫	-	申請者への連絡機能の追加	動物検疫所の業務に申請者への連絡機能を追加し、NACCS電文又はメールにて通知内容を確認可能とする。	83
植物検疫	-	電子植物検疫証明書(ePhyto)の開発	植物検疫関連業務で電子植物検疫証明書(ePhyto)を用いた業務を実施可能とする。	85
外為法	-	外為法関連業務のWeb化	外為法関連業務の申請業務をWebNACCSより実施できるようにする	90

VI 第7次NACCS主要変更点の概要

区分	No.	案件名	案件概要	資料P
海上 入出港	1	WebNACCS（海上入出港業務）の改善	利便性、操作性等の大幅な向上を目的として抜本的な変更を行う。 また、タブレット端末を想定したモバイル対応を行う。	91
	2	WVS業務の改善	利用者が入出港関連の帳票を確認・取得する業務が二つのパターンに分かれているため、統一化する。 (入出港関連の帳票は書類状態確認(WVS)業務で確認・取得するよう一本化する。)	93
利用申込	-	利用申込手続の改善	2段階申し込み(システム設定申し込み)の設定内容をNACCSの利用者設定業務(U業務)から設定するようにする。	97

VII 詳細仕様検討案件一覧

VII 詳細仕様検討案件一覧

No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
1	EDI	ebMS処理方式の廃止 netNACCS処理方式の接続仕様公開	ebMS処理方式を廃止する。 netNACCSのインターフェースの仕様を公開(API公開)する。	第8回 第16回	19
2	EDI	EDIFACTバージョンアップ対応	第7次NACCSでは、現行バージョンに対応した機材のサポート期間終了に伴い、自社システム(EDIFACT)利用者への影響を考慮し、2021年前期バージョン(D21A)を採用する。航空のEDIFACT対象業務については、バージョンアップは行わない方針とする。	第7回 第16回*	20
3	共通	GW配下用パッケージソフトの廃止	GW配下用パッケージソフト(メール処理方式)を提供終了する。それに伴いメール型宛先管理機能を強化する。	第6回 第15回	23
4	共通	非同期電文の対象見直し	開庁時申告時や共同利用端末からの申告時についても、通常申告通りEXZ型電文として申告端末に出力するように変更する。申込業務に対する回答通知をEXZ型電文として申込端末に出力する。	第6回 第9回	24
5	共通	添付業務の変更(添付容量の拡大)	添付業務における添付ファイル容量の制限値を拡大する。	第17回	26
6	共通	DB保存期間の見直し	修正申告、関税等更正請求、共通管理番号にかかるDB保存期間を延長する。	第19回	27
7	共通	第7次NACCSにおける認証方法	第7次NACCSでの認証方法については、第6次NACCSと同様にデジタル証明書による多要素認証を行うこととし、各課題について対策を行う。	第19回	27

*資料1「WGへの検討課題提案状況」により検討結果報告を実施

VII 詳細仕様検討案件一覧



No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
8	UI・端末	NACCS のパッケージソフトの ユーザーインターフェース改善	以下の改善を行う。 ・フォントやアイコンのモダン化 ・オートコンプリート対象の拡大 ・個人用入力チェック機能をオプション機能として構築 ・税関の入力画面と出力される帳票の横幅の桁ずれへの対処 ・グリッド対象機能の拡大 ・帳票等への日時印字の改善 ・複数行項目の折り返し可能化 ・区切り表示項目の仕様変更	第9回 第15回 第16回 第17回	28~32
9	UI・端末	WebNACCSにおけるユーザーインターフェースの見直し	利便性、操作性等の大幅な向上を目的に、画面遷移、レイアウト、デザイン等について改善を行う。	第14回	33
10	UI・端末	WebNACCS対象業務の拡大	新たに以下6業務をWebNACCS対象業務に追加する。 包括保険確認登録（HKA）業務、包括保険確認登録呼出し（HKB）業務、 為替レート照会（IER）業務、担保照会（IAS）業務、 担保一覧照会（IAS01）業務、混載貨物状況照会（IIC）業務	第14回	34
11	UI・端末	携帯端末への対応	「輸出入通関・貨物関連業務」の対象業務について、従来のパソコン向けのページレイアウトに加え、スマートフォン・タブレット向けのページレイアウトを提供する。混載貨物状況照会(IIC)業務をWebNACCS対象業務として追加する。	第14回	34

VII 詳細仕様検討案件一覧



No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
12	通関	航空・海上識別の選択の自動化	申告番号からシステム識別を自動判定し、申告可能とする。	第11回 第13回 第15回	35
13	通関	「申告添付訂正(MSY01)」等の通信文のみの修正可能化	「申告添付訂正（MSY01）」業務において、「通信欄」のみの変更を可能とする。	第11回 第16回*	37
14	通関	納付書情報等出力先の改善	航空申告分の納付書情報の出力先として、代表通関業者を設定可能とする。	第10回 第14回 第17回 第19回	37
15	通関	共通管理番号の番号紐づけ数拡大	共通管理番号に紐づけ可能な他法令届出・申請件数を最大297件に拡大する。	第12回 第16回	38
16	通関	共通管理番号の自動補完	共通管理番号へリンクを選択した場合で共通管理番号の入力が無い場合は、先行の他法令業務で払い出された共通管理番号を自動補完し、リンクする。	第12回	38
17	通関	輸出入申告等一覧照会業務における全官署照会の可能化	輸出入申告等一覧照会業務において、「税関官署コード」欄に「AL」が入力された場合は、あて先官署単位に全官署のデータを出力する。「通関士コード」欄、「輸出入者コード」欄を項目追加し、入力したコードで絞り込んだ照会を可能とする。 出力画面(照会結果が出力された画面)から申告官署等を繰り返し入力し展開可能にする。	第10回	39
18	通関	「当初輸入申告呼出し(修正申告)(DLI02)」業務における当初申告情報の呼出し可能権限の拡大	当初申告した通関業者以外でも呼び出し可能とする。自社通関の場合でも輸入許可通知書へ利用者コードを出力するよう変更し、当初申告した利用者コードを入力する仕様とする。	第11回	39
19	通関	DLI02「当初輸入申告呼出し(修正申告)」業務の利用可能時間の拡大	当初輸入申告情報呼出し業務の呼出し処理可能時間を原則24時間可能とする。 ただし、一部の時間帯については呼出し処理起動までの時間制限を設けることとする。	第11回	40

* 資料1「WGへの検討課題提案状況」により検討結果報告を実施

Ⅶ 詳細仕様検討案件一覧

No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
20	通関	TQC(関税割当裏落内容仮登録)業務の裏落とし回数上限の引き上げ	登録可能な裏落内容の件数を300件から999件に拡大し、欄部を300件から999件に変更する。	第10回	40
21	通関	蔵入承認(IS)された貨物情報での移入承認(IM)申請の可能化	蔵入承認貨物のシステム管理選択をした保税蔵置場にて移入承認申請、総保入承認申請を行った場合、その旨を貨物情報に登録する。貨物管理有蔵置場における蔵入承認後の移入承認申請、総保入承認申請に向けた「輸入申告事項呼出し(IDB)」業務を実施可能とする。	第10回	41
22	通関	更正通知書情報等の「社内整理用番号」追加	関税更正通知書にも社内整理用番号欄を新設する。	第9回	41
23	通関	「輸出申告事項登録(EDA)」業務等の「インボイス番号」項目の仕様変更及び、管理資料「H01 輸出申告一覧データ」等の改善	・輸出申告事項登録(EDA)業務等のインボイス番号にアンダーバーを入力可能とする。 ・EDA(輸出申告事項登録)業務、IDA(輸入申告事項登録)業務の仕入書番号、インボイス番号について、民間向け管理資料にて""を付加する。管理資料「H01(輸出申告一覧データ)」、「I57(包括保険使用実績データ)」について、仕入書番号を文字項目扱いとする。 ・管理資料「H01(輸出申告一覧データ)」および「I51(輸入申告一覧データ)」に「通関士コード」の項目を追加する。 ・輸出取止め再輸入申告の一覧および特例輸出貨物の輸出許可取消しを管理資料の出力対象項目として追加する。	第12回	42
24	通関	管理資料の追加(見本持出し申請の一覧)	管理資料として新たに「見本持出許可申請一覧データ」を追加し、前月中の見本持出許可および見本持出許可取消に関するデータを収集し、一覧形式で提供する。	第7回	43
25	損保	包括保険関連業務の改善	現在のパスワード桁数は4桁となっているが、12桁まで桁数を拡張する。 現在は保険識別「C&F」だが、保険識別「CFR」に変更する。 料率変更時に適用開始年月日が訂正前と同じ場合はワーニングとするエラーチェックを追加する。	第13回	44
26	通関	納期限延長に係るリアルタイム口座対応	関税等の納期限延長制度(個別納期限延長、包括納期限延長、特例納期限延長)を利用した申告について、リアルタイム口座振替による納付を可能とする。	第16回 第19回	44

Ⅶ 詳細仕様検討案件一覧

No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
27	通関	修正申告の審査業務効率化	修正申告に税額計算機能を備えた新規業務を設ける。	第19回 第21回	46
28	通関	特例申告業務の改善	特例申告控情報に添付書類提出の有無を表示し、特例申告時に提出すべき添付書類の有無を確認可能とする。 NACCSに特例申告期限内訂正の業務を新設する。 一括特例申告事項登録(TKA01)業務について、輸入(引取)申告番号をシステムで補完する。	第19回	47
29	通関	包括評価申告の個別業務化	包括評価申告書の項目を網羅した個別業務を新設する。汎用申請(HYS)業務又は書面提出された包括評価申告書については税関で登録を行う。	第19回	48
30	通関	知的財産関係手続に係る各種通知の電子化	税関から権利者等に対し郵送している認定手続開始通知書等の知的財産関係手続通知書について、個別業務を新設し、電子的な送信を可能とする。	第18回	49
31	通関	機用品蔵入等承認申請の改善	機用品蔵入等承認申請事項登録(CTA)業務の入力項目「他法令」に「WA：ワシントン該当」の入力を可能としその際、帳票に原紙提出要を出力する。 機用品蔵入等承認申請照会(ICT)業務における出力項目に「審査検査区分識別」を追加し、通関関係書類の提出要否判定結果を照会可能とする。	第16回	49
32	通関	石油石炭税法第15条に基づく特例納付のシステム化	石油石炭税法第15条に基づく納税申告について、システムでの申告及び納税を可能とする。	第19回	50
33	通関	減免戻し税等明細書提出のシステム化	一部の減免戻し税等明細書について、各様式の項目を網羅した個別業務を新設し、輸入申告で提出した明細書の紐づけを可能とする。	第18回	51

Ⅶ 詳細仕様検討案件一覧



No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
34	貨物 (共通)	貨物状況通知サービスの提供	通知を必要とする貨物とその通知契機を事前に登録すると、保税地域への搬入や輸出入許可などの貨物情報の更新時に、リアルタイムに登録者端末宛てに通知する業務を新設する。	第13回 第14回 第16回	53
35	貨物 (共通)	オンライン業務の統廃合 SIR/EIR業務の統合	S/I情報登録(EIR)業務(航空)を船積指図書(S/I)情報登録(SIR)業務(海上)へ統合し、海上航空共通のSIR業務に変更する。	第8回	55
36	貨物 (共通)	保税運送申告書申告番号の表示のスペース表示	保税運送申告番号等の帳票および画面の表示を輸出入許可通知情報の申告等番号と同様の3桁 4桁 4桁の区切りとする。 また、保税運送申告番号等の他、輸出申告入力控情報等で画面上区切りのない番号(輸出等申告番号(輸出取止め再輸入含む)・別送品輸出申告番号・機用品蔵入承認申請番号)については新たに区切って表示する。	第12回	56
37	貨物 (航空)	「AWB情報登録(輸入)呼出し(ACH11)」業務の改善	ACH11業務において、予めシステムに登録された航空会社と受託航空会社(グランドハンドリング会社等)との受委託関係を判断し、受委託関係がある場合は、ADM01業務で登録された情報を受託航空会社(グランドハンドリング会社等)が呼出し可能とする。	第12回	57
38	貨物 (航空)	「ロケーション情報登録(LOA01)」業務の改善	HAWB情報登録(輸入)(HCH01)業務が行われたMAWBであっても、搬出確認登録(一般)(OUT)業務までの間についてLOA01業務の実施を可能とする。	第7回	58
39	貨物 (航空)	「貨物取扱登録(特殊貨物)(CHT)」業務 取消し時の仕様改善	CHT業務の入力に「取扱番号」の項目追加を行い、取扱番号単位の取消しを可能とする。	第9回	58
40	貨物 (航空)	「搬出確認登録(一般)(OUT)」業務の改善	OLT貨物に関する搬出確認登録(一般)(OUT)業務をHAWB単位でなく申請単位で行う事を可能とする。	第7回	59
41	貨物 (航空)	「輸入便情報照会(HAWB)(IMF12)」業務 の改善	照会区分「D」の場合でも、便名の入力を可能とし、入力した便名で登録された不突合HAWB貨物の照会を可能とするよう変更する。	第10回	59

Ⅶ 詳細仕様検討案件一覧



No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
42	貨物 (航空)	「保税蔵置場在庫状況照会(輸出)(IWH)」 業務の改善	保税蔵置場在庫状況照会(輸出)(IWH)業務の以下の出力情報について、「MAWB番号」の項目追加を行い、HAWB番号の出力時に属するMAWB番号を出力する。「仕立未済」の項目を追加し、当該項目に「Y」が入力された場合は、混載仕立情報登録(HDF01)業務未実施のHAWB番号の一覧を出力する。	第9回 第10回	60
43	貨物 (航空)	航空貨物におけるラウンド運送機能の追加	保税運送申告(一般)(OLT01)業務に新規運送種別「Q(検疫等の経由運送)」を追加し、当該種別を使用した場合に、再搬入を可能とする。マニュアルでの保税運送申告について、ラウンド運送に限らず、搬出後に貨物情報を削除することなく、搬入確認登録(システム対象内保税運送)(BIN01)業務での搬入を可能とする。	第18回	60
44	貨物 (航空)	航空貨物における仮陸揚関連業務の改善	・混載仮陸揚貨物の空港間保税運送をシステムで手続可能とする。 ・航空会社蔵置場における仮陸揚貨物の搬出先として、航空会社蔵置場以外の蔵置場も選択可能とする。 ・混載仮陸揚貨物の仕分け・仕合せをシステムで一貫して手続可能にする。	第16回 第18回	61
45	貨物 (海上)	B/L番号枝番運用の改善	予備申告を枝番付きの貨物で行う場合、その後の貨物情報仕分け(CHJ)業務または貨物取扱登録(改装・仕分け)(SHS)業務の枝番払出し処理において、該当枝番が存在した場合は、新たに枝番を払い出さずに、該当枝番の貨物を更新する。	第7回	63
46	貨物 (海上)	「輸入貨物荷渡情報登録(DOR)」業務の通知 先の追加	通知先の入力有無にかかわらず、船卸前は貨物管理番号に登録されたコンテナオペレーション会社、船卸後は貨物の蔵置場所を管理する利用者に帳票を出力する仕様とする。	第9回 第12回	64
47	貨物 (海上)	「輸入コンテナ引取予定情報通知(ID通知) (RSS01)」業務の改善	RSS01業務に「処理区分」、「ID通知枝番」を項目追加し、取消しを可能とする。 RSS01業務で送信したデータについて輸入コンテナ引取予定確認情報通知(ID確認)(RST01)業務が実施されるまで取消を可能とする。	第9回	64
48	貨物 (海上)	積戻貨物に関する輸入本船名等の「G01輸入貨物搬出入データ」への出力	積戻貨物情報登録(RCR)業務実施を契機に管理資料「G01 輸入貨物搬出入データ」にも輸入貨物情報が収集出力されるよう変更する。	第9回	65
49	貨物 (海上)	改装・仕分け後の「見本持出確認登録 (MHO)」業務の改善	見本持出許可申請(MHA)業務実施後、MHO業務前に貨物取扱登録(改装・仕分け)(SHS)業務が行われた場合、仕分親貨物情報が見本持出許可申請の持出期間終了年月日から7日後(日祝日除く)まで保存されるように変更する。	第11回 第15回	65

Ⅶ 詳細仕様検討案件一覧

No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
50	貨物 (海上)	「内国貨物運送申告(DCC)」業務等の改善	1品目当たり200コンテナの入力を可能とする。	第10回	66
51	貨物 (海上)	内航船による外貿コンテナフィーダー手続	内航船単位に複数コンテナの積込(搬出)登録および陸揚(搬入)登録が可能な業務を新設する。	第17回 第18回	66
52	貨物 (海上)	バンニング情報における輸出管理番号登録可能件数の拡大	1コンテナに対して登録可能な輸出管理番号を最大6,000件とし、バンニング情報追加(VAA)業務にて1送信で登録できる輸出管理番号を100件まで拡大する。 本変更の対象帳票の輸出管理番号の繰返し数を最大1,500件に変更する。	第16回 第17回	67
53	貨物 (海上)	「船積確認登録(CCL)」業務におけるパッケージソフトでの業種チェック	CCL業務を船会社・船舶代理店以外(CY・通関業・海貨業)の利用者IDでログインし実施する際に、船積確認通知情報が出力されない旨の注意喚起のメッセージをポップアップで通知する。	第15回	69
54	貨物 (海上)	許可・承認貨物(輸出)情報の改善	許可承認貨物情報、許可承認内容変更貨物情報にブッキング番号を項目追加する。	第10回	70
55	貨物 (海上)	ACL業務の改善	以下、改善を行う。 ・ACL01業務、ACL02(ACL情報登録(在来船・自動車船用))業務のマーク欄、品名欄等の複数行項目において折り返しを可能とする。 ・品名欄、記号番号欄等の電文分割について、メール処理方式におけるEXC型電文の分割要否を選択可能とする。 ・「_(アンダーバー)」及び「~(チルダ)」の入力を一部項目において可能とする。 ・荷主連絡先メールアドレス欄を3欄とする。 ・コンテナ番号入力欄に内個数・OVER HEIGHT・OVER WIDTH・OVER LENGTHの入力欄を設ける。 ・シール欄を6欄に増やす。	第8回 第11回 第17回	70~72
56	貨物 (海上)	「積荷目録状況照会(IMI)」業務の改善	IMI業務の照会情報に「運航船会社航海番号」の項目を追加する。また、各照会結果の共通部の航海番号、船会社、船卸港コード、船卸港枝番の項目順を積荷目録情報登録(MFR)業務の入力項目順に合わせ変更する。	第11回	73

Ⅶ 詳細仕様検討案件一覧

No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
57	貨物 (海上)	「貨物在庫状況照会(IWS)」業務の改善	未許可貨物(輸入においては許可済で後続業務の実施が必要な貨物を含む)の抽出照会を選択できる入力項目を追加する。搬入日順出力を選択できる入力項目を追加する。	第10回	74
58	貨物 (海上)	「貨物情報照会(ICG)」業務の改善	貨物情報照会情報(全体情報)(SAL0261)及び(保税運送関連情報)(SAL0331)の出力情報にて、コンテナ数が1本から4本の場合は、出力画面を1ページで収めるよう帳票レイアウトの変更を行う。	第10回	74
59	貨物 (海上)	「貨物取扱登録(改装・仕分け)(SHS)」業務の帳票レイアウトの改善	SHS業務で出力される帳票の共通部の余白を詰め、繰返し部を1ページ目から出力する。	第7回	75
60	貨物 (海上)	「システム外搬入確認(輸出許可済)(BIE)」業務等における「許可年月日」の項目追加	BIE業務の入力項目に「許可日」を追加し、輸出貨物情報訂正(BIF)業務で訂正可能とする。BIE業務で入力した「許可日」が、管理資料「G02 輸出貨物搬出入データ」の「許可日」に出力されるようにする。	第11回	75
61	輸入食品 動物検疫 植物検疫	通関系関連省庁添付登録業務(MSF)の改善	通関系関連省庁添付登録(通関系関連省庁添付登録(検疫所(食品))(MSF01)、通関系関連省庁添付登録(動物検疫所、植物防疫所)(MSF02))業務に対応した訂正業務及び照会業務を新設する。	第17回	76
62	輸入食品	IFA(食品等輸入届出事項登録)業務時の蔵置場所誤りの場合エラー通知 IFA業務等での蔵置場所チェック処理の追加	食品等輸入届出事項登録(IFA)業務等にて、「届出種別」が「N：搬入後」でかつ貨物情報が存在する場合にのみ、入力した「保管場所コード」と貨物情報の蔵置場所の一致チェックを追加し、異なる場合に注意喚起メッセージを出力する。	第15回	78
63	輸入食品	輸入食品業務に係る紙申請業務の汎用申請化	輸入食品業務に関連する検疫所への汎用申請業務を新設する。 ※対象とする手続は検討中	第15回 第19回	79
64	輸入食品	計画輸入届出の電子化	食品等輸入届出事項登録(IFA)業務の届出種別に計画輸入に関する種別を追加入力可能とし、初回の計画輸入届出をシステムで実施可能とする。	第19回	80
65	輸入食品	見本採取票の電子化	見本採取票を税関及び届出者にシステムで帳票出力できるようにする。	第19回	80

Ⅶ 詳細仕様検討案件一覧

No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
66	動物検疫 植物検疫	動物検疫業務、植物検疫業務の管理資料の追加	NACCSを利用して行われた動物検疫・植物検疫関連業務について、通関業務取扱明細簿の記載項目に即した件数等の把握が可能となる新規管理資料(動物・植物申請一覧データ)を提供し、動物検疫・植物検疫関連業務の件数等の把握を可能とする。	第18回	81
67	動物検疫	申請者への連絡機能の追加	動物検疫所の業務に申請者への連絡機能を追加し、NACCS電文又はメールにて通知内容を確認可能とする。	第18回	83
68	動物検疫	輸入畜産物業務における受付項目の追加	輸入畜産物の検査申請において、「受付」項目を追加する。また、「受付」されるまでの間、添付ファイルの追加・差替えを可能とする。	第18回	84
69	動物検疫	輸出畜産物検査申請一覧照会(EMI)業務における検査状況(現物検査)の出力値の見直し	EMI業務(Web含む)における検査状況(現物検査)の出力値について、輸入畜産物検査申請一覧照会(ILI)業務における検査状況(現物検査)と統一する。	第18回	84
70	植物検疫	電子植物検疫証明書(ePhyto)の開発	植物検疫関連業務で電子植物検疫証明書(ePhyto)を用いた業務を実施可能とする。	第18回	85
71	植物検疫	輸出植物検査申請事項登録業務の「欄部項目入力」へのコピー＆ペースト機能追加	輸出植物検査申請事項登録業務の「欄部項目入力」において、各タブの情報をコピーできるようにする。また、タブ間でコピー・ペーストの機能を追加する。※本案件については、Webのみの仕様とする。	第18回	87
72	植物検疫	再輸出の検査申請時の「生産国の検査合格証明書」の初期設定値の変更	新規に輸出植物検査申請事項登録業務を実施し、検査申請事項登録入力画面を初期表示した際、「生産国の検査合格証明書」のラジオボタンのチェックを「原本写」に設定する。※本案件については、Webのみの仕様とする。	第18回	87
73	植物検疫	申請情報の流用時のコードに紐づいた情報の出力 植物等輸出検査申請控等の表示内容の追加	申請情報の流用時、輸出植物検査申請事項登録(EPA)業務の輸入国名、産地、原産国及び発送国について、流用元の情報ではなく、NACCS(植物検疫関連業務)で保持しているコードに紐づいた情報を出力する。 ※本案件については、Webのみの仕様とする。 申請書に植物等輸出検査申請控・入力控(それぞれ再輸出含む)に、植物コードに紐づいた表示名称及び産地・原産国コードを追加で出力する。	第18回	88

Ⅶ 詳細仕様検討案件一覧

No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
74	外為法	裏書業務における一括登録業務の新規追加	電子ライセンスに登録されている全ての取引明細に対して、一括で裏書登録可能な業務を新設する。	第19回	89
75	外為法	外為法関連業務のWeb化	外為法関連業務の申請業務をWebNACCSより実施できるようにする。	第19回	90
76	海上 入出港	WebNACCS（海上入出港業務）の改善	利便性、操作性等の大幅な向上を目的として抜本的な変更を行う。	第14回 第18回	91
77	海上 入出港	「書類状態確認(WVS)」業務の改善	利用者が入出港関連の帳票を確認・取得する業務が二つのパターンに分かれているため、統一化する。 (入出港関連の帳票は書類状態確認(WVS)業務で確認・取得するよう一本化する。)	第14回 第18回	93
78	海上 入出港	CSVファイル作成ツールの改善及びWUD業務の改善	乗組員・旅客・危険物作成ツールでのCSVファイル保存の際に、名称を任意で設定できるように変更を行う。また、アップロード画面で利用者の登録したい任意の情報を登録し、登録した情報の検索と検索結果表示を可能とする。	第14回	94
79	海上 入出港	WOT業務の改善	出港届等(内航)の業務時において、「入港届等」を呼出すことができるように呼出可能業務の追加を行う。	第14回	95
80	海上 入出港	不開港から不開港への船舶出入港に係る許可申請のシステム可能化	出港届等(VOX等)業務に紐づけ可能な「不開港出入許可申請番号」項目を1欄から8欄に増加することにより、不開港出入許可申請(CPC等)業務において、開港の次港以降最大8港まで不開港出入許可申請(CPC等)業務を行うことを可能とする。	第16回 第18回	95
81	海上 入出港	入港通報等の添付ファイル機能の追加	海港検疫申請時の添付ファイル機能を追加する。	第14回	96
82	海上 入出港	検疫所への本邦寄港地情報の通知	現行の検疫所側のシステムにおいては、当港入港前本邦寄港地情報が表示されない仕様となっているため、申請者よりFAX等で追加情報を取り寄せていたが、システム上で当港入港前本邦寄港地情報を確認できるよう仕様変更を行う。	第14回	96
83	利用申込	利用申込手続の改善	2段階申し込み(システム設定申し込み)の設定内容をNACCSの利用者設定業務(U業務)から設定できるようにする。	第16回 第19回	97

VIII 詳細仕様検討結果

VIII 詳細仕様検討結果の見方

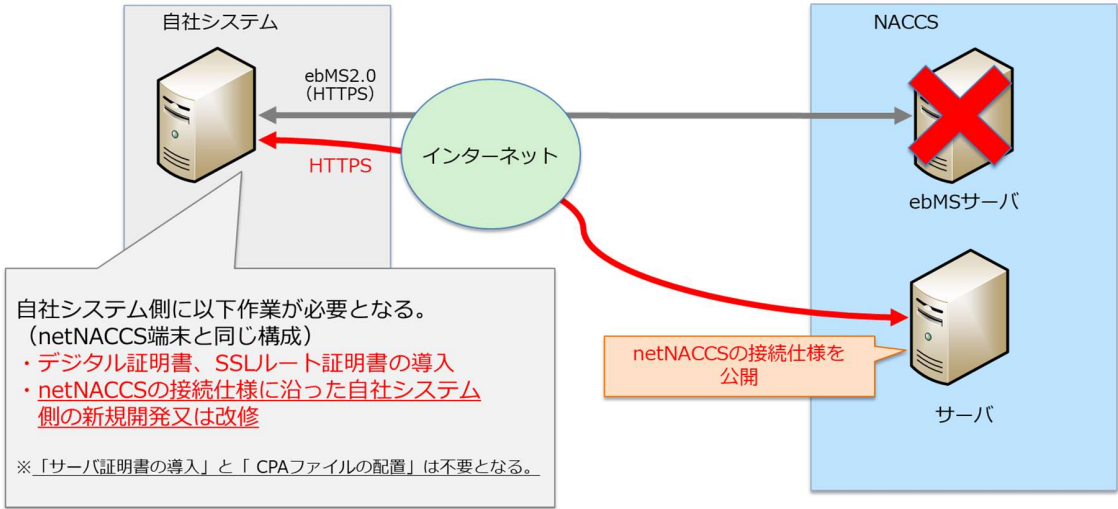
①	検討区分：通関、貨物、食品、動検、植検、入出港、UI、EDI										
②	航空・海上区分：航空、海上、航空・海上を記載										
③	提示会議体：提示した会議体を記載										
④	基本仕様書項番：基本仕様書において提示している箇所を記載										
⑤	検討項目：詳細仕様検討の項目を記載										
<table><tr><th>EDI</th><th>航空 海上</th><th>第XX回</th><th>基本X-X</th><th>ebMS処理方式の廃止、netNACCS処理方式の接続仕様公開</th></tr><tr><td>XX XX</td><td>⑥</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		EDI	航空 海上	第XX回	基本X-X	ebMS処理方式の廃止、netNACCS処理方式の接続仕様公開	XX XX	⑥			
EDI	航空 海上	第XX回	基本X-X	ebMS処理方式の廃止、netNACCS処理方式の接続仕様公開							
XX XX	⑥										
詳細仕様検討結果											
⑦	詳細仕様検討結果を記載										
詳細仕様検討概要を記載											

<EDI編>

EDI	航空 海上	第8,16回WG	基本Ⅲ-1	ebMS処理方式の廃止、netNACCS処理方式の接続仕様公開（1）
netNACCSの接続仕様を公開することで、自社システム向け（現ebMS利用者）の接続方式（インターネット経由）を実現する。				

詳細仕様検討結果

ebMS処理方式を廃止し、netNACCSの接続仕様を公開することで、ebMS処理方式に代わる自社システム向けの接続方式（インターネット経由）を実現する。



VIII 詳細仕様検討結果

EDI	航空 海上	第8,16回WG	基本Ⅲ-1	ebMS処理方式の廃止、netNACCS処理方式の接続仕様公開（2）
-----	----------	----------	-------	------------------------------------

電文送受信等の機能については、以下の通り、netNACCS処理方式（パッケージソフト）の機能と同様とする。
以下の表に記載した機能について、自社システム側で必要となる機能を開発していただくこととなる。

No.	機能	概要
1	電文送受信	センターに処理要求電文を送信し、センターから処理結果電文を受信する。
2	帳票取出し（即時型）	即時型の帳票電文をセンターから取り出す。
3	帳票取出し（蓄積型）	蓄積型電文キュー内の帳票電文を取り出す。
4	受信確認	帳票の受信が完了したことをセンター側に通知し、通知後、次の帳票がセンター内にあれば配信される。
5	管理資料取出し	管理資料情報を取り出す。

【留意点】

- ①処理要求電文の送信は、ebMS処理方式とは異なり、1件ごとの送信となる。
 - ②自社システム側から「帳票取り出し」機能を利用して、取り出しを行うこととなる。
 - ③「帳票取出し」機能と「受信確認」機能は、併せて自社システム側で開発が必要。
 - ④XML電文及びNACCS EDI電文に対応する。
- ※XML対象の業務機能（SIR/EIR、IVA）は、次期システムにおいても引き続き提供する。
※SIR/EIRについては別案件にて統合する。

機能の詳細仕様、接続仕様等については、今後、仕様が開示できる段階となりましたら、順次、EDI仕様書等で情報を提示いたします。

VIII 詳細仕様検討結果

EDI	航空 海上	第7回WG	基本Ⅲ-4	EDIFACTのバージョンアップ対応（1）
-----	----------	-------	-------	-----------------------

EDIFACTのメッセージバージョンを2021年前期バージョン（D.21A）へ変更し、シンタックスルール（構文規則）についてもバージョン4.0へ統一を図る。
対象は海上業務のみとし、航空業務で使用しているEDIFACTマッピングのバージョンアップは実施しない。また、利用頻度が少ないメッセージは廃止とする。

詳細仕様検討結果

(1) UN/EDIFACT

項番	サブセット	第6次NACCS		第7次NACCS	
		メッセージ バージョン	シンタックス バージョン	メッセージ バージョン	シンタックス バージョン
1	CUSRES (Customs response message)	D.98B	3	D.21A	4
2	CUSREP (Customs conveyance report message)	D.98B※1	3	D.21A	4
3	CUSCAR (Customs cargo report message)	D.98B	3	D.21A	4
4	CUSCAR (Customs cargo report message)※2	D.17A	4	D.17A※3	4
5	PAXLST (Passenger list message)	D.02B	4	D.02B※3	4

※1 一部項目でD.99Bの内容を使用

※2 航空「積荷目録事前報告(ADM01)」及び「積荷目録事前報告(ハウス)(HDM01)」業務の場合のみ

※3 航空業務のみ、バージョンアップ対象外

VIII 詳細仕様検討結果

EDI	航空 海上	第7回WG	基本Ⅲ-4	EDIFACTのバージョンアップ対応（2）	
(1)UN/EDIFACT					
項番	サブセット	第6次NACCS		7次NACCS	
		メッセージ バージョン	シンタックス バージョン	メッセージ バージョン	シンタックス バージョン
6	CODECO (Container gate-in/gate-out report message)	D.98B	3	D.21A	4
7	IFTMIN (Instruction message)	D.98B	3	D.21A	4
8	IFTMBC (Booking confirmation message)	D.99B	3	D.21A	4
9	IFTMCS (Instruction Contract Status)	D.98B	3	D.21A	4
10	GENRAL (General purpose message)	D.98B	3	D.21A	4
11	APERAK (Application error and acknowledgment message)※4	D.98B	3	D.21A	4
12	CONTRL (Syntax and service report message)※4	2.0	3	2.0※5	4

※4 海上業務のみで使用

※5 バージョンアップされていないため、第6次NACCSと同じバージョンを使用。

VIII 詳細仕様検討結果

EDI

航空
海上

第7回WG

基本Ⅲ-4

EDIFACTのバージョンアップ対応（3）

(2)US/EDIFACT

項番	サブセット	第6次NACCS		7次NACCS	
		メッセージ バージョン	シンタックス バージョン	メッセージ バージョン	シンタックス バージョン
1	PAXLST (Passenger list message)	D.02B	3※6	D.02B	3

※6

NACCS上はバージョン3を使用、航空業務は、バージョンアップ対象外

(3) PNRGOV

項番	サブセット	第6次NACCS		7次NACCS	
		メッセージ バージョン	シンタックス バージョン	メッセージ バージョン	シンタックス バージョン
1	PNRGOV (Passenger Name Record information to government)	11.1	4	11.1※7	4

※7

航空業務は、バージョンアップ対象外

VIII 詳細仕様検討結果

EDI	航空 海上	第7回WG	基本Ⅲ-4	EDIFACTのバージョンアップ対応（4）		
利用頻度が少ないため、廃止となるメッセージは以下の通り。						
項番	業務コード	業 務 名	出力情報コード	出力情報名	サブセット名	使用メッセージ
1	VTX02	乗組員情報登録			V T X 2 1 0	P A X L S T
2	VTX03	旅客情報登録			V T X 3 1 0	P A X L S T
3	VTX04	船用品情報登録			V T X 4 1 0	C U S C A R
4	VPX	入港前統一申請			V P X 1 1 0	C U S R E P
5			*SVPX	処理結果通知	V P X 2 1 0	C U S R E S
6	VIX	入港届等			V I X 1 1 0	C U S R E P
7			*SVIX	処理結果通知	V I X 2 1 0	C U S R E S
8	TPC	とん税等納付申告			T P C 1 1 0	C U S R E P
9			*STPC	処理結果通知	T P C 2 1 0	C U S R E S
10	VOX	出港届等			V O X 1 1 0	C U S R E P
11			*SVOX	処理結果通知	V O X 2 1 0	C U S R E S
12	CMV	出港前報告船舶情報訂正			C M V 1 1 0	C U S C A R
13			*SCMV	処理結果通知	C M V 2 1 0	C U S R E S

VIII 詳細仕様検討結果

EDI	航空 海上	第7回WG	基本Ⅲ-4	EDIFACTのバージョンアップ対応（5）		
項番	業務コード	業 務 名	出力情報コード	出力情報名	サブセット名	使用メッセージ
14	1CM	出港前報告船舶情報訂正 （多数件処理）	SAS155	エラー通知情報（出港前報告船舶情報訂正）	C M V 3 1 0	C U S R E S
15	PID	到着確認登録			P I D 1 1 0	C U S C A R
16			*SPID	処理結果通知	P I D 2 1 0	C U S R E S
17	MFI	積荷目録情報登録（一括）			M F I 1 1 0	C U S C A R
18			*SMFI	処理結果通知	M F I 2 1 0	C U S R E S
19			SAS120	積荷目録情報登録結果一覧情報	M F I 3 1 0	C U S R E S
20	CMC	積荷目録情報 C Y 一括訂正			C M C 1 1 0	C U S C A R
21			*SCMC	処理結果通知	C M C 2 1 0	C U S R E S
22			SAS164	エラー通知情報 （積荷目録情報 C Y 一括訂正）	C M C 3 1 0	C U S R E S
23	CYC	C Y 搬入情報訂正			C Y C 1 1 0	C O D E C O
24			*SCYC	処理結果通知	C Y C 2 1 0	C U S R E S

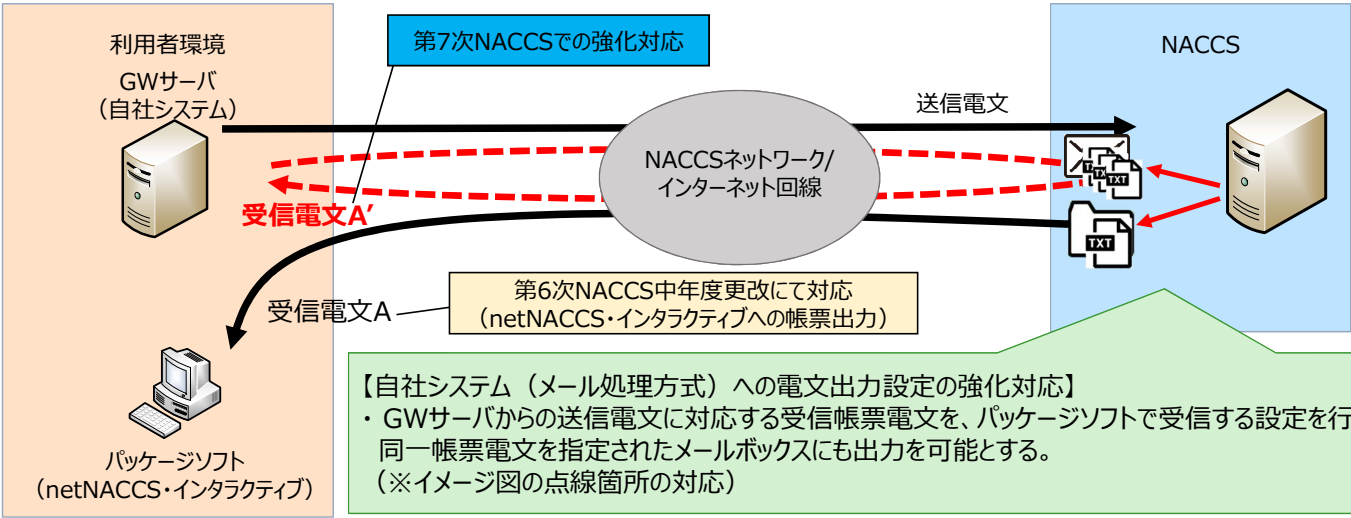
<共通編>

共通	航空 海上	第6,15回WG	基本IV-4	GW配下用パッケージソフトの廃止
----	----------	----------	--------	------------------

GW配下用パッケージソフト(メール処理方式)を提供終了する。それに伴いメール型宛先管理登録(UOM)業務の機能を強化する。

詳細仕様検討結果

GW配下用パッケージソフト廃止に伴うメール型宛先管理の強化対応概要



VIII 詳細仕様検討結果

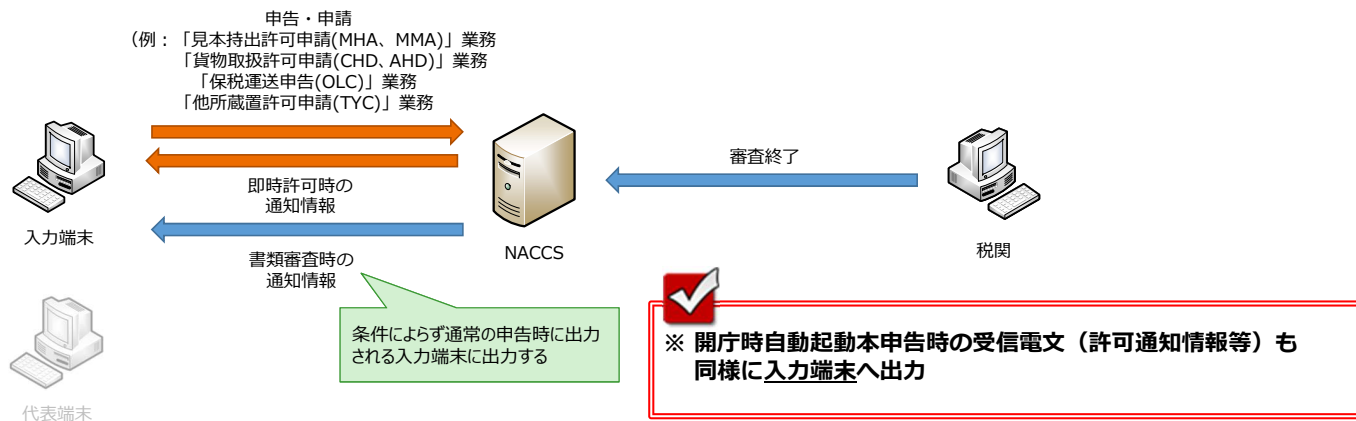
共通	航空 海上	第6,9回WG	基本IV-6	非同期電文の対象見直し (1)
----	----------	---------	--------	-----------------

申告等の入力端末が特定できる場合は、原則EXZ型に変更する。

- ・開庁時申告時や共同利用端末からの申告時についても、通常申告通りEXZ型電文として申告端末に出力する仕様に変更する。
- ・申込業務に対する回答業務の回答通知をEXZ型電文として申込端末に出力する仕様に変更する。

詳細仕様検討結果

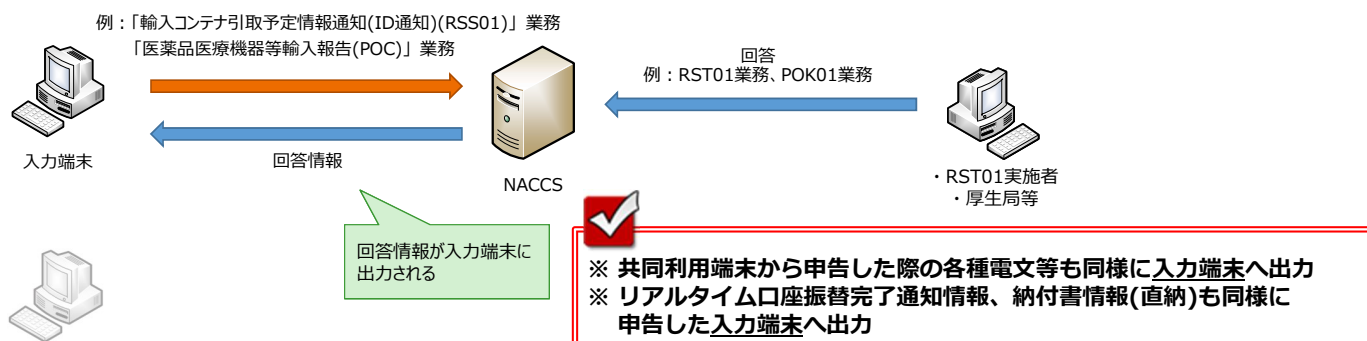
例1 条件により通常時の出力先とは異なる場合



VIII 詳細仕様検討結果

共通	航空 海上	第6,9回WG	基本IV-6	非同期電文の対象見直し (2)
----	----------	---------	--------	-----------------

例2 申込端末とは異なる端末に出力される場合



VIII 詳細仕様検討結果

共通 航空 第6,9回WG 基本IV-6 非同期電文の対象見直し (3)

No	項目	対象電文数	備考
1	開庁時自動起動関係	輸入：530帳票 輸出：90帳票	
2	見本持出許可申請関係	4帳票	
3	貨物取扱許可申請関係	8帳票	
4	保税運送申告関係	9帳票	
5	他所蔵置許可申請(海上)関係	5帳票	
6	「輸入コンテナ引取予定情報通知(ID通知) (RSS01)」の回答 「輸入CFS引取予定情報通知(RCS01)」の回答	3帳票	
7	納税関係（納付書、リアルタイム口座関係）	6帳票	
8	医薬品医療機器等申請関係	9帳票	
9	関税割当関係	3帳票	

VIII 詳細仕様検討結果

共通 航空 第6,9回WG 基本IV-6 非同期電文の対象見直し (4)

No	項目	対象電文数	備考
10	その他	輸入：5帳票 輸出入：1帳票	航空：J申告、U申告、S申告後の不一致情報 海上：搬入時申告後の自動起動取消通知 卸コンテナ開庁時登録情報 訂正保留解除情報
11	共同利用端末関係	入出港：24帳票 輸入：581帳票 輸出：98帳票 輸出入：16帳票 食品：6帳票 植物：7帳票 動物：12帳票	対象利用者は、共同利用契約の子事業所に 属する利用者コード

VIII 詳細仕様検討結果

共通	航空 海上	第17回WG	基本Ⅲ-5	添付業務の改善（添付容量の拡大）（1）
添付ファイル容量上限値等の見直しを行う				

詳細仕様検討結果

No.	業務コード	業務名	関係省庁	ファイル数	1ファイル容量（MB）	合計ファイル容量（MB）
1	MSX	申告添付登録	税関	20	3→10※2	10→30※2 (削除分含め合計60MB)
2	MSY01	申告添付訂正	税関	20	3→10※2	10→30※2 (削除分含め合計60MB)
3	MSB	添付ファイル登録	税関	—※1	3→10※2	10→30※2
4	HYE/HYE0W	汎用申請変更	税関	—※1	5→10※2	10→30※2
5	HYS/HYS0W	汎用申請	税関	—※1	5→10※2	10→30※2
6	KPC01/WKC	船舶・航空機資格変更届	税関	10	3→10※2	10→30※2
7	MSF01	通関系関連省庁添付登録	厚生労働省 検疫所（食品）	20	5→30	5→30
8	MSH01	通関系関連省庁添付訂正 （検疫所（食品））	厚生労働省 検疫所（食品）	20	30	30
9	MSF02	通関系関連省庁添付登録	動物検疫所 植物防疫所	10	5→10	5→30
10	MSV	輸出証明書等発給申請	農水省・国税庁等	—※1	10	10→30
11	KFT/WFT41	ファイル申請	港湾管理者 地方運輸局	10	10	10→30

VIII 詳細仕様検討結果

共通	航空 海上	第17回WG	基本Ⅲ-5	添付業務の改善（添付容量の拡大）（2）
----	----------	--------	-------	---------------------

No.	業務コード	業務名	関係省庁	ファイル数	1ファイル容量（MB）	合計ファイル容量（MB）
12	JAA	外為法 新規・電子ライセンスの訂正申請	経済産業省	99	30	10→30
13	JAB	外為法 補正申請	経済産業省	99	30	10→30
14	JAF	外為法 添付書類等追加申請	経済産業省	99	30	10→30
15	JAH	外為法 履行報告等申請	経済産業省	99	30	10→30
16	JMD	外為法 バーゼル移動書類交付申請	経済産業省	99	30	10→30
17	PCA	医薬品医療機器等委託関係登録	厚生局等	—※1	10	10→30
18	POC	医薬品医療機器等輸入報告	厚生局等	—※1	10	10→30
19	PTC	医薬品医療機器等輸出用届出	厚生局等	—※1	10	10→30
20	PTM02	医薬品医療機器等輸出用変更届出	厚生局等	—※1	10	10→30
21	PYA	医薬品医療機器等利用者情報登録	厚生局等	—※1	10	10→30

※1 システムでは制限していないが、NACCSパッケージソフトから業務を実施する際は最大10ファイルまでとなる。

※2 今後の検討で容量が変更となる可能性がある。

VIII 詳細仕様検討結果

共通	航空 海上	第19回WG	基本Ⅲ-3	DB保存期間の延長
----	----------	--------	-------	-----------

修正申告事項登録(AMA)業務、関税等更正請求事項登録(KKA)業務で登録されたデータを「10日(日・祝除く)」から「20日(日・祝除く)」に変更する。
他法令手続のみが共通管理番号と紐づいている状態で、他法令手続が審査終了・合格等された後のデータリンク保持期間を「10日(食品)」等から「30日」に変更する。

詳細仕様検討結果

修正申告・更正請求事項登録情報

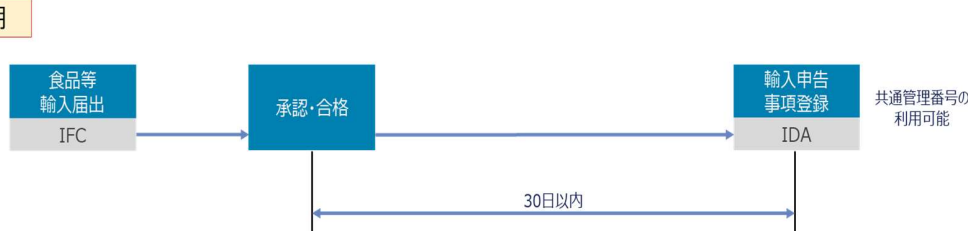
次期



- ・AMA/KKAの事項登録業務等で登録した情報の自動削除がされないように、適宜事項登録を行う必要がある。
- ・事項登録のみの情報の保存期間を20日(日・祝除く)に延長する。

共通管理番号リンク保持期間

次期



- ・承認、合格後の共通管理番号リンク保持期間が短く、輸入申告事項登録(IDA)業務を実施する前に共通管理番号が削除されてしまうケースがある。
- ・承認、合格後の共通管理番号リンク保持期間を一律30日に延長する。

VIII 詳細仕様検討結果

共通	航空 海上	第9回WG	基本Ⅳ-2	第7次NACCSにおける認証方法
----	----------	-------	-------	------------------

第7次NACCSでは多要素認証を引き続き採用し、認証方法は複数の認証方法を比較・検討した結果、現行システム（第6次NACCS）での実績を鑑み、『デジタル証明書』による認証を行う。

詳細仕様検討結果

多要素認証方法	検討結果
デジタル証明書	現行システムにて提供しているnetNACCS、WebNACCSへの対応に加え、第7次NACCSで新たに対応するモバイル対応、インターネット経由の自社システム接続（netAPI）にも対応が可能であり、実績のある認証方法である。

第7次NACCSにおいてもデジタル証明書を採用するにあたり、各課題について、以下の対策を講じる。

No.	課題	対策
1	インストール・更新作業が煩雑で、手間がかかる。	デジタル証明書の有効期限を長くする（有効期限は現在検討中）。
2	1年ごとの更新に手間がかかる。	
3	スマートフォンからのWebNACCS利用ができない。	iOSやAndroid OSへ対応し、スマートフォンからの利用を可能とする。
4	Windows OSにしかインストールできない。	
5	システム管理者権限でなければインストールできない。	一般の権限によるツールのインストールを可能とする。
6	再発行の際に1営業日かかる。	即時の再発行を可能とする。（土、日、祝も可能とする）

※第7次NACCS更改に伴い、新たにデジタル証明書の再取得、ツールのインストールが必要となる。
今後、詳細を検討の上、改めて情報を提示予定。

<UI・端末編>

UI・端末	航空 海上	第9回WG	基本IV-2	帳票等への日時印字の改善
-------	----------	-------	--------	--------------

全業務における送信画面と受信画面の印刷イメージ、および帳票を対象に日時の印字を可能とする。

詳細仕様検討結果

全業務における送信画面と受信画面の印刷イメージ、および帳票を対象に日時の印字を可能とする。なお印字可能な日時は以下の表の通りとする。

また、受信画面の印刷イメージ、帳票については、日時の印字の「有効」・「無効」を選択可能とする。
なお印字の「有効」・「無効」は全業務一括で設定するものとし、デフォルトは「無効」とする。

輸出貨物登録情報

2021/10/04 16:13

オプション設定にて、印字の有無を設定可能とする

搬入予定先

1BW01 - TOKYO SOKO

搬入予定年月日

2008/10/01

N-S/I 番号

1234567820

輸出管理番号

1234567821

登録者

1AABC

輸出者

100123450000 -

輸出者名

XYZ CO. LTD.

申告予定者

1EABC

対象	印字される日時
送信画面の印刷イメージ	印刷日時
受信画面の印刷イメージ	サーバ処理日時
帳票	サーバ処理日時

NACCS
Nippon Automated Cargo And Port Consolidated System

UI・端末	航空海上	第9,17,19回WG	基本Ⅳ-2	フォントやアイコンのモダン化（1）
-------	------	-------------	-------	-------------------

フォントやアイコンを現代的なデザインに変更し、視認性や利便性を向上させる。

詳細仕様検討結果

○AS2D 輸入申告書受理環境 (輸入申告)

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) オプション(O)

システム識別

入力情報特定番号

資料ファイル

ファイル名 サイズ

入力項目ガイド

☐ 印刷申請の場合は、入力不可
☐ 事業を訂正する場合は入力

業務メッセージ

コード	内容	処理

業務固有情報

XXXX

共通部

☐ 大船/少船 ☐ 申告書種別 ☐ 申告書種別 ☐ 申告書種別 ☐ 申告書種別

☐ あり ☐ あり ☐ あり ☐ あり

☐ 船主 ☐ 船主 ☐ 船主 ☐ 船主

☐ 住所 ☐ 住所 ☐ 住所 ☐ 住所

電話

税関事務官名

受理番号

☐ 申告書種別 ☐ 申告書種別 ☐ 申告書種別 ☐ 申告書種別

☐ 輸入数量 ☐ 輸入数量 ☐ 輸入数量 ☐ 輸入数量

☐ 仕入 ☐ 仕入 ☐ 仕入 ☐ 仕入

☐ 住所 ☐ 住所 ☐ 住所 ☐ 住所

☐ 積立倉庫 ☐ 積立倉庫 ☐ 積立倉庫 ☐ 積立倉庫

☐ B/L番号 ☐ B/L番号 ☐ B/L番号 ☐ B/L番号

☐ 2 ☐ 2 ☐ 2 ☐ 2

☐ 4 ☐ 4 ☐ 4 ☐ 4

☐ 5 ☐ 5 ☐ 5 ☐ 5

☐ 貨物数量 ☐ 貨物数量 ☐ 貨物数量 ☐ 貨物数量

☐ 貨物の品名等 ☐ 貨物の品名等 ☐ 貨物の品名等 ☐ 貨物の品名等

☐ 積載船(船) ☐ 積載船(船) ☐ 積載船(船) ☐ 積載船(船)

☐ 積出 ☐ 積出 ☐ 積出 ☐ 積出

☐ 積込 ☐ 積込 ☐ 積込 ☐ 積込

☐ 積込 ☐ 積込 ☐ 積込 ☐ 積込

☐ 入港年月日 ☐ 入港年月日 ☐ 入港年月日 ☐ 入港年月日

☐ 貿易別識別番号 ☐ 貿易別識別番号 ☐ 貿易別識別番号 ☐ 貿易別識別番号

☐ コンテナ本数 ☐ コンテナ本数 ☐ コンテナ本数 ☐ コンテナ本数

☐ 戻戻申告 ☐ 戻戻申告 ☐ 戻戻申告 ☐ 戻戻申告

☐ 貿易管理令 ☐ 貿易管理令 ☐ 貿易管理令 ☐ 貿易管理令

☐ 輸入保証証 ☐ 輸入保証証 ☐ 輸入保証証 ☐ 輸入保証証

☐ 印内点検結果 ☐ 印内点検結果 ☐ 印内点検結果 ☐ 印内点検結果

☐ 調査用番号 ☐ 調査用番号 ☐ 調査用番号 ☐ 調査用番号

立体感を出し、選択されているタブが分かりやすいよう改善

USER ID

NACCS
Nippon Automated Cargo And Port Consolidated System

UI・端末	航空海上	第9,17,19回WG	基本Ⅳ-2	フォントやアイコンのモダン化（2）
-------	------	-------------	-------	-------------------

メイン画面について、以下の通りレイアウト変更を行う。

- ① ログイン中の利用者IDを画面右上に表示する。また、ここをクリックすることによって利用者ID切替、ログオフ等の操作を可能にする。
- ② 業務名が見切れず表示できるように画面上部に移動する。
- ③ 送受信電文一覧の表示領域を拡大するよう左上に移動する。

[illegible]

VIII 詳細仕様検討結果

UI・端末	航空 海上	第9回WG	基本IV-2	オートコンプリート対象項目の拡大
-------	----------	-------	--------	------------------

オートコンプリート機能の有効化・無効化を利用者にて設定可能とする。

詳細仕様検討結果

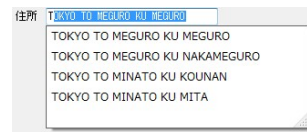
1. 現行仕様

過去の入力履歴から、入力の候補を提示するオートコンプリート機能を提供している。
オートコンプリート対象項目は、定型的な入力が見込まれる項目に限定している。

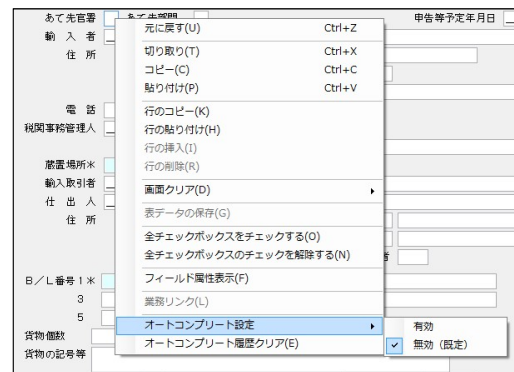
2. 次期仕様

オートコンプリート機能の有効化・無効化を利用者にて設定可能とする。
なお、オートコンプリート機能の仕様については、現行仕様を踏襲するものとする。

- 「オートコンプリート履歴クリア」から履歴の削除が可能
- 入力履歴の保存・表示は端末単位
- 1項目あたり最大20語の保存が可能



オートコンプリートの例



オートコンプリート機能の設定イメージ

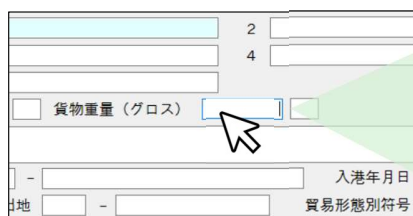
VIII 詳細仕様検討結果

UI・端末	航空 海上	第9,15回WG	基本IV-2	個人用入力チェック機能の追加
-------	----------	----------	--------	----------------

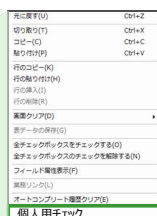
入力項目のチェック条件を個人がカスタマイズできる機能を追加する。

詳細仕様検討結果

チェック条件の設定イメージ



①チェック条件を追加したい項目を右クリック



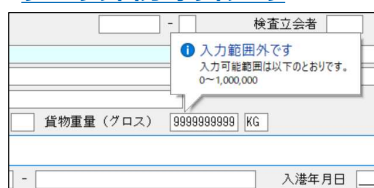
②「個人用チェック」を選択



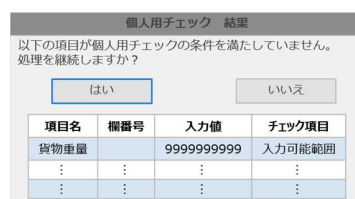
③チェック条件を登録

設定可能な条件一覧	
必須	未入力の場合にはワーニング
入力不可	入力されている場合にワーニング
入力可能リスト	リストにない値が入力されている場合にワーニング
ある値固定	ある値以外が入力されている場合にワーニング
入力可能範囲	範囲外の値が入力されている場合にワーニング
ある値以上	ある値未満が入力されている場合にワーニング
ある値以下	ある値を超えた入力されている場合にワーニング

ワーニング出力時のイメージ

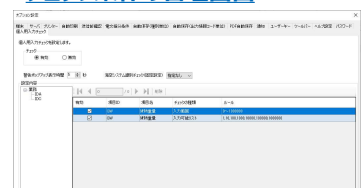


入力時、条件を満たしていなければ、ポップアップを表示



「送信」等を行った際にも、警告ダイアログを表示

チェック条件の管理画面



一覧表示やチェックの有効化/無効化等が可能

VIII 詳細仕様検討結果

UI・端末	航空 海上	第9,16回WG	基本IV-2	入力画面と出力帳票のレイアウト統一
入力画面と出力帳票のテキストボックス幅を統一し、入力者が意図するレイアウトとなるよう修正する。				

詳細仕様検討結果

NACCSでは改行が不可となっているが、スペース埋めをすることによって改行されているかのように見せる入力がされる場合がある。(図1)
上記の入力方法を想定していない業務では、入力画面と出力帳票のテキストボックス幅が統一されていないため、意図したレイアウトにならないという課題がある。(図2)
次期NACCSにおいては、入力者が意図するレイアウトとなるようテキストボックス幅の統一を行う。(図3)

対象項目：通信欄(MSX, MSB), 本文(MSA), 理由(EEA), 記事(SOT, TQA)

The screenshot shows the 'MSA 積荷伝達' (MSA Cargo Manifest) input screen. On the right, there is a large text box labeled '本文' (Main Text). The text inside the box is wrapped by inserting spaces, making it look like it has been manually reformatted with line breaks. The text consists of various Japanese characters and symbols.

図1 スペース埋めによる疑似的な改行の例

This diagram compares the input and output text box widths for the MSA screen. It shows two rows of text. The first row, labeled '本文' (Main Text), shows the input text 'ああああああああ' (Aa Aa Aa Aa Aa) and the output text 'ああああああああああ' (Aa Aa Aa Aa Aa Aa Aa Aa Aa Aa). The second row, labeled 'け' (ke), shows the input text 'きききききききき' (ki ki ki ki ki ki ki ki) and the output text 'きききききききき' (ki ki ki ki ki ki ki ki). The output text is wider than the input text, indicating that the input text was wrapped by inserting spaces.

図2 入力画面と出力帳票のテキストボックス幅が異なる例

This diagram compares the input and output text box widths for the MSA screen, showing that they are now equal. It shows two rows of text. The first row, labeled '本文' (Main Text), shows the input text 'ああああああああ' (Aa Aa Aa Aa Aa) and the output text 'ああああああああああ' (Aa Aa Aa Aa Aa Aa Aa Aa Aa Aa). The second row, labeled 'け' (ke), shows the input text 'きききききききき' (ki ki ki ki ki ki ki ki) and the output text 'きききききききき' (ki ki ki ki ki ki ki ki). The output text is now the same width as the input text, indicating that the input text was not wrapped by inserting spaces.

図3 入力画面と出力帳票のテキストボックス幅が等しい例

VIII 詳細仕様検討結果

UI・端末	航空 海上	第9,15回WG	基本IV-2	グリッド対象の拡大
利便性向上のため、グリッド機能※の対象項目を拡大する。				

詳細仕様検討結果

The screenshot shows the '乗員上陸許可申請' (Crew Landing Permission Application) input screen. It features a grid layout with multiple rows and columns for inputting data. The grid is used to organize the data into a structured format, making it easier to input and review. The grid is labeled 'グリッド化' (Gridified).

グリッド化

The screenshot shows the 'VPX 入港前統一申請' (VPX Pre-arrival Unified Application) input screen. It features a grid layout with multiple rows and columns for inputting data. The grid is used to organize the data into a structured format, making it easier to input and review. The grid is labeled 'グリッド化' (Gridified).

グリッド対象一覧

- 外国寄港地情報 (VTX01, VTX11)
- 船用品情報 (VTX04, VTX14)
- 危険物情報 (VPX, VPX11, VOX, VOX11, VMR, VMR11)
- 出港前報告一覧情報 (IML)
- 輸入貨物荷渡情報登録情報 (DOR)
- 船卸情報 (PKK)
- 船積情報 (CLR, CLR11, CLD)
- 船積コンテナ情報 (ICI)
- 貨物在庫状況情報 (IWS)
- 機用品在庫管理情報 (CIA, CIA01)
- 乗員上陸許可申請情報 (CLP, CLP01, ICL)
- 輸入便情報 (IMF11, IMF12)
- 混載貨物仕立状況情報 (IMA)
- 輸入申告等一覧情報 (IDI)
- 輸出申告等一覧情報 (IES)
- 別送品輸出申告一覧情報 (IUE)
- 輸出自動車情報 (MOA, MOB, IMO)

※ 表計算ソフトのデータをコピー＆ペーストすることで、繰り返し項目への一括入力を可能とする機能

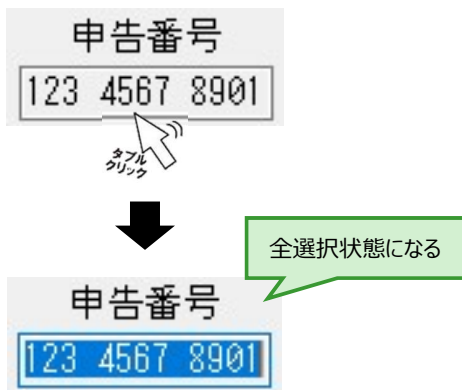
VIII 詳細仕様検討結果

UI・端末 航空 第16回WG 基本IV-2 区切り表示項目の仕様変更

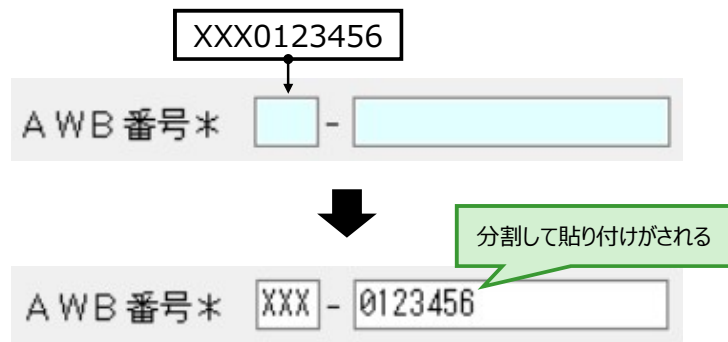
書式付きテキストボックス※1、分割テキストボックス※2の仕様を改善する。

詳細仕様検討結果

A) スペース区切りされた書式付きテキストボックスをダブルクリックした際に、全選択状態となるように改善する。



B) 分割テキストボックスに貼り付けを行う際に、自動的に分割して貼り付けがされるように改善する。



※1 パッケージソフトは基本的に電文上の値をそのまま表示するが、視認性向上のためスペースやスラッシュ等の装飾を行うテキストボックス（申告番号等にて採用）

※2 電文上は1つの項目であるが、パッケージソフト上は2つに分割されるテキストボックス（AWB番号にて採用）

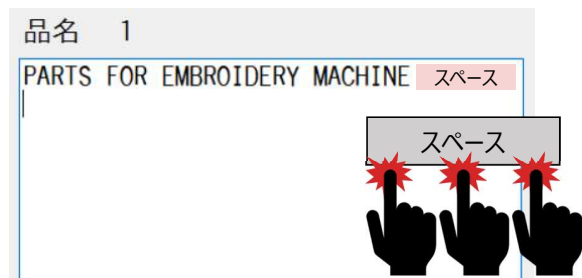
VIII 詳細仕様検討結果

UI・端末 航空 第15回WG 基本IV-2 複数行項目での折り返し可能化

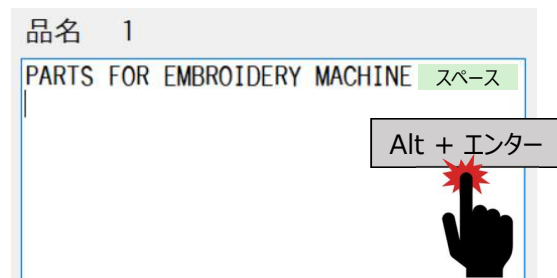
複数行の入力が可能な項目（品名・記事欄等）で行の折り返しをする場合の入力方法を改善する。

詳細仕様検討結果

NACCSでは改行が不可となっているが、スペース埋めをすることによって改行されているかのように見せる入力がされる場合がある。上記の入力方法においてスペースの入力を簡略化するため、専用のショートカットキーを設定する。



現行 「スペース」キーを複数回入力することで、次の行までスペース埋めをする。



次期 「Alt + Enter」キーを1回入力することで、次の行まで自動的にスペース埋めできるようにする。

VIII 詳細仕様検討結果

UI・端末	航空 海上	第14回WG	基本IV-10	WebNACCSにおけるユーザーインターフェースの見直し（1）
-------	----------	--------	---------	---------------------------------

利便性、操作性等の大幅な向上を目的に、画面遷移、レイアウト、デザイン等について改善を行う。

詳細仕様検討結果



海上入出港業務トップページ（現行）



海上入出港業務トップページ案（次期）

グローバルメニューの設置
トップページや各種メニューに遷移しやすいようにリンクを配置

文字の視認性向上
携帯端末での利用を考慮し、フォントや文字サイズを見直し

「タイル型」デザイン
申請内容でグループ分けすることで、目的の業務を見つけやすく改善

リンクのボタン表示
携帯端末でもタップしやすいようクリック可能領域を拡大

VIII 詳細仕様検討結果

UI・端末	航空 海上	第14回WG	基本IV-10	WebNACCSにおけるユーザーインターフェースの見直し（2）
-------	----------	--------	---------	---------------------------------

日付の入力補助

着岸（予定） 年月日時刻（入港時）	年月日	時刻
離岸（予定） 年月日時刻（出港時）	年月日	
びょう泊（予定） 場所コード（入港時）		
びょう泊（予定） 年月日時刻（入港時）	年月日	
びょう泊（予定） 年月日時刻（出港時）	年月日	

カレンダーから日付を選択することで入力が可能とする

入力ガイドの設置

2. 船舶情報

エラーの多い項目を中心にガイダンスを表示

船舶コード 必須

ここにガイダンスを表示予定です

船舶コード 必須

船名 必須

ここにガイダンスを表示予定です

船名 必須

エラー表示の改善

入港前統一申請（WPT）

危険物荷役許可申請（外航） 新規登録

登録に必要な項目を入力し、この書類を一時保存をクリックしてください。[エラーチェックをクリックすると、入力内容が正しいか確認できます。]

✖ 入力エラーが4件あります。

[000000] 【船舶コード】が入力されていません。船舶コードを入力してください。

[000000] 【航海番号（1）】が入力されていません。航海番号（1）を入力してください。

[000000] 【最大噸水】が入力されていません。最大噸水を入力してください。

[000000] 入港港情報の【入港港コード】が入力されていません。入港港情報の入港港コードを入力してください。

一部を表示

一時保存番号 SV002345678

1. 宛先情報

宛先 必須 宮崎港長（宮崎県、宮崎海上保安部）

2. 船舶情報

船舶コード 必須

航海番号（1） 必須

航海番号（2） KOUK40002

修正すべき箇所が直ぐ分かるように強調表示

33

VIII 詳細仕様検討結果

UI・端末 航空海上 第14回WG 基本Ⅲ-6 WebNACCS対象業務の拡大

新たに6業務をWebNACCS対象業務に追加する。

詳細仕様検討結果

以下の業務をWebNACCS対象業務に追加する。また、併せて携帯端末（スマートフォン・タブレット）向けのページレイアウトを提供する。

- 「包括保険確認登録（HKA）」業務
- 「包括保険確認登録呼出し（HKB）」業務
- 「為替レート照会（IER）」業務
- 「担保照会（IAS）」業務
- 「担保一覧照会（IAS01）」業務
- 「混載貨物状況照会（IIC）」業務



VIII 詳細仕様検討結果

UI・端末 航空海上 第14回WG 基本Ⅲ-7 携帯端末への対応

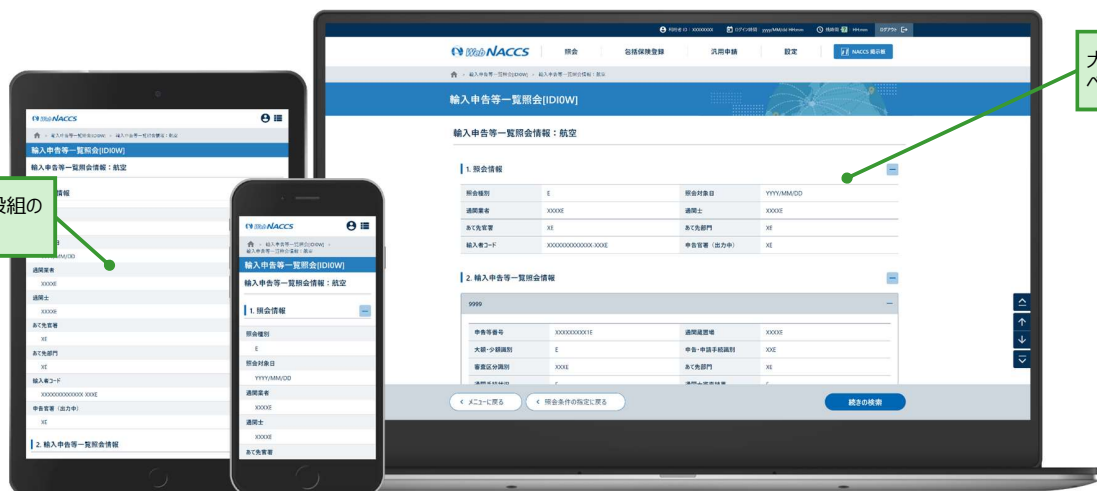
一部のWebNACCS業務について携帯端末で実施できるようにする。

詳細仕様検討結果

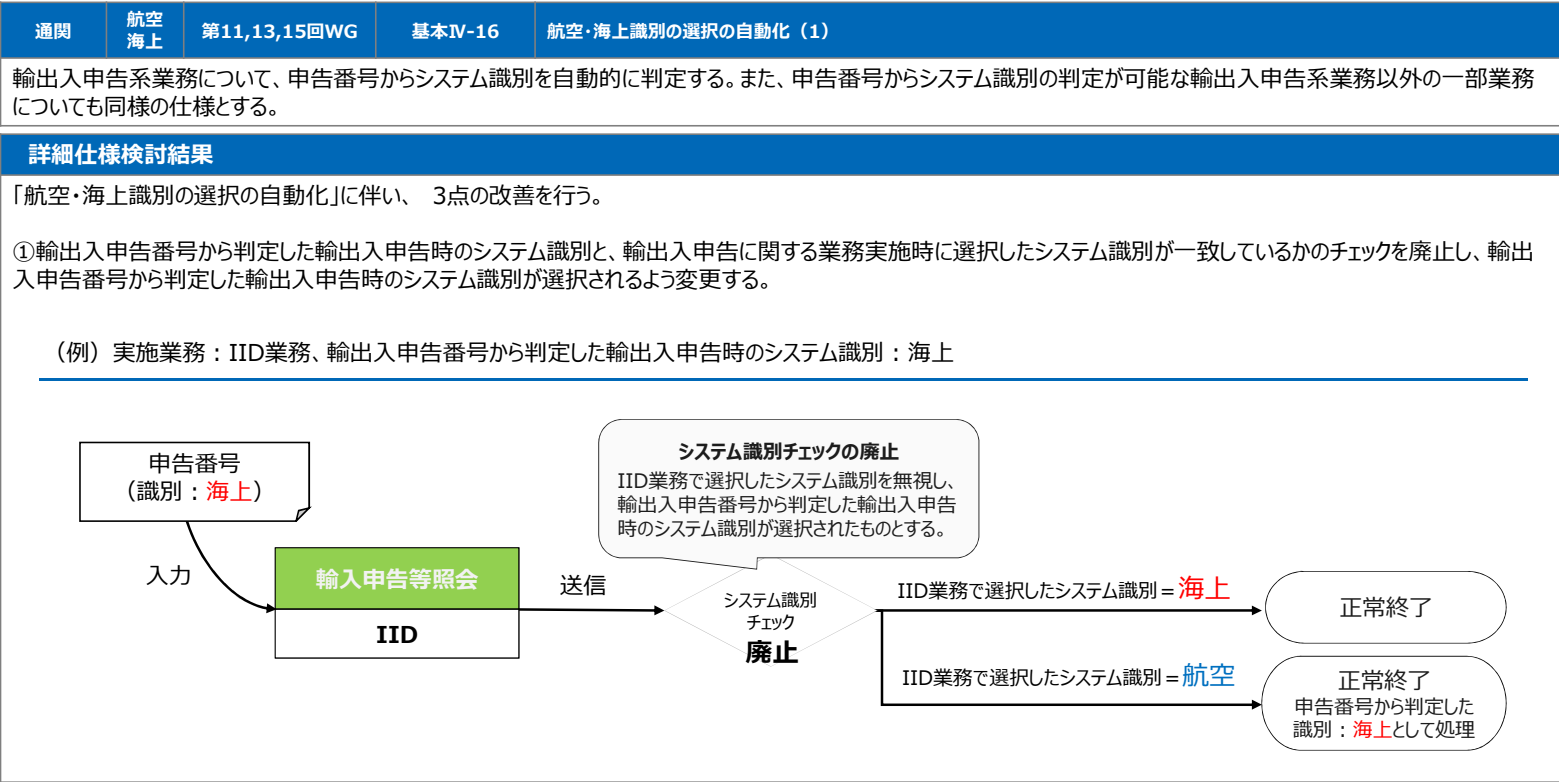
WebNACCSの「輸出入通関・貨物関連業務」について、従来のパソコン向けのページレイアウトに加え、スマートフォン・タブレット向けのページレイアウトをご提供いたします。
※ サポート予定のOS（ブラウザ）: iOS（Safari）、iPadOS（Safari）、Android（Chrome）

中小画面向けに、一段組のページレイアウト

大画面向けに、二段組のページレイアウト



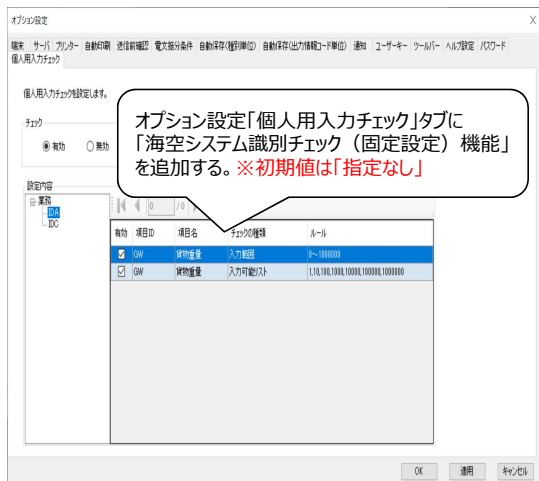
<通関編>



VIII 詳細仕様検討結果

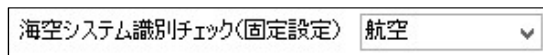
通関	航空 海上	第11,13,15回WG	基本IV-16	航空・海上識別の選択の自動化（2）
----	----------	--------------	---------	-------------------

②NACCSパッケージソフトにおいて、システム識別が航空・海上共通の業務を実施する際に、入力時のシステム識別を利用者ごとにオプション設定で「航空」のみ、または「海上」のみを選択可能とする機能を追加する。

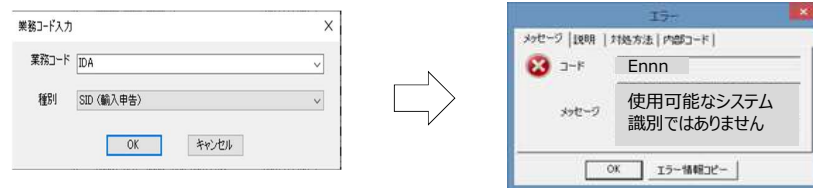


例：「海空システム識別チェック（固定設定）：航空」を設定し、IDA.SID業務（識別：海上）を展開する場合

①オプション設定で「海空システム識別チェック（固定設定）：航空」を設定



②業務コード・種別を選択し、画面展開しようとする、エラーメッセージが表示され、画面展開されない。

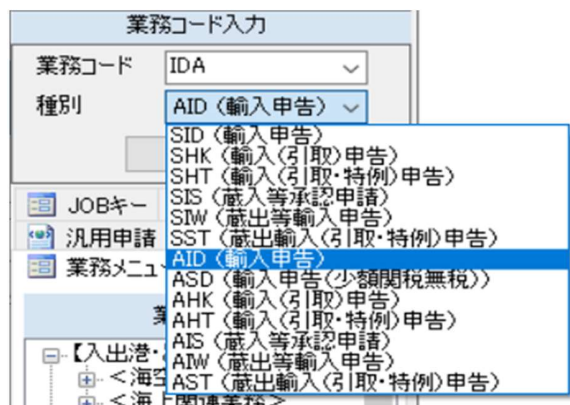


VIII 詳細仕様検討結果

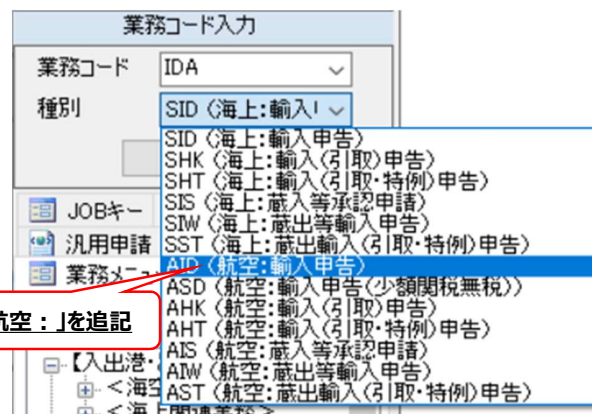
通関	航空 海上	第11,13,15回WG	基本IV-16	航空・海上識別の選択の自動化（3）
----	----------	--------------	---------	-------------------

③「種別（画面コード）」にて、システム識別の「航空」または「海上」を選択する業務において、画面コードが「航空」か「海上」かが分かりやすいように画面名の先頭に、日本語表記（「航空：」または「海上：」）を追加する。

現行パッケージソフト



次期パッケージソフト



VIII 詳細仕様検討結果

通関	航空 海上	第11回WG	基本 IV-4	「申告添付訂正（MSY01）」等の通信文のみの修正可能化
「申告添付訂正（MSY01）」業務において、「通信欄」のみの変更を可能とする。				

詳細仕様検討結果

【現行仕様】

MSY01業務において、「通信欄」のみを変更し送信した場合、下図のエラーが出力され、変更が不可となっている。

エラー

「R0009」：添付ファイルの追加、削除、または提出区分の訂正のいずれも行われていない。

「通信欄」の変更を行う場合は、添付資料の追加等が必要となり、手間が発生している。
(添付ファイルの追加、削除等をしないとエラーとなる)

【次期仕様】

MSY01業務において、「通信欄」のみを変更した場合でも送信を可能とする。
(添付ファイルの追加、削除等がなくとも「通信欄」のみの変更が可能となる。)

VIII 詳細仕様検討結果

通関	航空 海上	第10,14,17,19回WG	基本IV-16	納付書等出力先の改善
航空申告分の納付書情報の出力先として、代表通関業者を設定可能とする。				

詳細仕様検討結果

- 以下の帳票について、航空申告分の出力先として、代表通関業者を設定可能とする。また、代表通関業者への出力可否を、「海上」と「航空」で分けることを可能とする。
対象帳票：納付番号通知情報（※即時納付（特例申告の即納は除く）以外のもの）、納付番号通知情報（一括）、一括納付書情報、一括納付書明細書情報、一括納付用明細データ、一括納付用明細総括データ
- 管理資料のファイル名を変更し、輸入者単位で納税方式順に納付書が出力されるようにする。

	パターン1	パターン2	パターン3	パターン4	パターン5	パターン6	パターン7	パターン8
条件1 担保提供者	通関業者 (利用者コード)	輸出入者 (輸出入者コード)						
条件2 納付書関連出力表示	↓	申告者に出力	輸出入者に出力	代表通関業者に出力 (海上のみ)		代表通関業者に出力 (航空のみ)		代表通関業者に出力 (海上・航空)
条件3 海上・航空	↓	↓	↓	海上	航空	海上	航空	↓
条件4 代表通関業者コード	↓	↓	↓	代表通関業者 利用者コード	↓	↓	代表通関業者 利用者コード	代表通関業者 利用者コード
出力先	申告者	申告者	輸出入者	代表通関業者	申告者	申告者	代表通関業者	代表通関業者

海上のみ代表通関業者へ出力される。

航空のみ代表通関業者へ出力される。

海上、航空ともに同一の代表通関業者へ出力される。

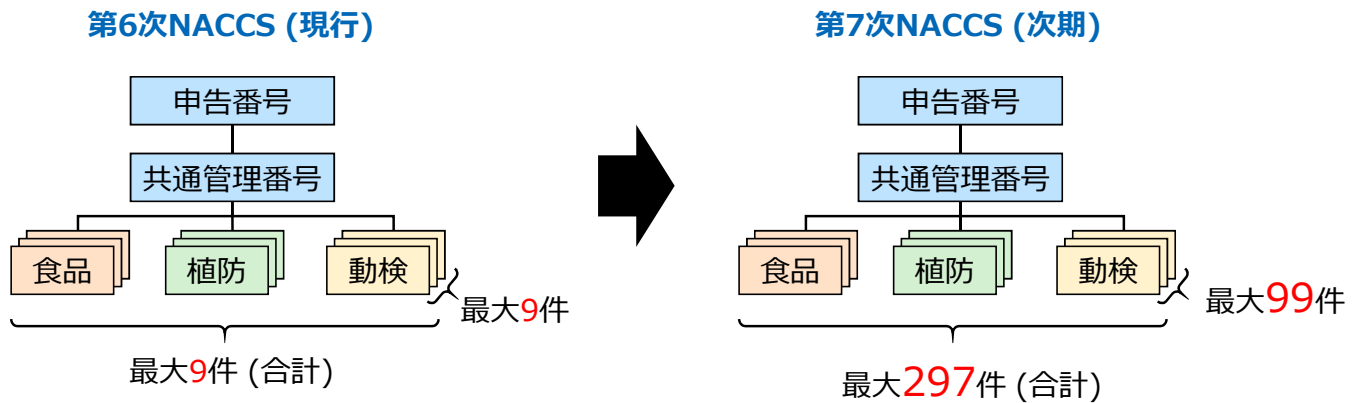
VIII 詳細仕様検討結果

通関 航空 第12,16回WG 基本IV-16 共通管理番号の番号紐づけ数拡大

共通管理番号に紐づけ可能な他法令届出・申請件数を最大297件に拡大する。

詳細仕様検討結果

共通管理番号に紐づけ可能な他法令届出・申請件数を最大297件（食品衛生、植物防疫、動物検疫それぞれ9件→99件）に拡大する。



VIII 詳細仕様検討結果

通関 航空 第12回WG 基本IV-16 共通管理番号の自動補完

輸入申告および他法令届出・申請の事項登録時に、共通管理番号でのリンクを選択し、「共通管理番号」欄がblankの際、「輸入者コード」と「B/L番号／AWB番号」が同一の共通管理番号が既にシステムに登録されている場合は、共通管理番号を自動補完しリンクする。

詳細仕様検討結果

食品等輸入届出
事項登録

IFA

共通管理番号：
K000000011

IDA業務 入力画面
共通部 繰返部

大額/少額* ☐ 申告等種別* ☐ 申告先種別 ☐ 貨物識別 ☐ 申告番号

あて先官署 ☐ あて先部門 ☐ 識別符号 申告等予定年月日

輸入者 1234567890123-0000

住所

中略

B/L番号1* BLN000001 2

3 4

5

貨物個数 貨物重量 (グロス)

貨物の記号等

積載船 (機) - 入

船 (取) 卸港 積出地 貿易形態

戻税申告 ☐ 貿易管理令 ☐ 輸入承認証 ☐ 内容点検結果 ☐

他法令 FD ☐ 共通管理番号 食品 ☐ 2

輸入承認証等1 2 3

4 5 6

共通管理番号：K000000011を自動補完

**共通管理番号のコピー&ペーストや
他担当者への伝達が不要となる**

「共通管理番号」の入力が無い場合、「輸入者コード」と「B/L番号／AWB番号」が同一の共通管理番号を自動補完し、リンクする。

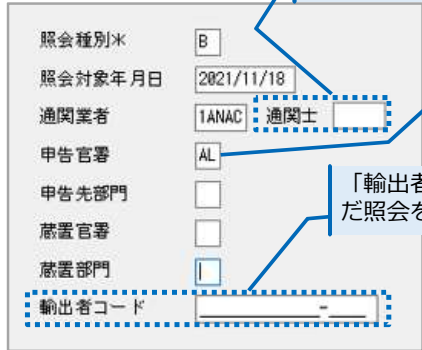
VIII 詳細仕様検討結果

通関	航空 海上	第11回WG	基本IV-4	輸出入申告等一覧照会業務における全官署照会の可能化
----	----------	--------	--------	---------------------------

輸入申告等一覧照会(IDI)業務、輸出申告等一覧照会(IES)業務、及び別送品輸出申告等一覧照会(IUE)業務において、「税関官署コード」欄に「AL」が入力された場合は、あて先官署単位に全官署のデータを出力する。「通関士コード」、「輸出入者コード」欄を項目追加し、入力したコードで絞り込んだ照会を可能とする。

詳細仕様検討結果

IES業務入力画面



「通関士コード」欄を追加し絞り込んだ照会を可能とする

申告官署に「AL」を入力する事で、全官署を対象とした照会を可能とする

「輸出者コード」欄を追加し絞り込んだ照会を可能とする

入力された申告官署を出力
(「AL」が入力された場合「AL」を出力)

繰返し部に出力中の申告官署を出力
(非活性：入力不可項目)

① 申告官署欄に「AL」を入力することで入力内容にかかる官署単位に全官署分のデータを出力する。

② 入力画面に「通関士コード」欄、「輸出者コード」欄(IUE業務を除く)を追加し、入力した通関士コードおよび輸出入者コードで絞り込んだ照会を可能とする。

③ 照会結果画面から申告官署等を繰返し入力し展開可能にする。

④ 出力共通部に「通関士コード」、「輸出者コード」(IUE業務を除く)、「申告官署(出力中)」の項目を追加する。

IES業務照会結果画面



出力項目を活性化し繰返しの照会を可能とする

次の官署分の情報がある場合は、継続データがある旨のワーニングを出力

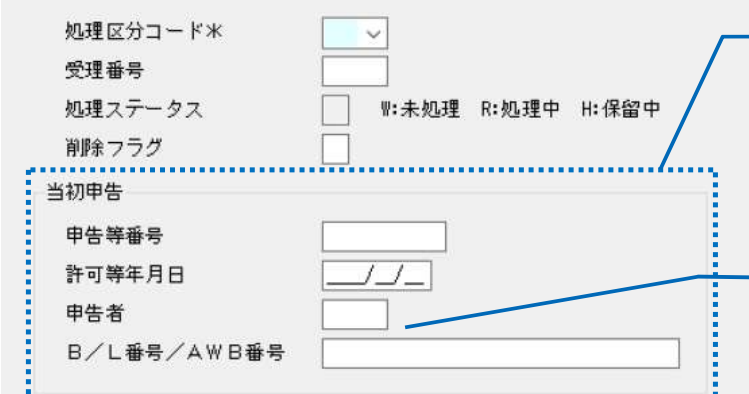
VIII 詳細仕様検討結果

通関	航空 海上	第11回WG	基本IV-4	「当初輸入申告呼出し(修正申告)(DLI02)」業務における当初申告情報の呼出し可能権限の拡大
----	----------	--------	--------	---

DLI02業務に「当初申告利用者コード」および「当初B/L番号/AWB番号」を項目追加し、DLI02業務実施者と当初申告者が異なる場合は、追加項目を必須とし呼出し処理を可能とする。

詳細仕様検討結果

DLI02業務 入力画面



当初申告に係る情報を入力する項目について、レイアウトをまとめて、パッケージソフトのラベル名を修正

「当初申告利用者コード」欄に入力が無ければ、6次NACCSと同様にDLI02業務の送信者で申告者チェックを実施する。

以下の新規入力項目を追加する。

- ・「当初申告利用者コード」欄
- ・「当初B/L番号/AWB番号」欄

① 新規入力項目「当初申告利用者コード」欄に入力された利用者コードで申告者チェックを行う。

② 新規入力項目「当初B/L番号/AWB番号」欄に入力された番号が当初申告の内容と一致しているかのチェックを行う。

※自社通関の場合でも輸入許可通知書へ利用者コードを出力するよう変更し、当初申告した利用者コードを入力する仕様とする。

VIII 詳細仕様検討結果

通関	航空 海上	第11回WG	基本IV-4	「当初輸入申告呼出し（修正申告）（DLI02）」業務等実施後の呼出し処理可能時間の拡大
当初輸入申告情報呼出し業務の呼出し処理可能時間を原則24時間可能とする。 ただし、一部の時間帯については呼出し処理起動までの時間制限を設けることとする。				

詳細仕様検討結果

通常10分以内に呼出し処理が実施されるが、下記の制限時間帯にDLI業務を実施した場合は、10分以上待つから呼出し処理が実施される。
なお、制限時間帯は第6次NACCSの実績を参考として記載しており、第7次NACCSの運用により変更の可能性がある。

大項目	制限時間帯	制限時間後の処理起動時刻
通常時	①毎日19:50~20:00 ②毎日23:50~00:00	①20:10 ②00:10
保守前日	①保守日前日 21:50~22:20 ②保守日前日 22:50~23:20	①22:30 ②23:30
保守日	奇数月第3日曜 02:20~02:30 (02:30~05:00までは保守時間帯のためDLI業務自体 送信不可)	05:00

VIII 詳細仕様検討結果

通関	航空 海上	第10回WG	基本IV-4	「関税割当証明書裏落数量仮登録（TQC）」業務の裏落とし回数上限の引き上げ
TQC業務での裏落内容の件数を最大300件から999件に拡大し、欄部を300欄から999欄に変更する。 関税割当証明書内容照会(ITQ)業務も合わせて出力件数の変更を行う。				

詳細仕様検討結果

変更イメージは以下の通り。 TQB業務呼出し後の関税割当裏落内容登録情報(CAD015)：TQC業務入力画面
300欄（最大ページ数30）

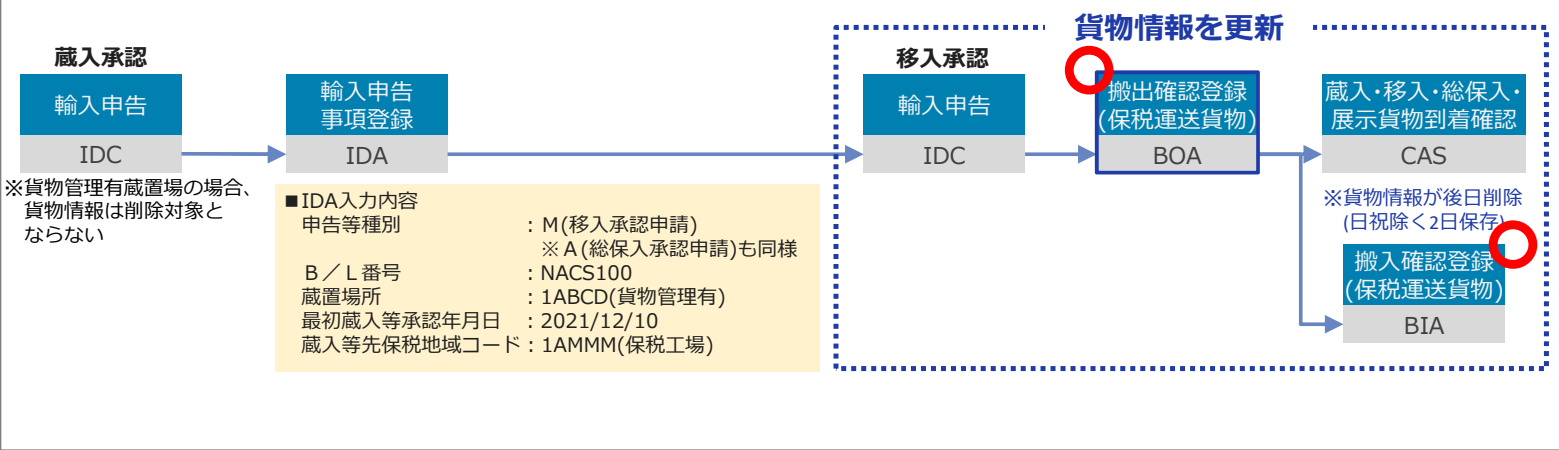
The screenshot shows the '証明書内容 裏落内容' (Certificate Content Backload Content) section. It includes fields for '申告等番号（仮登録）' (Declaration Number (Temporary Registration)) and '通関数量（仮登録）' (Customs Quantity (Temporary Registration)). Below these, a pagination control shows '1 / 30' with navigation arrows. The main table has columns for '処理区分' (Processing Category), '申告等番号' (Declaration Number), '通関数量' (Customs Quantity), '状態' (Status), '官署' (Authority), and '輸入許可年月日' (Import Permit Date/Year/Month/Day).



欄数を300→999に変更（最大ページ数100）

The screenshot shows the same interface as above, but the pagination control now displays '1 / 100', indicating that the maximum number of pages has increased from 30 to 100 due to the increase in columns from 300 to 999.

NACCS
Nippon Automated Cargo And Port Consolidated System



NACCS
Nippon Automated Cargo And Port Consolidated System

詳細仕様検討結果

出力情報の変更例

更正通知書情報 (SAD481/AAD481)

更正通知書 (内閣通告費改正通知書兼用)

1 / 2

関税更正通知書（内国消費税等更正通知書兼用）				1 / 2
		通知年月日 yyyy/MM/dd	通知番号 XXXXXXXXX1E	
納税者住所 電話 XXXXXXXX1E	XXXXXXXXX1XXX-XXE XXXXXXXXX1XXXXXXXX2XXXXXXXX3XXXXXXXX4XXXXXXXX5XXXXXXXX6XXXXXXXXX XXXXXXXXXX1XXXX XXXXXXXXX1XXXXXXXX2XXXXXXXX3XXXXX XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXX3XXXX XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXX3XXXXXXXX4XXXXXXXX5XXXXXXXX6XXXXXXXXX			
税関事務管理人 XXXXXXXX1XXX-XXE XXXX-XX-XXE XXXXXXXXX1XXXXXXXX2XXXXXXXX3XXXXXXXX4XXXXXXXX5XXXXXXXX6XXXXXXXXX				
輸入取引者 XXXXXXXXX1XXX-XXE XXXXXXXXX1XXXXXXXX2XXXXXXXX3XXXXXXXX4XXXXXXXX5XXXXXXXX6XXXXXXXXX 代理人 XXXE XXXXXXXXX1XXXXXXXX2XXXXXXXX3XXXXXXXX4XXXXXXXXX 通關士コード XXXXE				
納税者(入力) XXXXXXXX-X1XE 輸入取引者(入力) XXXXXXXX-X1XE				
[税関通知欄] 下記の貨物に対する税額を JJJJJJJJJ1JJJJJJJJ2JJJJJJJJJE				
この通知書により還付（減少）する金額の合計				

➡

関税更正通知書（内国消費税等更正通知書兼用）				1 / 2
		通知年月日 yyyy/MM/dd	通知番号 XXXXXXXXX1E	
納税者住所 電話 XXXXXXXX1E	XXXXXXXXX1XXX-XXE XXXXXXXXX1XXXXXXXX2XXXXXXXX3XXXXXXXX4XXXXXXXX5XXXXXXXX6XXXXXXXXX XXXXXXXXXX1XXXX XXXXXXXXX1XXXXXXXX2XXXXXXXX3XXXXX XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXX3XXXX XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXX3XXXXXXXX4XXXXXXXX5XXXXXXXX6XXXXXXXXX			
税関事務管理人 XXXXXXXX1XXX-XXE XXXX-XX-XXE XXXXXXXXX1XXXXXXXX2XXXXXXXX3XXXXXXXX4XXXXXXXX5XXXXXXXX6XXXXXXXXX				
輸入取引者 XXXXXXXXX1XXX-XXE XXXXXXXXX1XXXXXXXX2XXXXXXXX3XXXXXXXX4XXXXXXXX5XXXXXXXX6XXXXXXXXX 代 理 人 XXXE XXXXXXXXX1XXXXXXXX2XXXXXXXX3XXXXXXXXX 通關士コード XXXXE				
社内整理番号 XXXXXXXXX1XXXXXXXXX 納税者(入力) XXXXXXXX-X1XE 輸入取引者(入力) XXXXXXXX-X1XE				
[税関通知欄] 下記の貨物に対する税額を JJJJJJJJJ1JJJJJJJJ2JJJJJJJJJE				
この通知書により還付（減少）する金額の合計				

「納税者(入力)」と「輸入取引者(入力)」の出力欄を右に移動

VIII 詳細仕様検討結果

通関	航空 海上	第12回WG	基本IV-4	「輸出申告事項登録（EDA）」業務等の「インボイス番号」項目の仕様変更
EDA業務等の「インボイス番号」項目にアンダーバーの入力を可能にする。				

詳細仕様検討結果

以下の業務を対象に「インボイス番号」項目にアンダーバーの入力を可能にする。
上記に伴い、当該業務の出力画面・出力帳票および当該業務の後続業務の出力画面・出力帳票にてアンダーバーの出力を可能にする。

業務コード	業務名
EDA	輸出申告事項登録
EDA01	輸出申告変更事項登録
EAA	輸出許可内容変更申請事項登録
IIR	輸入指示書登録
IDA	輸入申告事項登録
IDA01	輸入申告変更事項登録
IVA	インボイス・パッキングリスト情報登録
IVB	インボイス・パッキングリスト仕分情報登録
IVB02	インボイス・パッキングリスト仕分情報仮登録
ACL01/ACL02	ACL情報登録
SIR	船積指図書（S/I）情報登録

VIII 詳細仕様検討結果

通関	航空 海上	第7,10回WG	基本IV-17	管理資料「輸出申告一覧データ(H01)」の改善（1）
管理資料「輸出申告一覧データ（H01）」の出力項目・出力対象を追加、出力形式を一部変更する。				

詳細仕様検討結果

- ①以下の項目を出力項目として追加する
- 通関士
 - ※ 管理資料「輸入申告一覧データ（I51）」についても同様の追加を実施する
- ②以下の申告・申請を出力対象として追加する
- 輸出取止め再輸入申告、特例輸出貨物の輸出許可取消申請
 - ※ 以下の管理資料についても同様の追加を実施する
 - H02「輸出貨物許可承認等実績データ」
 - H03「輸出通関取扱件数データ（日報）」
 - H04「輸出通関取扱件数データ（月報）」

1：輸出取止め再輸入申告
2：特例輸出貨物の
輸出許可取消申請

許可日	申告日	申告番号	...	輸出取止め再輸入申告・ 特例輸出貨物の輸出許可取消表示	...	通関士
20211124	20211124	XXXXXXXXXX0	...		...	#####
20211125	20211125	XXXXXXXXXX1	...	1	...	#####
20211125	20211125	YYYYYYYYYY0	...		...	#####
20211125	20211125	YYYYYYYYYY1	...	2	...	#####

輸出申告一覧データ（H01）の出力イメージ

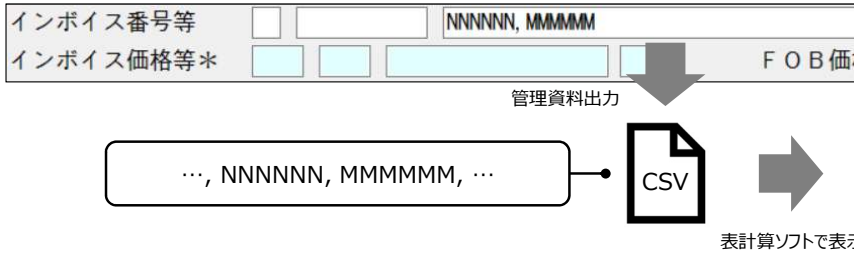
VIII 詳細仕様検討結果

通関	航空 海上	第7,10回WG	基本IV-17	管理資料「輸出申告一覧データ(H01)」の改善 (2)
----	----------	----------	---------	-----------------------------

③「インボイス番号」を文字列として出力する

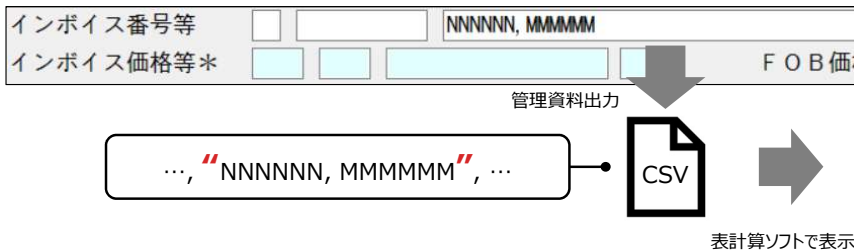
現行

インボイス番号に「,」が含まれる場合に、表計算ソフト上でセルが分割されてしまう。



次期

インボイス番号を文字列として出力する。(インボイス番号をダブルクォーテーションで囲む)



VIII 詳細仕様検討結果

通関	航空 海上	第7回WG	基本IV-4 基本IV-17	管理資料の追加 (見本持出申請の一覧)
----	----------	-------	-------------------	---------------------

管理資料として新たに「見本持出許可申請一覧データ」を追加し、前月中の見本持出許可および見本持出許可取消に関するデータを収集し、一覧形式で提供する。

詳細仕様検討結果

【提供概要】

- (1) 周期 : 月次 (毎月1日)
- (2) 出力先 : 見本持出許可申請 (MHA、MMA) 業務の申請者
(航空会社、通関業、機用品業、混載業、保税蔵置場、CY、NVOCC、海貨業、汎用申請者)
- (3) 出力単位 : 利用者コード単位

出力イメージ図

(出力共通項目)										… 他項目
見本持出許可申請一覧データ	99999999	X								
海空識別	申請官署	見本持出許可申請番号	申請年月日	許可年月日	取消年月日	貨物区分	貨物管理番号 / A W B 番号	蔵置場所	搬入年月日	持出期間開始年月日
X	XX	XXXXXXXXX1X	99999999	99999999	99999999	X	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXXXX3XXXXX	XXXXX	99999999	99999999
X	XX	XXXXXXXXX1X	99999999	99999999	99999999	X	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXXXX3XXXXX	XXXXX	99999999	99999999
X	XX	XXXXXXXXX1X	99999999	99999999	99999999	X	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXXXX3XXXXX	XXXXX	99999999	99999999
※明細数分繰り返す										
X	XX	XXXXXXXXX1X	99999999	99999999	99999999	X	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXXXX3XXXXX	XXXXX	99999999	99999999

VIII 詳細仕様検討結果

通関	航空 海上	第13回WG	基本IV-4	包括保険業務の改善
----	----------	--------	--------	-----------

「包括保険仮事項登録（HHA/HHA0W）」業務の「パスワード」「保険識別」「適用開始年月日」について改善を行う。

詳細仕様検討結果

	現行仕様	次期仕様	改善点
入力可能なパスワード	大文字英数字 / 4桁	大文字英数字 / 4桁～12桁	設定可能な桁数の上限を上げることでセキュリティ機能を強化する。
Cost and Freight の表記	C&F	C&F(CFR)	改正後の表記を追記する。 なお、後続の輸入申告ではC&Fの表記が使用されるためC&Fの表記は残存とする。
料率変更時の ワーニング出力	「適用開始年月日」の入力がない場合に、ワーニングの出力がない。	「適用開始年月日」の入力がない場合に、ワーニングを出力する。	「料率変更」を実施する際に、適用開始年月日の入力漏れにより、誤った料率が適用されることを防止する。

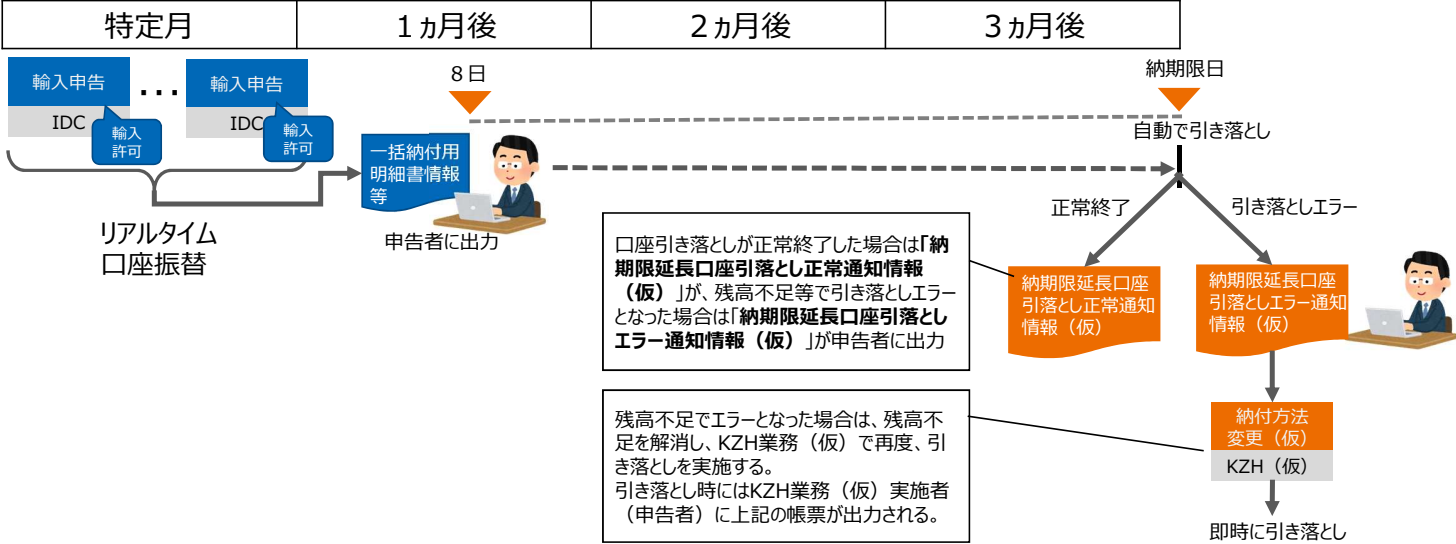
VIII 詳細仕様検討結果

通関	航空 海上	第16,19回WG	基本IV-14 基本IV-18	納期限延長に係るリアルタイム口座対応（1）
----	----------	-----------	--------------------	-----------------------

関税等の納期限延長制度(個別納期限延長、包括納期限延長、特例納期限延長)を利用した申告について、リアルタイム口座振替による納付を可能とする。

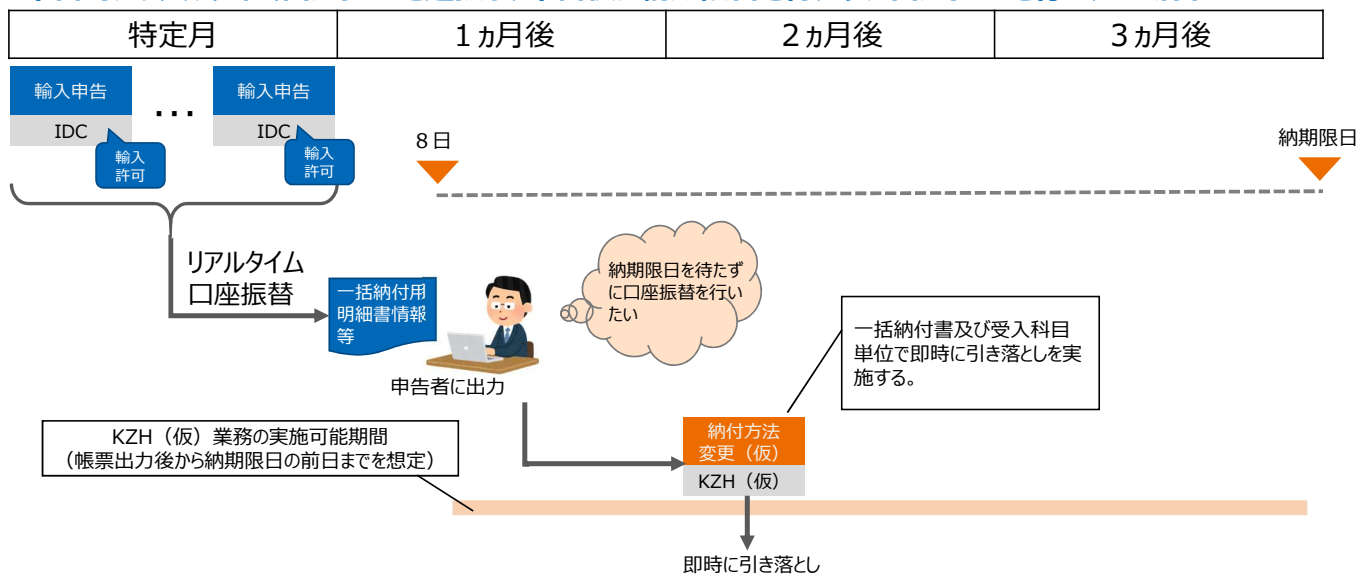
詳細仕様検討結果

（例）包括納期限延長を利用した場合



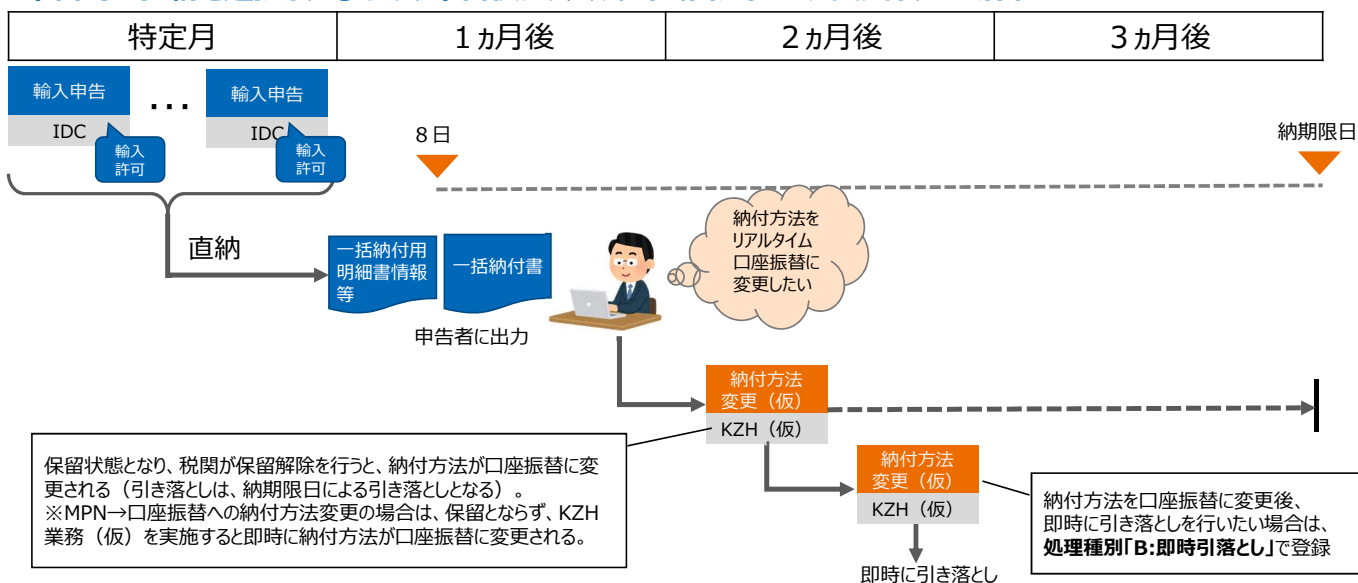
通関 航空 第16,19回WG 基本IV-14 基本IV-18 納期限延長に係るリアルタイム口座対応 (2)

(例) 申告時にリアルタイム口座振替を選択し、申告後に納期限日を待たずに口座振替を行いたい場合



通関 航空 第16,19回WG 基本IV-14 基本IV-18 納期限延長に係るリアルタイム口座対応 (3)

(例) 申告時は直納を選択したものの、申告後にリアルタイム口座振替に変更したい場合



VIII 詳細仕様検討結果

通関 航空 第16,19回WG 基本Ⅳ-14 基本Ⅳ-18 納期限延長に係るリアルタイム口座対応 (4)

納期限延長の種類及び納付方法別の出力帳票等

次期で追加する帳票等

種類	納付方法	納付を行うための帳票／管理資料			明細に関する帳票／管理資料		
		周期	名称	出力先	周期	名称	出力先
個別 納期限延長	口座	—	—	—	—	—	—
包括 納期限延長		—	—	—	月報 (8日)	一括納付用明細書情報 一括納付用明細データ 一括納付用明細総括データ	申告者のみ
特例 納期限延長		—	—	—	—	—	—

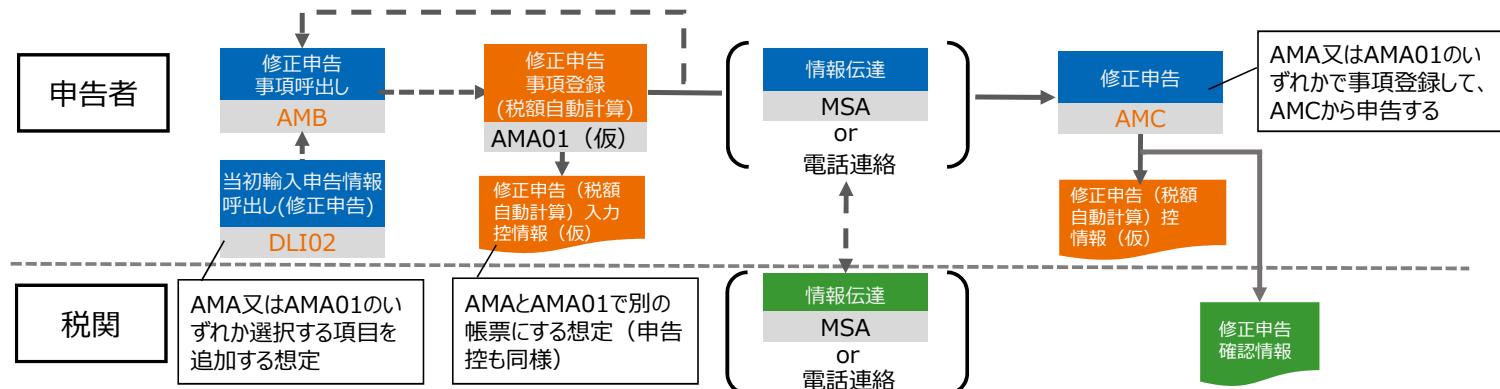
VIII 詳細仕様検討結果

通関 航空 第19回WG 第21回WG 基本Ⅳ-14 基本Ⅳ-18 修正申告の審査業務 効率化

税額計算機能を備えた新たな修正申告業務を設ける。
既存の修正申告業務(AMA等)については引き続き利用可能とし、使い分けを可能とする。

詳細仕様検討結果

- 現行の「修正申告事項登録 (AMA)」業務は引き続き利用可能としつつ、新規に「修正申告事項登録(税額自動計算) (AMA01)」業務 (仮) を追加する。
- 現行の「当初輸入申告情報呼出し(修正申告) (DLI02)」業務を利用して当初申告情報を読み出し、AMA01 (仮) で事項登録を行うことを可能とする。
また、修正申告 (AMC) 後、再度、修正申告する場合に、DLI02を利用して過去の修正申告情報を読み出し可能とする (AMA01 (仮) で事項登録した修正申告に限る。) 。
- 新規の「修正申告事項登録 (税額自動計算) (AMA01)」業務 (仮) では、1 件の当初申告毎に登録を行う仕様とする。
- AMA01 (仮) には、「輸入申告事項登録 (IDA)」業務相当の税額自動計算機能を設ける。
- AMA01 (仮) は第7次NACCS更改 (2025年10月頃) 後に行われた輸入申告等に対して利用可能とする。



通関	航空 海上	第19回WG	基本IV-4 基本IV-14	特例申告業務の改善（1）
① 特例申告控情報に添付書類提出の有無を表示し、特例申告時に提出すべき添付書類の有無を確認可能とする。 ② 特例申告の期限内訂正について、既存業務を利用して可能とする。 ③ 一括特例申告事項登録(TKA01)業務について、輸入(引取)申告番号をシステムで補完する。				

詳細仕様検討結果

①特例申告控情報に添付書類提出の有無を表示

変更対象となる帳票や画面

「審査検査区分識別」欄4桁目にGY判定表示を出力する。

(特例申告控の帳票イメージ)

「AIR/IMP」
S*****「帳票タイトル」(特例申告控-A)
代表税番 XXXXE 申告種別 **区分 XXXE** あて先税関/部門 XXXXXXXXXXXE 申告年月日 yyyy/MM/dd 特例あて先税関/部
輸 入 者 XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXX
入 住 所 XXXXXXXXE XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXX
電 話 XXXXXXXXXXXX
税関事務管理人 XXXXXXXXXXXXXXXXXX
輸 入 取 引 者 XXXXXXXXXXXXXXXXXX
仕 出 入 所 XXXXXXXXXXXXXXXXXX
輸 出 の 委 託 者 XXXXXXXXXXXXXXXXXX
代 理 人 XXXXXXXXXXXXXXXXXX

※出力項目表の桁数に変更無し(4桁のまま)

収集変更対象となる管理資料

「輸入申告審査区分別一覽表 (I56)」

収集対象に特例申告を追加する（特例申告期限内訂正も対象。ただし、一括特例申告は収集対象外）。
また、特例申告についてY判定処理を行い、判定結果を出力する。

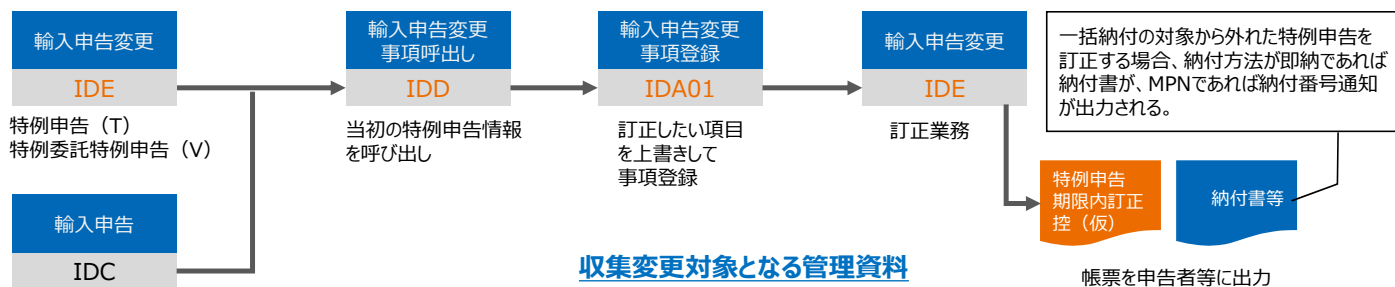
通関	航空海上	第19回WG	基本Ⅳ-4 基本Ⅳ-14	特例申告業務の改善（2）
----	------	--------	-----------------	--------------

②特例申告の期限内訂正

※UTK業務で出力日を変更している場合は7日

システムで期限内訂正業務を行える期間

- 一括納付の対象となる申告（即納）を訂正する場合は、一括納付書等の出力日の前日（特定日：20日※）まで実施可能とする。
一方、一括納付の対象から外れた申告（即納）を訂正する場合は、納税を行わない限り、特例申告期限日まで実施可能とする。
- 特例申告納期限延長を利用する申告を訂正する場合は、特例申告期限日まで実施可能とする。



収集変更対象となる管理資料

帳票を申告者等へ出力

輸入（引取・特例）申告等（J）
特例委託輸入（引取・特例）申告（P）
蔵出輸入（引取・特例）申告（R）

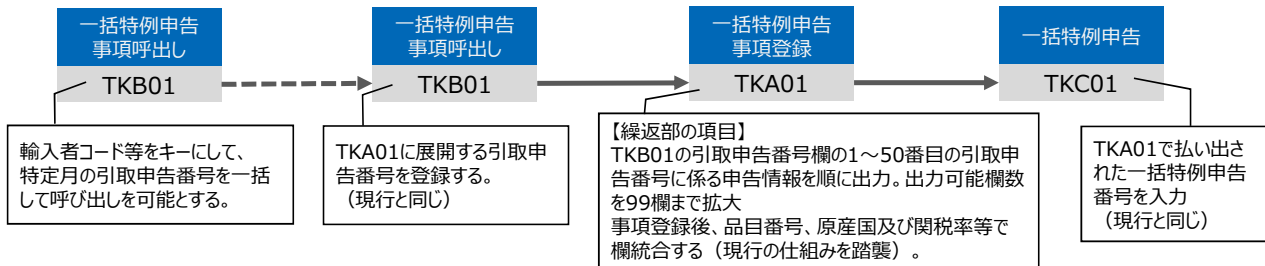
「輸入貨物許可承認等実績データ (I52)」
「輸入貨物取扱実績データ (I54)」
「輸入申告審査区分別一覧表 (I56)」
「包括保険使用実績データ (I57)」

VIII 詳細仕様検討結果

通関	航空 海上	第19回WG	基本IV-4 基本IV-14	特例申告業務の改善 (3)
----	----------	--------	-------------------	---------------

③一括特例申告の利便性向上

- 「一括特例申告事項呼出し (TKB01)」業務にて、輸入者コード等を入力することで、特定月の引取申告番号を一括して呼び出し可能とする。
呼び出しを行える引取申告番号は、TKB01実施者が取り扱った引取申告分のみ
- 申告情報を「一括特例申告事項登録 (TKA01)」業務の繰返部にも出力可能とする。
- TKA01業務における繰返部の欄数を99欄まで拡大する。

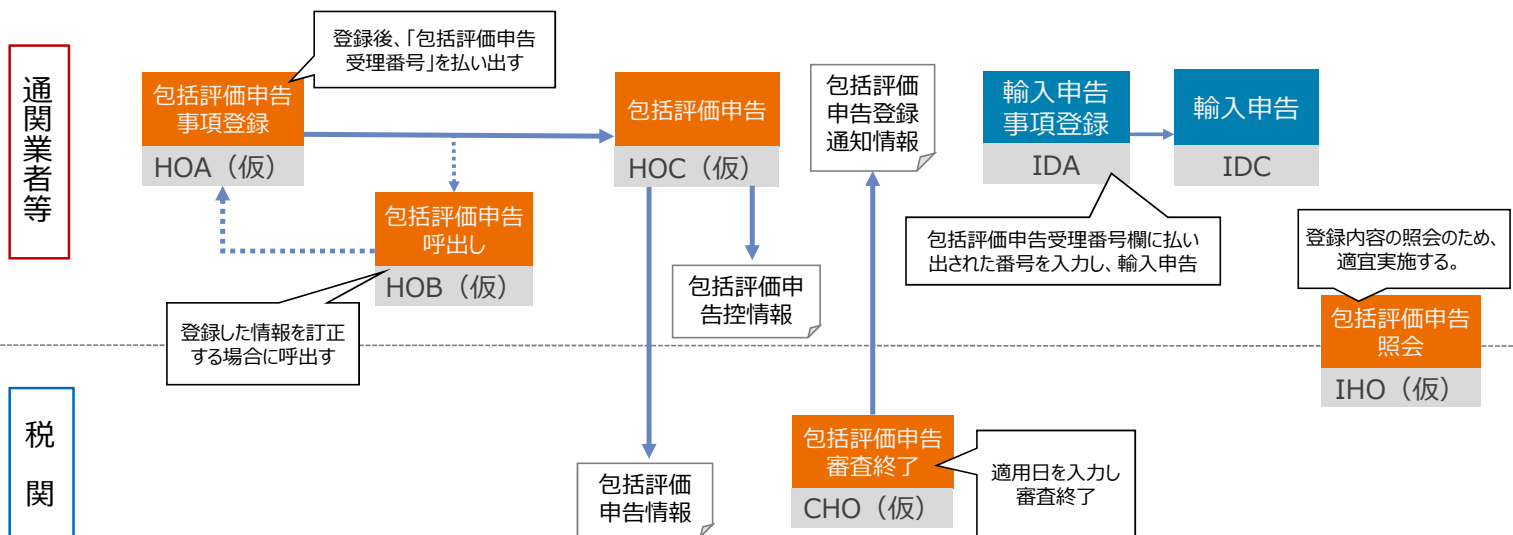


VIII 詳細仕様検討結果

通関	航空 海上	第19回WG	基本IV-4	包括評価申告の個別業務化
----	----------	--------	--------	--------------

包括評価申告書について、個別業務を新設し、システムによる申告を可能とする。

詳細仕様検討結果

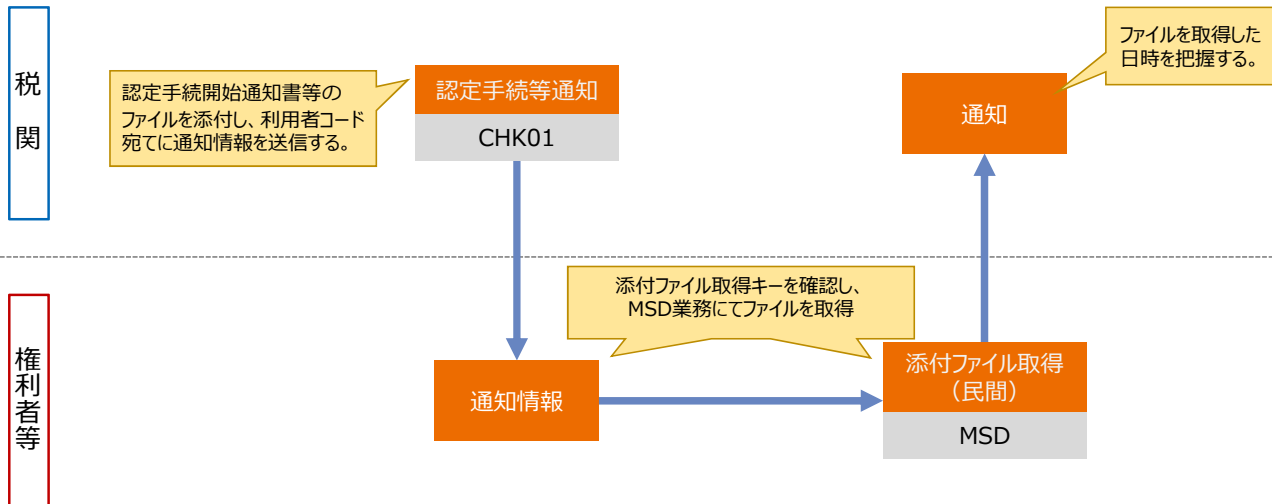


VIII 詳細仕様検討結果

通関	航空 海上	第18回WG	基本IV-14	知的財産関係手続に係る各種通知の電子化
現状、税関から権利者等に対し郵送している認定手続開始通知書等の知的財産関係手続通知書について、個別業務を新設し、電子的な送信を可能とする。				

詳細仕様検討結果

税関から民間利用者に対し、知的財産関係手続ファイルの送信を可能とする。



VIII 詳細仕様検討結果

通関	航空	第16回WG	基本IV-14 基本IV-18	機用品蔵入等承認申請の改善
機用品蔵入等承認申請事項登録(CTA)業務の入力項目「他法令」に「WA：ワシントン該当」の入力を可能としその際、帳票に原紙提出要を出力する。 機用品蔵入等承認申請照会(ICT)業務における出力項目に「審査検査区分識別」を追加し、通関関係書類の提出要否判定結果を照会可能とする。				

詳細仕様検討結果

CTA業務画面(抜粋)

The screenshot shows the CTA business screen. The '他法令' (Other Laws) field is highlighted with a red box, indicating that the code 'WA' can now be entered. Other fields include A/WB number, B/L number, and a section for '無為替輸入承認' (Non-Exchange Input Approval).

以下の業務における入力項目「他法令」にコード「WA」を入力可能とする。
 ・「機用品蔵入等承認申請事項登録（CTA）」業務
 ・「機用品蔵入等承認申請変更事項登録（CTA01）」業務
 帳票に原紙提出要を出力する。

ICT業務照会結果画面(抜粋)

The screenshot shows the ICT business inquiry result screen. The '区分' (Category) field is highlighted with a red box, indicating that the '審査検査区分識別' (Review/Inspection Category Identification) can now be added to the output items.

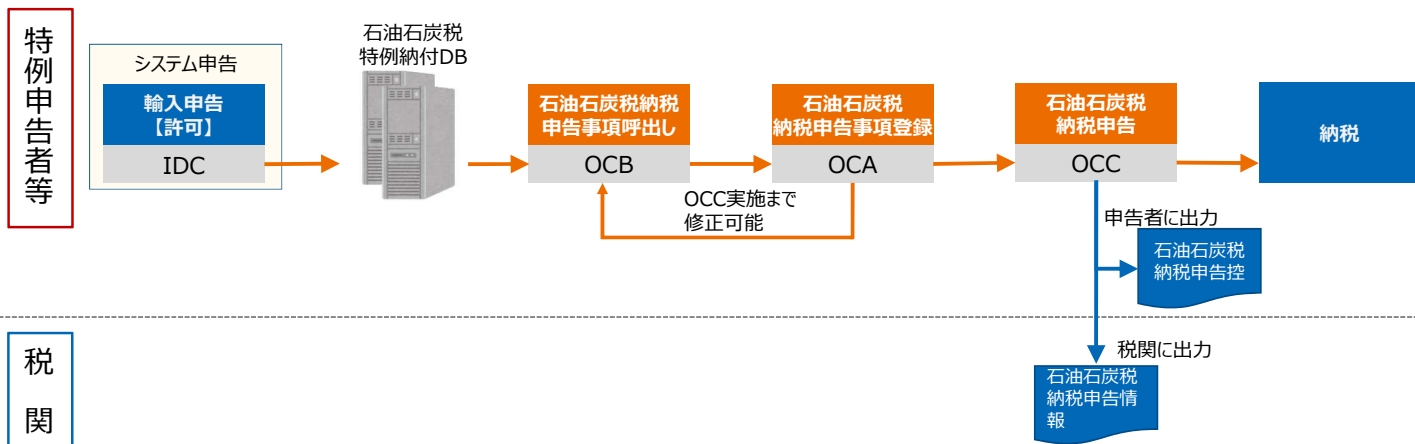
出力項目に「審査検査区分識別」を追加

VIII 詳細仕様検討結果

通関	航空 海上	第19回WG	基本IV-14	石油石炭税法第15条に基づく特例納付のシステム化（1）
マニュアルにて行っている石油石炭税法第15条に基づく納税申告について、システムでの申告及び納税を可能とすることにより、利便性の向上及び事務の効率化を図る。				

詳細仕様検討結果

- ・ 輸入許可時に、納税申告に必要な課税標準等の項目を新規DB（石油石炭税特例納付DB。以下、「特例納付DB」という。）に登録する。
- ・ 特例申告者は特例納付DBから申告情報を呼び出し、納税申告に係る事項登録を可能とする（マニュアル申告については課税標準等の手入力が必要）。
- ・ 特例申告者だけでなく、通関業者による納税申告も可能とする。
- ・ 直納、マルチペイメント又はリアルタイム口座振替による納税を可能とする。



VIII 詳細仕様検討結果

通関	航空 海上	第19回WG	基本IV-14	石油石炭税法第15条に基づく特例納付のシステム化（2）
----	----------	--------	---------	-----------------------------

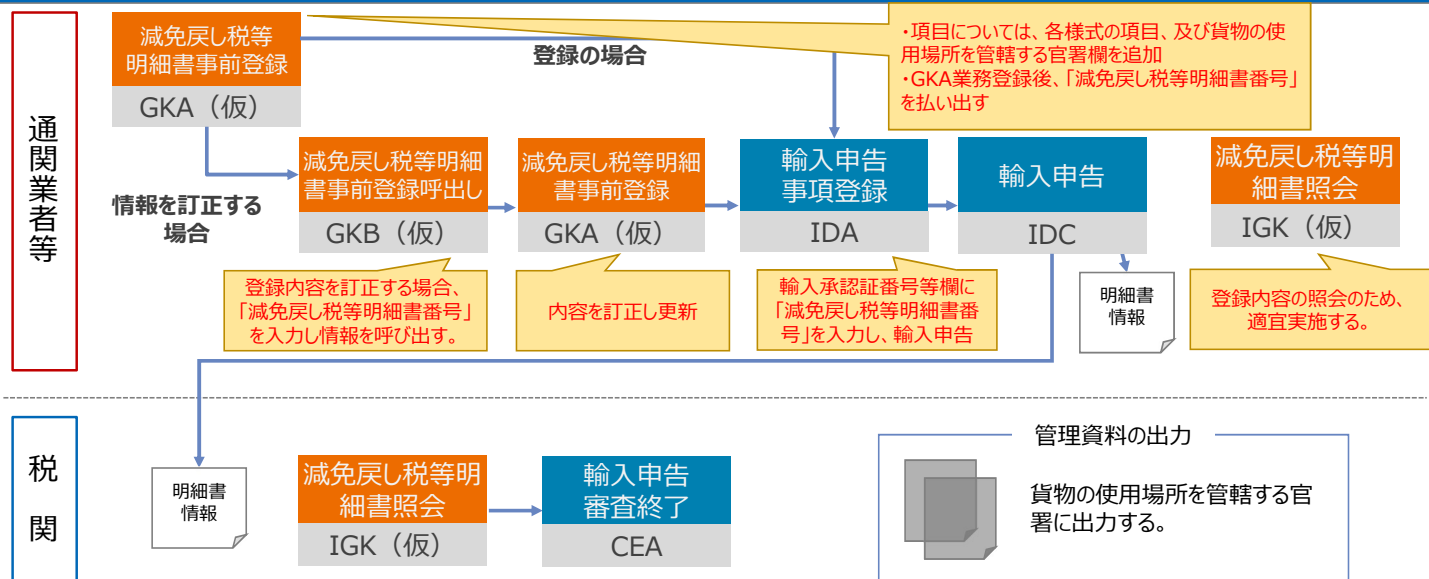
項番	業務名(仮)	業務コード(仮)	業務概要
1	石油石炭税納税申告事項登録	OCA	・ OCB業務にて指定された申告情報を本画面に出力 ・ 必要に応じて記載内容を修正し、納税申告内容を登録
2	石油石炭税納税申告事項呼出し	OCB	・ 新規登録時は「輸入者コード」を送信し、OCA業務未実施の輸入申告番号を本画面に出力し、納税申告の対象となる申告番号を指定し、OCA業務を呼出し ・ 事項登録内容を訂正する場合は、「石油石炭税納税申告番号」を送信し、OCA業務を呼出し ・ 事項登録内容に輸入申告番号を追加・削除する場合は「輸入者コード」及び「石油石炭税納税申告番号」を送信し、OCA業務を呼出し
3	石油石炭税納税申告	OCC	・ 納税申告を実施 ・ 入力者に石油石炭税納税申告控を出力 ・ 税関に石油石炭税納税申告情報を出力
4	石油石炭税納税申告照会	IOD	・ OCA業務で払い出された「石油石炭税納税申告番号」をもとに事項登録内容を出力

VIII 詳細仕様検討結果

通関 航空 第18回WG 基本IV-14 減免戻し税等明細書提出のシステム化（1）

一部の減免戻し税等明細書について、個別業務を新設しNACCSで提出可能とする。

詳細仕様検討結果



VIII 詳細仕様検討結果

通関 航空 第18回WG 基本IV-14 減免戻し税等明細書提出のシステム化（2）

項番	業務名(仮)	業務コード(仮)	業務概要
1	減免戻し税等明細書事前登録	GKA	・減免戻し税等明細書に係る内容を登録 ・登録、訂正、取消しを可能 ・登録後に「減免戻し税等明細書番号」が払い出される
2	減免戻し税等明細書事前登録呼出し	GKB	・入力者がGKA業務で登録した情報を訂正または取消しするために呼出しを行う業務 ・「減免戻し税等明細書番号」を入力し、登録された情報を呼び出す
3	減免戻し税等明細書照会	IGK	・入力者が登録した情報を照会するために行う業務 ・「減免戻し税等明細書番号」を入力し、登録された情報を呼び出す

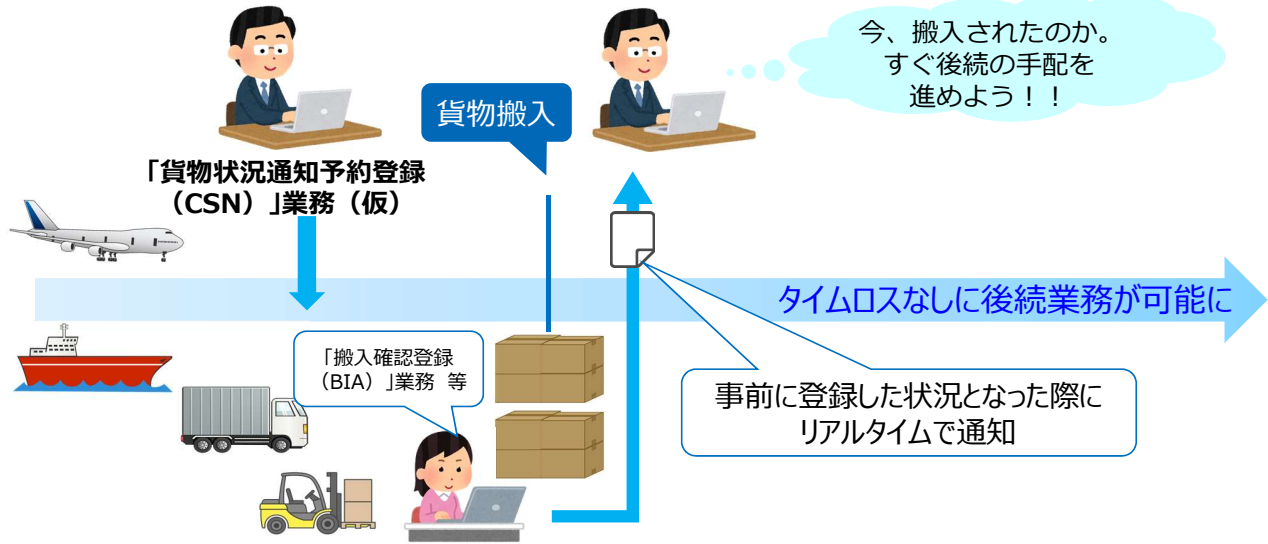
© 2013 Pearson Education, Inc. or its affiliate(s). All rights reserved. Pearson Education, Inc., publishing as Pearson Benjamin Cummings, 101 University Avenue, New York, NY 10017-2423.

<貨物（共通）編>

貨物	航空 海上	第13,14,16回WG	基本IV-7	貨物状況通知サービスの提供（1）
通知を必要とする貨物番号と通知契機を事前に登録しておき、貨物の搬出入や輸出入許可時などの貨物情報の更新時に、リアルタイムに登録者端末宛てに通知する業務を新設する。				

詳細仕様検討結果

業務概要イメージ図



VIII 詳細仕様検討結果

貨物 航空 第13,14,16回WG 基本IV-7 貨物状況通知サービスの提供 (2)

新規追加業務 業務概要一覧

No	業務名(仮)	業務コード(仮)	業務概要
1	貨物状況通知予約登録	CSN	・貨物番号またはコンテナ番号に対し、指定した契機で通知を受けるために予約する業務 ・登録、訂正、取消しが可能 ・業務実施後に、新規処理結果通知電文(*CCSN)を出力
2	貨物状況通知予約呼出し	CSN11	・入力者が予約した情報を訂正または取消しするために呼出しを行う業務 ・業務実施後に、新規業務画面電文「貨物状況通知予約呼出し結果情報(CAL3020)」を出力する。 ・呼出した画面には、予約した情報に加え、通知状況を出力する。
3	貨物状況通知	CSN01	・通知予約した貨物に対し、通知契機となる業務が実施された際に、予約登録者端末宛てに通知を行う ・通知は、新規帳票電文「貨物状況通知情報(CAL3010)」をEXZ型電文で行う。

VIII 詳細仕様検討結果

貨物 航空 第13,14,16回WG 基本IV-7 貨物状況通知サービスの提供 (3)

CSN業務 入力画面

処理区分には以下を入力

- ・スペース：登録
- ・5：訂正
- ・1：取消し

貨物情報を一意に特定するため、下記識別の入力を必須とする

- S：海上貨物管理番号 (ICG業務相当)
- C：海上コンテナ番号 (ICN業務相当)
- I：航空輸入AWB番号 (IAW業務相当)
- E：航空輸出AWB番号 (IGS業務相当)

下記通知について、保税地域毎の通知を要する場合は、保税地域コードとあわせて入力

- ・搬入
- ・搬出
- ・保税運送承認 (発送地を入力)

The screenshot shows the CSN business input screen with the following fields and options:

- 処理区分**: Dropdown menu.
- 貨物識別***: Dropdown menu with 'S' selected.
- 貨物番号等***: Text field with 'BLND000001' entered.
- 貨物単位の通知**:
 - ☐ 審査終了
 - ☒ 許可承認
 - ☐ 搬入
 - ☐ 搬出
 - ☐ 保税運送承認
- 保税地域単位の通知**:
 - 保税地域コード1**: Text field with '1AABC' entered.
 - ☐ 搬入
 - ☒ 搬出
 - ☒ 保税運送承認
 - 保税地域コード2**: Text field with '1ADEF' entered.
 - ☒ 搬入
 - ☐ 搬出
 - ☐ 保税運送承認
 - 保税地域コード3**: Text field (empty).
 - ☐ 搬入
 - ☐ 搬出
 - ☐ 保税運送承認
- 通知先利用者ID**: Text field with '1ANACY01' entered.
- 通知先端末名**: Text field with 'YNAC1Y' entered.

貨物番号等には以下を入力

- ・海上輸入／仮陸：B/L番号
- ・海上輸出／積戻：輸出管理番号
- ・海上コンテナ：コンテナ番号
- ・航空輸出入貨物：AWB番号

対象保税地域によらず、搬出入の度、保税運送承認の度に通知を受けたい場合は、貨物単位の通知予約にチェックを入れる。
保税地域を指定して通知を受けたい場合は、保税地域単位の通知予約にチェックを入れる。
貨物単位の通知、保税地域単位の通知のいずれか一方のみにチェック

通知先が入力者、入力元端末と異なる場合は、通知先利用者ID、通知先端末名を入力。
※入力がある場合は、利用者コード下3桁の一致チェック(同一企業チェック)、および、端末所有者チェックを行う

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	航空 海上	第13,14,16回WG	基本IV-7	貨物状況通知サービスの提供（4）
----	----------	--------------	--------	------------------

通知情報 出力例

下記のいずれかを出力

C：審査終了
P：許可承認
I：搬入
O：搬出
T：保税運送承認
X：通知権限エラー(通知済日時は出力しない)

以下の貨物単位の通知について、複数回の通知履歴がある場合は、最新の通知済日時を出力

- ・搬入
- ・搬出
- ・保税運送承認

貨物状況通知情報

貨物識別 S 貨物番号等 BLN0000001

今回通知契機 P 今回通知保税地域 今回通知処理日時 2025/12/04 10:00

貨物単位の通知		通知済日時
☐ 審査終了		/ / :
☒ 許可承認	2025/12/04 10:00	/ / :
☐ 搬入		/ / :
☐ 搬出		/ / :
☐ 保税運送承認		/ / :

保税地域単位の通知		通知済日時
保税地域コード1 1AABC	☐ 搬入	/ / :
	☒ 搬出	2025/12/02 11:30
	☒ 保税運送承認	2025/12/01 10:00
保税地域コード2 1ADEF	☒ 搬入	2025/12/03 12:10
	☐ 搬出	/ / :
	☐ 保税運送承認	/ / :
保税地域コード3	☐ 搬入	/ / :
	☐ 搬出	/ / :
	☐ 保税運送承認	/ / :

通知先利用者ID 1ANACA01 通知先端末名 NAC01W 最終予約登録実施者 1CNACA0A

通知契機が以下の場合に出力

I：搬入
O：搬出
T：保税運送承認(発送地を出力)

通知済の予約情報がある場合は、通知済日時を出力

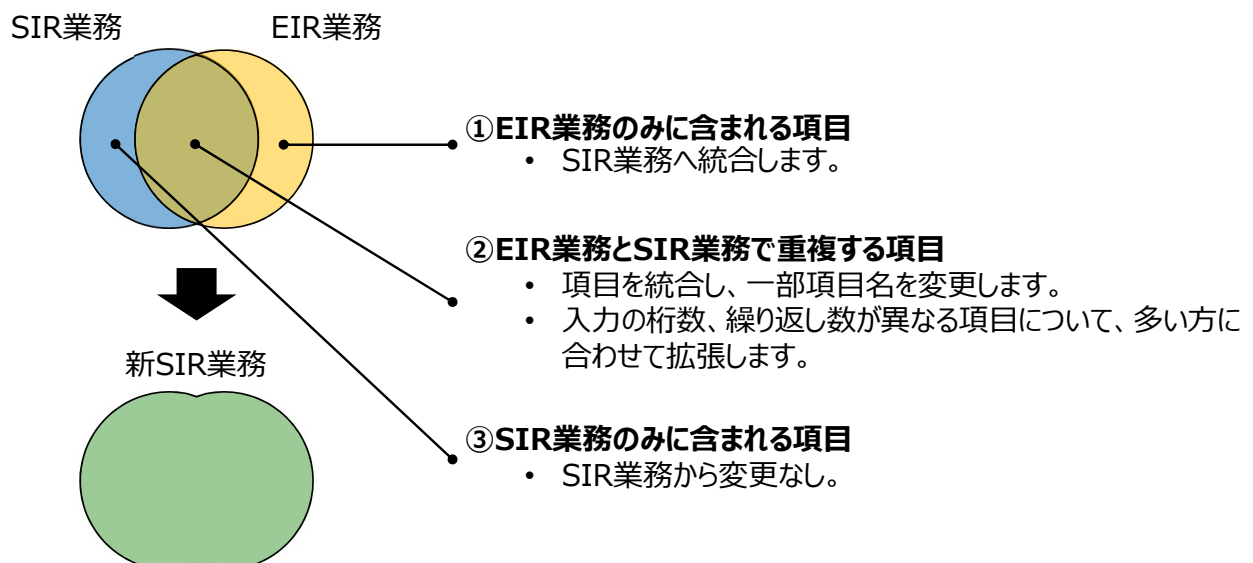
予約登録または最後に訂正した利用者IDを出力

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	航空 海上	第8回WG	基本IV-3	SIR業務とEIR業務の統合
----	----------	-------	--------	----------------

「S/I情報登録（EIR）」業務（航空）を「船積指図書(S/I)情報登録（SIR）」業務（海上）へ統合し、海上・航空共通で利用可能な新SIR業務とする。

詳細仕様検討結果



保稅運送申告番号等の帳票および画面の表示を輸出入許可通知情報の申告等番号と同様の3-4-4桁毎の区切りとする。
また、保稅運送申告番号等の他、輸出申告入力控情報等で帳票は対応済みであり画面上区切りのない番号については新たに区切りを入れて表示する。

保税運送申告番号等が出力される帳票ならびに画面において、11桁連続で表示されていた項目を、3-4-4で区切って表示する。
出力画面を対象とし、入力画面については変更対象としない。出力情報コードの世代は現状のままとなる。

①保稅運送等承認番号	帳票・画面
②輸出等申告番号(輸出取止め再輸入含む)	画面のみ
③別送品輸出申告番号	画面のみ
④機用品蔵入承認申請番号	画面のみ

画面における変更例

[illegible]

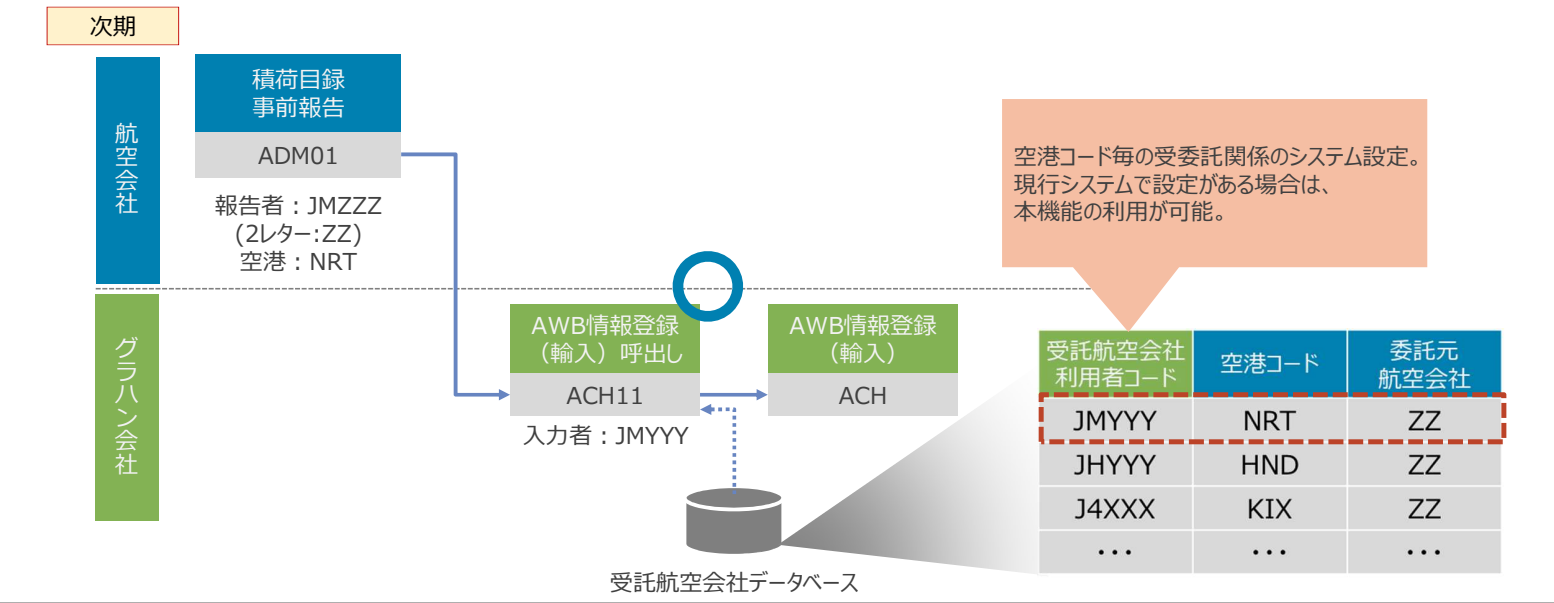
The diagram illustrates the data flow between two forms. The top form, 'Notice of Appearance', contains a red-bordered box around the 'Notice Number' field, which displays '999999999999'. A large black arrow points from this field to the 'Notice Number' field in the bottom form, 'Notice of Appointment'. The 'Notice of Appointment' form has a blue dashed-bordered box around its 'Notice Number' field, which displays '999 9999 9999'. This visualizes how the notice number is transferred from the appearance form to the appointment form.

<貨物（航空）編>

貨物	航空	第12回WG	基本IV-4	「AWB情報登録（輸入）呼出し（ACH11）」業務の改善
----	----	--------	--------	------------------------------

ACH11業務において、予めシステムに登録された航空会社と受託航空会社（グランドハンドリング会社等）との受委託関係を判断し、受委託関係がある場合は、ADM01業務で登録された情報を受託航空会社（グランドハンドリング会社等）が呼出し可能とする。

詳細仕様検討結果



NACCS
Nippon Automated Cargo And Port Consolidated System

詳細仕様検討結果

次期

The diagram illustrates the proposed system architecture for cargo tracking, comparing the current implementation (M A W B) with the next-phase implementation (H A W B).

Current Implementation (M A W B):

- AWB情報登録 (輸入) ACH** (AWB Information Registration (Import) ACH) feeds into **貨物確認情報登録 PKG** (Cargo Confirmation Information Registration PKG).
- 貨物確認情報登録 PKG** feeds into **保税運送申告 (一般) OLT01** (Bonded Transport Declaration (General) OLT01).
- 保税運送申告 (一般) OLT01** feeds into **搬出確認登録 (一般) OUT** (Export Confirmation Registration (General) OUT).
- 搬出確認登録 (一般) OUT** feeds into **搬入確認登録 BIN01** (Import Confirmation Registration BIN01).

Next-Phase Implementation (H A W B):

- AWB情報登録 (輸入) ACH** feeds into **貨物確認情報登録 PKG**.
- 貨物確認情報登録 PKG** feeds into **ロケーション情報登録 LOA01** (Location Information Registration LOA01).
- ロケーション情報登録 LOA01** feeds into **HAWB情報登録 HCH01** (HAWB Information Registration HCH01).
- HAWB情報登録 HCH01** feeds into **混載貨物確認情報登録 HPK** (Mixed Cargo Confirmation Information Registration HPK).

Key Features and Transitions:

- 空港保税蔵置場** (Airport Bonded Warehouse) is associated with the current implementation.
- 一般保税蔵置場等** (General Bonded Warehouse etc.) is associated with the next-phase implementation.
- 現行実施可能** (Currently Implementable) is indicated by a blue arrow from PKG to OLT01.
- 次期実施可能** (Next-Phase Implementable) is indicated by a red arrow from OLT01 to OUT.
- A red callout box states: **この間のLOA01業務を実施可能とする** (Make it possible to implement LOA01 business in this period).

NACCS
Nippon Automated Cargo And Port Consolidated System

© 2013 Pearson Education, Inc. or its affiliate(s). All rights reserved. This publication is protected by copyright. Any unauthorized distribution or reproduction of this work is illegal. All other rights reserved.

VIII 詳細仕様検討結果

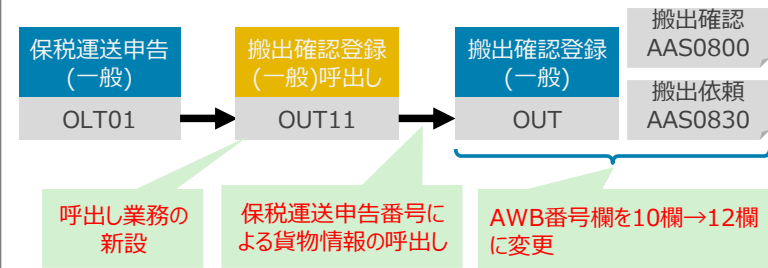
貨物	航空	第7回WG	基本IV-4	「搬出確認登録(一般)(OUT)」業務の改善
----	----	-------	--------	------------------------

OLT貨物に関するOUT入力をAWB単位ではなく、保税運送申告番号から対象のAWB番号を呼び出すことが可能となるよう呼出業務を新設する。

詳細仕様検討結果

以下の方法で保税運送申告番号単位でのOUT業務を可能とする。

- 「搬出確認登録(一般)呼出し(OUT11)」業務を新設し、保税運送申告番号による貨物情報の呼出しを可能とする(マニュアルによる入力作業の削減)。
- OLT業務のAWB番号の欄数にあわせ、以下の入出力におけるAWB番号欄を10欄から12欄に変更する。
 - 搬出確認登録(一般)結果情報(AAS0800)
 - 搬出依頼情報(AAS0830)



「搬出確認登録(一般)(OUT)」業務画面

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	航空	第10回WG	基本IV-4	「輸入便情報照会(HAWB)(IMF12)」業務の改善
----	----	--------	--------	-----------------------------

照会区分「D：不突合貨物照会」の場合でも、便名の入力を可能とし、入力した便名で登録された不突合HAWB貨物の照会を可能とするよう変更する。

詳細仕様検討結果

次期

入力イメージ

出力イメージ

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	航空	第9,10回WG	基本IV-4	「保税蔵置場在庫状況照会(輸出)(IWH)」業務の改善
「保税蔵置場在庫状況照会(輸出)(IWH)」業務の以下の出力情報について、「MAWB番号」の項目追加を行い、HAWB番号の出力時に属するMAWB番号を出力する。 ・保税蔵置場在庫状況照会(輸出)情報 (AAT149) ・保税蔵置場在庫状況照会(輸出)リスト情報 (AAT150) また「仕立未済」の項目を追加し、当該項目に「Y」が入力された場合は、「混載仕立情報登録 (HDF01)」業務未実施のHAWB番号の一覧を出力する。				

詳細仕様検討結果

保税蔵置場在庫状況照会(輸出)情報 (AAT149¹)

保税蔵置場在庫状況照会(輸出)リスト情報 (AAT150¹)

「仕立未済」の項目を追加し、当該項目に「Y」が入力された場合は、「混載仕立情報登録 (HDF01)」業務未実施のHAWB番号の一覧を出力する。

項目追加に伴い、出力情報コードの世代も追加となる。

保税蔵置場在庫状況照会(輸出) 情報

ファイル(F) 表示(V)

照会パターン番号 ☐ 保税蔵置場 ☐ 重量指定 ☐ 棟記号 ☐ 代理店 ☐

混載業 ☐ 利用者略称 ☐ 航空会社 ☐ 受託会社 ☐ 積込港 ☐ 便名 ☐

仕向地域 ☐ 識別 ☐ 要強制搭載完了 ☐ 全量許可済 ☐ 下一桁 ☐ 仕立未済 ☐

合計件数 合計個数 合計重量

AWB番号	代理店	混載業	品名	種別	通関	個数	総個数	重量	仕向地	特殊貨物	搬入年月日
01											
02											
03											

MAWB番号

<AIR/EXP> INQUIRY ON BONDED CARGO yyyy/MM/dd HH:mm

照会パターン番号	XE	保税蔵置場	XXXXE	重量指定	X	棟記号	X	代理店	XXXXE	混載業	XXXXE
利用者略称	XXE	航空会社	XE	受託航空会社	XXXXE	積込港	XXE	便名	XXXXXE	/	XXXXE
仕向地域	XXE	XXE	XXE	識別	X	要強制搭載完了	X	全量輸出許可済	X	下一桁	X
合計件数	123,456	合計個数	123,456,789	合計重量	123,456,789,012						
AWB番号	種別	通関	個数	総個数	重量	仕向地	S.P.C	搬入年月日			
代理店	混載業	品名	便名	事故	差止	U.L.D	MAWB番号				
X XXX XXXXXX1XXXXXXXXXXE	X	X	123,456	123,456	12,345,678	XXE	XXE	yyyy.MM.dd			
XXXXE XXXXE XXXXXX1XXXXXXXXXXE	X	X	123,456	123,456	12,345,678	XXE	XXXXXXX1XXXXXXXXXXE				
X XXX XXXXXX1XXXXXXXXXXE	X	X	123,456	123,456	12,345,678	XXE	XXXXE	yyyy.MM.dd			
XXXXE XXXXE XXXXXX1XXXXXXXXXXE	X	X	123,456	123,456	12,345,678	XXE	XXXXXXX1XXXXXXXXXXE				
XXXXE XXXXE XXXXXX1XXXXXXXXXXE	X	X	123,456	123,456	12,345,678	XXE	XXXXE	yyyy.MM.dd			
XXXXE XXXXE XXXXXX1XXXXXXXXXXE	X	X	123,456	123,456	12,345,678	XXE	XXXXXXX1XXXXXXXXXXE				

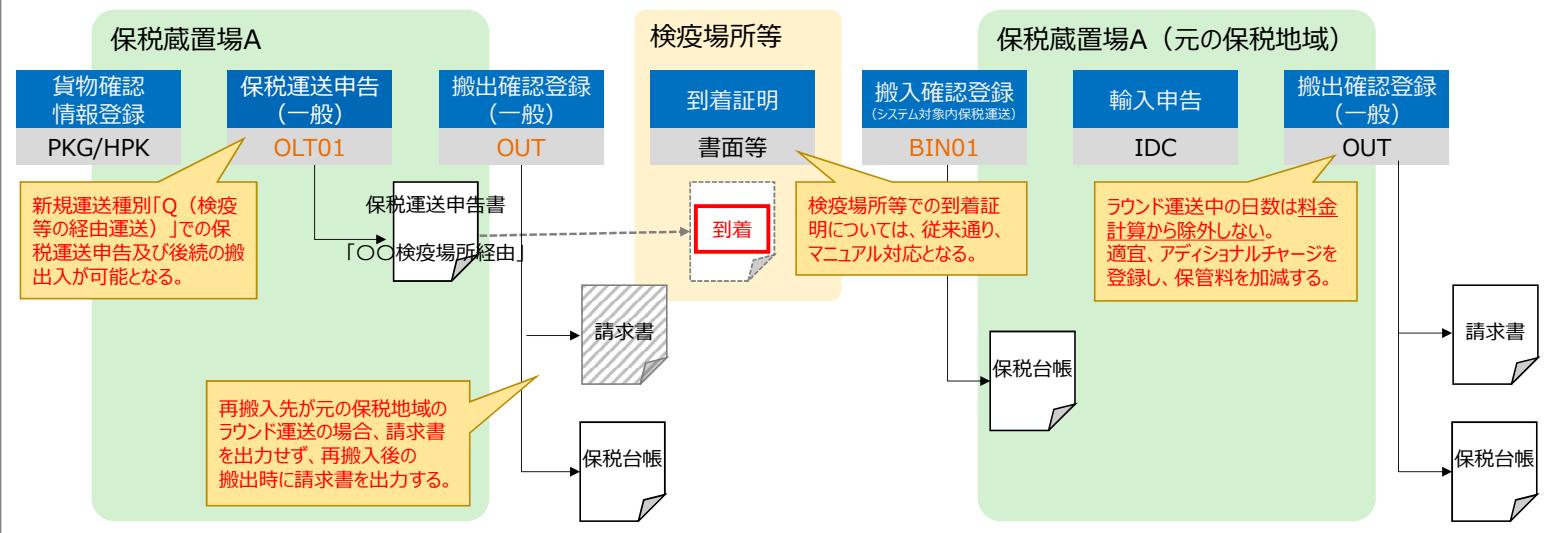
MAWB番号の出力項目欄を追加し、HAWB番号を出力する際に属するMAWB番号を出力

VIII 詳細仕様検討結果

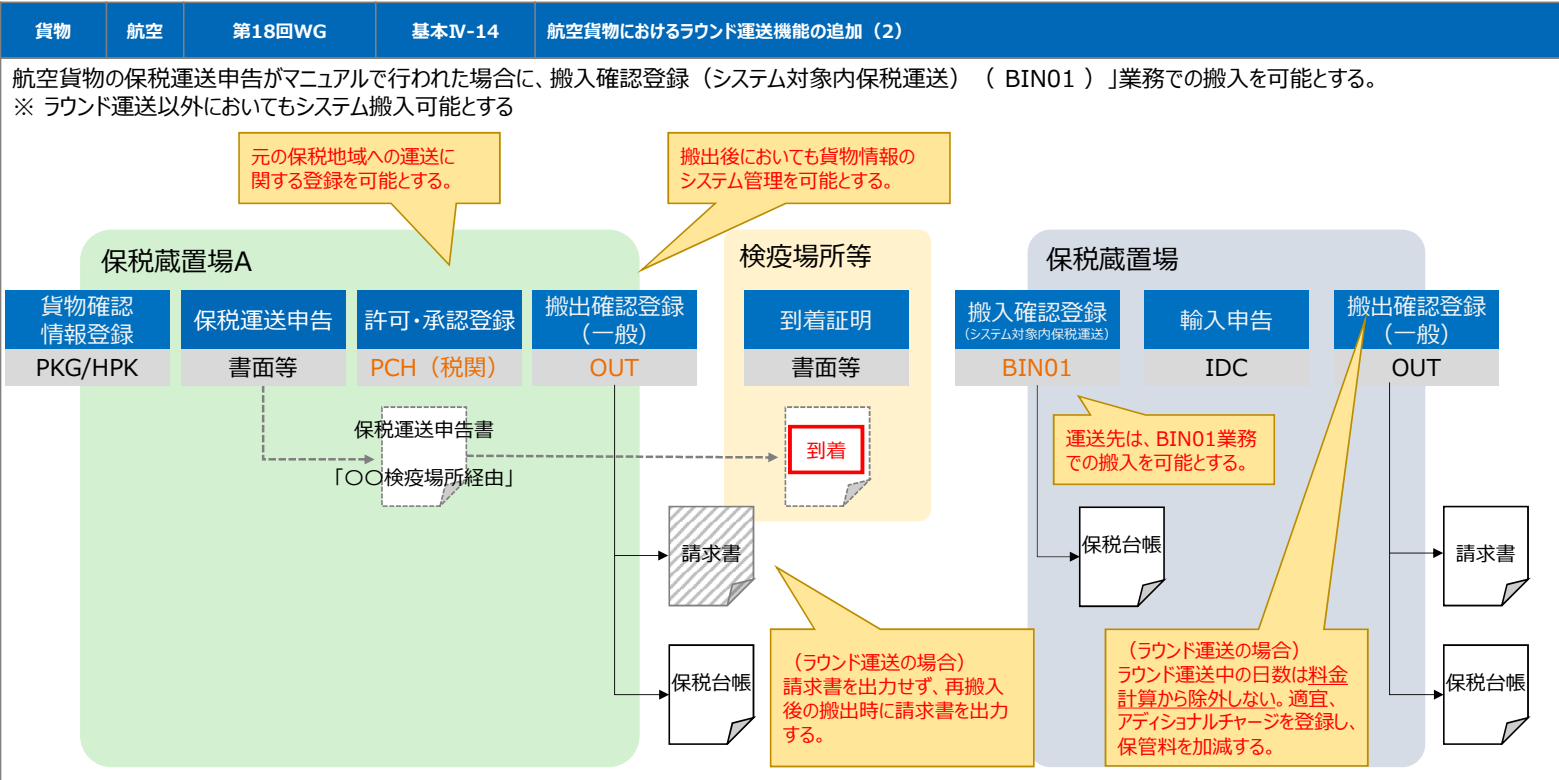
貨物	航空	第18回WG	基本IV-14	航空貨物におけるラウンド運送機能の追加 (1)
航空貨物において検査場所等を経由して元の保税地域へ搬入する場合(ラウンド運送)について、システムによる保税運送申告を可能とする。 また、航空貨物の保税運送申告がマニュアルで行われた場合に、搬入確認登録(システム対象内保税運送)(BIN01)業務での搬入を可能とする。				

詳細仕様検討結果

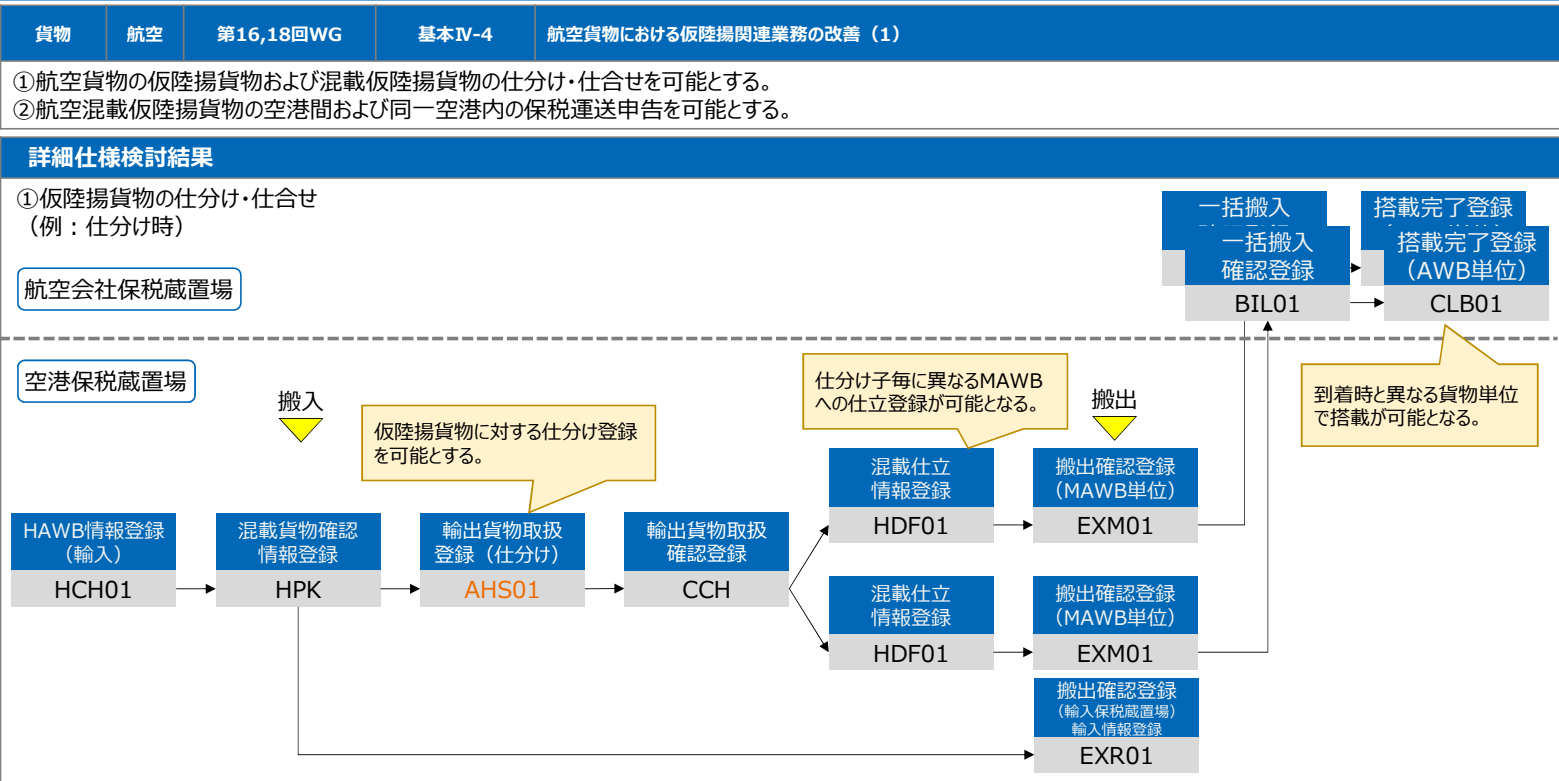
「保税運送申告(一般)(OLT01)」業務に新規運送種別「Q(検査等の経由運送)」を追加し、当該種別を使用した場合に、元の保税地域への再搬入を可能とする。



VIII 詳細仕様検討結果



VIII 詳細仕様検討結果



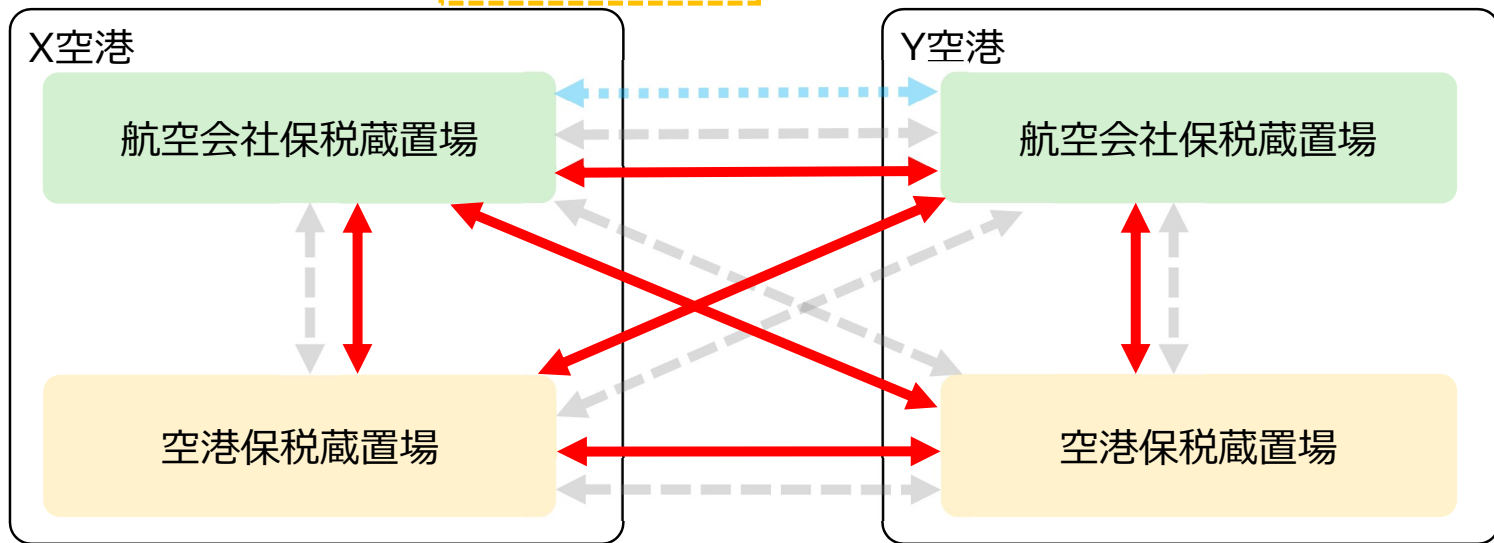
貨物 航空 第16,18回WG 基本IV-16 航空貨物における仮陸揚関連業務の改善 (2)

②仮陸揚貨物の保税運送申告

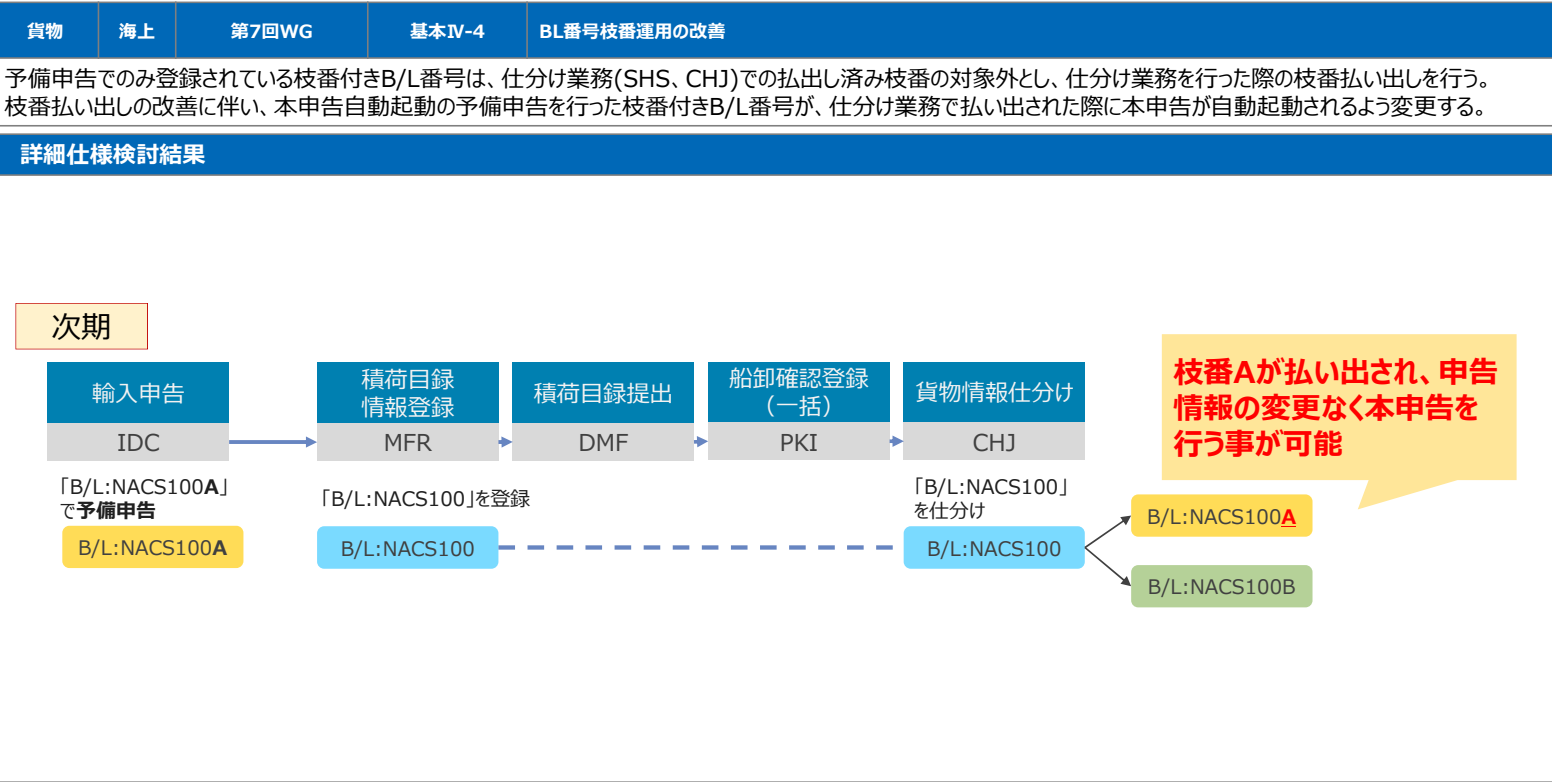
→ システム申告(OLT01)
(次期にて可能化)

→ システム申告(GOL01) (現行)

→ マニュアル申告 (現行)



<貨物（海上）編>



VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第9,12回WG	基本IV-16	「輸入貨物荷渡情報登録(DOR)」業務の通知先の追加
DOR業務において、通知先の入力有無にかかわらず、船卸前は貨物管理番号に登録されたコンテナオペレーション会社、船卸後は貨物の蔵置場所を管理する利用者に帳票を出力する仕様とする。				

詳細仕様検討結果

以下の条件により輸入貨物荷渡ID登録通知情報等を出力する。通知先の入力の有無にかかわらず、下記の利用者へ帳票出力を追加する。

- ・船卸前：MFR業務で入力されたコンテナオペレーション会社
- ・船卸後：貨物蔵置場所を管理する利用者

蔵置状況		通知先	第6次NACCSの通知先	第7次NACCSの通知先
		入力有無		
船卸前	コンテナオペレーション会社有り	無し	出力なし	コンテナオペレーション会社
		有り	入力の通知先	入力の通知先／コンテナオペレーション会社
	コンテナオペレーション会社無し(99999)	無し	出力なし	エラー
		有り	入力の通知先	入力の通知先
船卸後	蔵置中	無し	出力なし	蔵置保税地域
		有り	入力の通知先	入力の通知先／蔵置保税地域
	運送中	無し	出力なし	ワーニング ※全量運送中の場合
		有り	入力の通知先	入力の通知先

VIII 詳細仕様検討結果

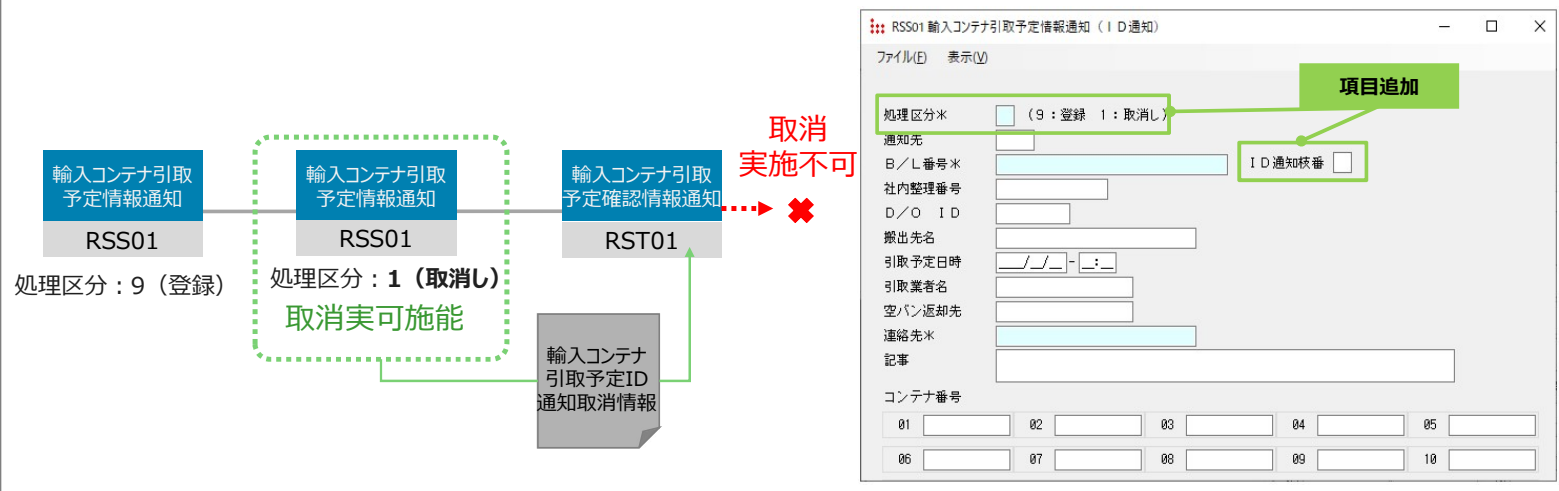
貨物	海上	第9回WG	基本IV-16	「輸入コンテナ引取予定情報通知(ID通知)(RSS01)」業務の改善
RSS01業務に「処理区分」、「ID通知枝番」を項目追加し、「輸入コンテナ引取予定確認情報通知(ID確認)(RST01)」業務が実施されるまで取消しを可能とする。取消しを行った際、登録時に入力された通知先に取消帳票「輸入コンテナ引取予定ID通知取消情報」を出力する。				

詳細仕様検討結果

RSS01業務に処理区分、ID通知枝番を項目追加し、取消しを可能とする。

取消し時には入力不要となる項目があるため、一部項目を必須項目から任意項目に変更。(登録時は従来通り、必須入力であることをチェックする。)

取消しを行った際、登録時に入力された通知先に取消帳票「輸入コンテナ引取予定ID通知取消情報」を出力する。



NACCS
Nippon Automated Carpa And Part Consolidated System

詳細仕様検討結果

搬入確認登録
BIA

積荷目録
情報登録
MFR

積戻貨物
情報登録
RCR

輸出申告
(積戻し申告)
EDC

バンニング
情報登録
VAN

輸入貨物:ABCD100

輸入貨物:ABCD100

積戻貨物:0001234567

G01 輸入貨物搬出入データ

搬入日	貨物管理番号	船舶コード	船舶名	入港日
20211015	ABCD100	NACCS	NAC-MARU	20211001
.	.	.	.	.

G02 輸出貨物
搬出入データ

「ABCD100」の貨物情報を登録

積戻貨物の貨物管理番号が新たに払出される

NACCS
Nippon Automated Carpa And Part Consolidated System

詳細仕様検討結果

■MHA入力内容
 貨物管理番号：NACS100
 持出期間開始日：20220201
 持出期間終了日：20220210

■2月1日に仕分けを実施
 仕分親(NACS100)を削除対象に更新
※見本持出許可申請の持出期間終了年月日から日祝日の除く7日間保存 保存期限:2月18日

■2月14日に実施

	2月1日 (火)	2月2日 (水)	...	2月8日 (火)	2月9日 (水)	2月10日 (木)	2月11日 (金・祝日)	...	2月18日 (金)	2月19日 (土)	...
見本持出期間	MHA業務で登録した持出期間(開始日:2月1日～終了日:2月10日)										
見本持出情報	見本持出情報保存期間(持出期間終了日(2/10)から日祝除く7日保存)										MHO業務実施不可
貨物情報	仕分親貨物保存期間(MHO業務実施可能期間)										

← (参考)仕分けを行わない場合のMHA業務で登録した貨物保存期間(MHO業務実施可能期間) →

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	航空 海上	第10回WG	基本IV-4	「内国貨物運送申告(DCC)」業務等の改善
----	----------	--------	--------	-----------------------

DCC業務にて1品目あたり200コンテナの入力を可能とする。

詳細仕様検討結果

1. 現行仕様

DCC業務では、1品目あたりに60コンテナの入力が可能となっているが、数百本単位で運送する場合がある。

2. 次期仕様

DCC業務にて1品目あたり200コンテナの入力を可能とする。
また、上記に合わせて関連業務の出力帳票のレイアウト変更を行う。

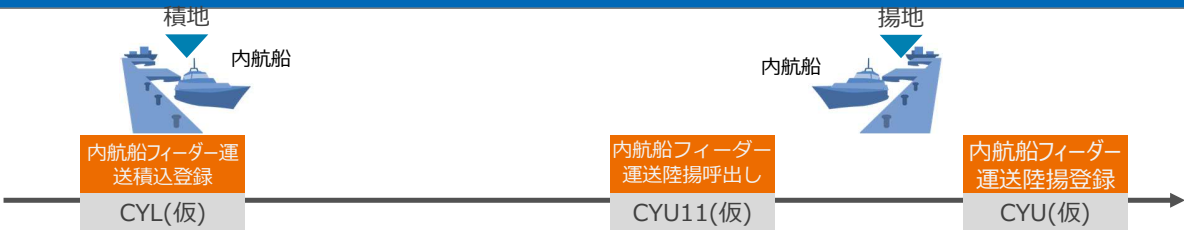
業務 コード	業務名	出力情報名
DCC	内国貨物運送申告	内国貨物運送申告控情報
		内国貨物運送承認通知情報
		内国貨物運送承認情報
DCE	内国貨物運送申告（承認）変更	内国貨物運送申告訂正控情報
		内国貨物運送承認訂正・取消控情報
		内国貨物運送期間延長申請控情報
DCE11	内国貨物運送申告（承認）変更呼出し	内国貨物運送申告(承認)変更呼出情報
		内国貨物運送申告(承認)変更(期間延長)呼出情報
DCZ	内国貨物運送申告審査終了	内国貨物運送承認通知情報
		内国貨物運送承認情報
		内国貨物運送承認訂正通知情報
		内国貨物運送承認訂正情報
		内国貨物運送期間延長承認通知情報
IDT	内国貨物運送申告照会	内国貨物運送期間延長承認情報
		内国貨物運送申告照会情報

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第17,18回WG	基本IV-4	内航船による外貿コンテナフィーダー手続（1）
----	----	-----------	--------	------------------------

内航船単位に複数コンテナの積込(搬出)登録および陸揚(搬入)登録が可能な業務を新設する。

詳細仕様検討結果



業務名称(業務コード)(仮)	機能概要
内航船フィーダー運送積込登録 (CYL)	・内航船単位(船舶コード+船名+航海番号+積地CY+揚地CY)に、コンテナの積込(搬出)登録を行う。
内航船フィーダー運送陸揚呼出し (CYU11)	・CYU業務に先立ち、内航船単位(船舶コード+船名+航海番号+揚地CY)に陸揚するコンテナ番号の呼出しを行う。 ・CYL業務で登録されたコンテナのうち、入力者のCYを揚地とするコンテナ番号を内航船単位に呼出す。 ・CYL業務で登録された輸入コンテナのうち、入力者のCYを揚地とするコンテナを呼び出すことなく、内航船単位に一括で処理する。 ※輸出／仮陸コンテナについては、一括処理は不可とする。
内航船フィーダー運送陸揚登録 (CYU)	・内航船単位(船舶コード+船名+航海番号+揚地CY)に、入力者のCYを揚地とするコンテナの陸揚(搬入)登録を行う。 ・従来通り、「コンテナ搬出確認登録(CYO)」業務で搬出確認されたコンテナについても、フィーダー運送により陸揚した旨の登録を可能とする。(CYU11業務による呼出しは不可)

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第17,18回WG	基本IV-4	内航船による外貿コンテナフィーダー手続（2）		
パターン		積地		揚地		留意事項
新規業務のみ		内航船フィーダー 運送積込登録 CYL(仮)		内航船フィーダー 運送陸揚呼出し CYU11(仮) 内航船フィーダー 運送陸揚登録 CYU(仮)		次期想定運用 積地で新規業務によって搬出処理を実施すると揚地において本船単位の処理が可能
既存業務のみ		CY搬出確認 CY搬出確認 登録 CYO		CY搬入確認 CY搬入確認 CY搬入確認 登録 CYA ※新規業務の利用も可能 その場合は「積地：既存業務」パターンと同様		現行運用 社内システム等の理由により、新規業務の対応ができなくとも、現行のCYO/CYA業務での処理も可能
積地：既存業務		CY搬出確認 CY搬出確認 CY搬出確認 登録 CYO		※CYO業務で搬出した場合 コンテナ番号の入力を要する 内航船フィーダー 運送陸揚呼出し CYU11(仮) 内航船フィーダー 運送陸揚登録 CYU(仮)		積地でCYO業務により搬出したコンテナは内航船に積載された状態とならないため、揚地で本船単位の新規業務を実施の際に呼出しCYU11業務の実施不可のため、コンテナ番号の入力が必要
揚地：既存業務		内航船フィーダー 運送積込登録 CYL(仮)		CY搬入確認 CY搬入確認 CY搬入確認 登録 CYA ※新規業務の利用も可能 その場合は「新規業務のみ」パターンと同様		積地で新規業務を実施した場合揚地で既存業務、新規業務いずれも実施可能

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第16,17回WG	基本IV-4	バンニング情報における輸出管理番号登録可能件数の拡大（1）
バンニング情報追加(VAA)業務において輸出管理番号の制限を100件から6000件に変更し、1コンテナに対して登録可能な輸出管理番号の件数を最大6000件とする。コンテナ単位に出力する帳票の輸出管理番号の繰返し数を最大1500件に変更する。				

詳細仕様検討結果

VAA業務 入力画面

VAA バンニング情報追加

ファイル(F) 表示(V)

コンテナ番号*

バンニング場所 -

追加後登録総件数が101件以上となる場合

追加識別 ☐ 全件登録完了表示 ☐

001 輸出管理番号等

バンニング個数 - 重量 - 容積 -

プッキング番号（貨物）

009 輸出管理番号等

バンニング個数 - 重量 - 容積 -

プッキング番号（貨物）

010 輸出管理番号等

バンニング個数 - 重量 - 容積 -

プッキング番号（貨物）

①追加識別

1コンテナに対して101件以上の輸出管理番号を登録する場合に「Y」を入力する。

②全件登録完了表示

101件以上の輸出管理番号を登録する場合(追加識別を入力した場合)で、輸出管理番号の登録を終える際に「E」を入力する。「E」が入力されたタイミングで搬入先の保税地域等に帳票を出力する。

VAA業務1送信で登録可能な輸出管理番号件数を100件まで拡大し、1コンテナに対して101件以上の輸出管理番号を紐づけ可能とする。（1コンテナに対して登録可能な輸出管理番号を最大6,000件とする）

- 1送信につき最大100件の
- 輸出管理番号が登録可能

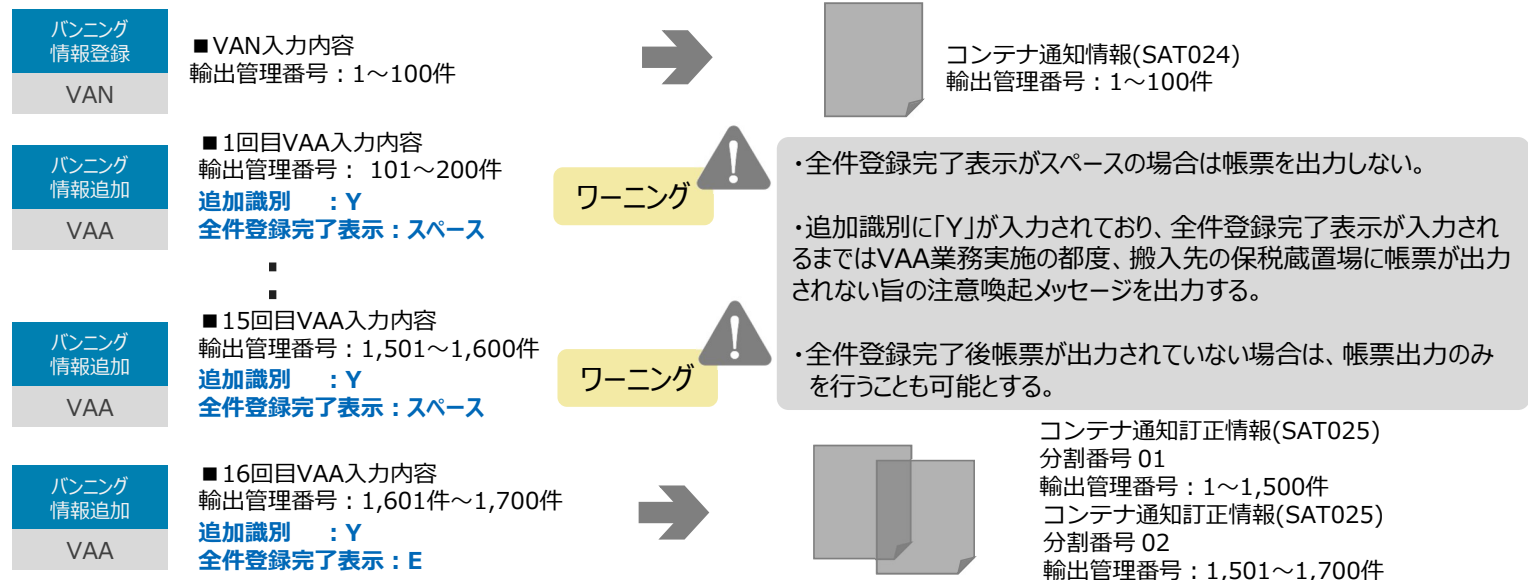
VIII 詳細仕様検討結果

貨物 海上 第16,17回WG 基本IV-4 バンニング情報における輸出管理番号登録可能件数の拡大 (2)

例：1コンテナに対し、1,700件の輸出管理番号を追加登録する場合

バンニング蔵置場

搬入先の保税地域・ブッキング船会社



VIII 詳細仕様検討結果

貨物 海上 第16,17回WG 基本IV-4 バンニング情報における輸出管理番号登録可能件数の拡大 (3)

コンテナ単位に出力する帳票(コンテナ通知情報・訂正情報)の輸出管理番号の繰返し数を最大1,500件に変更する。
1,500件以上登録がある場合に、帳票電文を分割して送信するため、「電文分割番号」項目を追加する。

分割電文番号

コンテナ通知訂正情報		1 / 301
分割電文番号	XE	
作成日時	yyyy/MM/dd - XX:XE	
搬出元保税地域	XXXXE - XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
搬入先	XXXXXXXXXX - XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
搬出日時	yyyy/MM/dd - XX:XE	
積載予定船舶	XXXXXXXXXX - XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
航海番号	XXXXXXXXXX	
船会社コード	XXXXE	
積出港	XXXXE	
コンテナ番号	XXXXXXXXXX1XE	
コンテナ自重	12,345 - XXE	
許可済表示	X	
シール番号	1 XXXXXXXXXXXXXXXX 2 XXXXXXXXXXXXXXXX 3 XXXXXXXXXXXXXXXX 4 XXXXXXXXXXXXXXXX 5 XXXXXXXXXXXXXXXX 6 XXXXXXXXXXXXXXXX	
コンテナサイズ	XE	
コンテナタイプ	XE	
ブッキング番号	XE	

変更対象出力情報名(7次出力情報コード)	欄部件数		分割有無	最大分割数
	現行	次期		
コンテナ通知情報 (SAT024 ²)	100	1,500	有	4分割
コンテナ通知訂正情報 (SAT025 ²)	100	1,500	有	4分割
搬出通知情報(コンテナ単位) (SAT027 ¹)	100	6,000	無	-
搬入先差異情報 (SAT062 ¹)	100	6,000	無	-

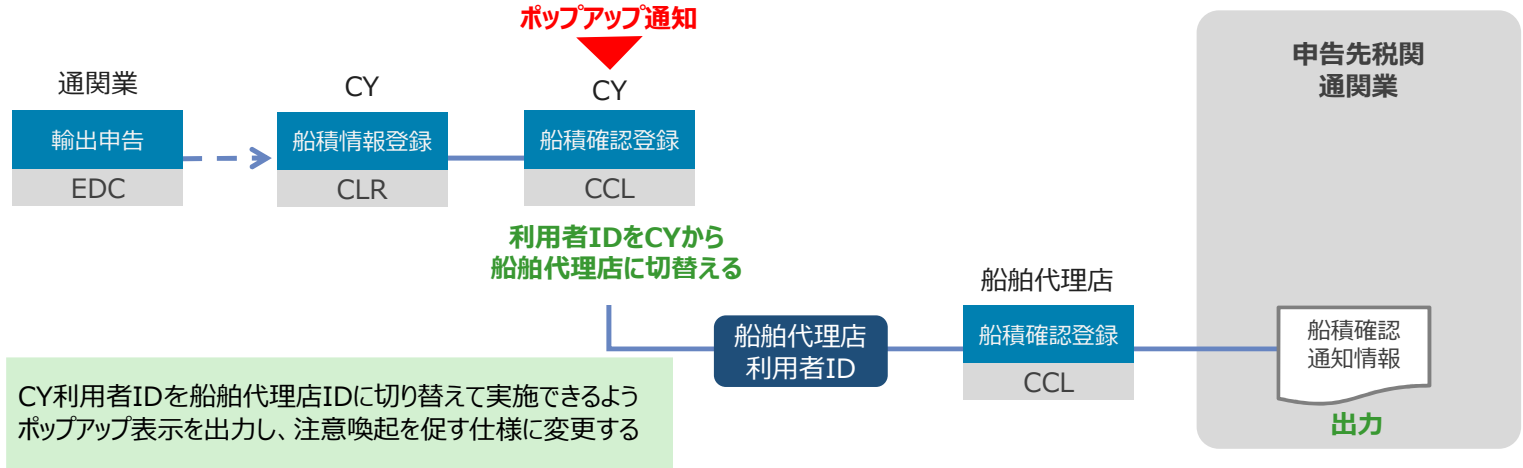
VIII 詳細仕様検討結果

貨物 海上 第15回WG 基本IV-4 「船積確認登録(CCL)」業務におけるパッケージソフトでの業種チェック (1)

CCL業務を船会社・船舶代理店以外(CY・通関業・海貨業)の利用者IDでログインし実施する際に、船積確認通知情報(SAT047)が出力されない旨の注意喚起メッセージをポップアップで通知する。

詳細仕様検討結果

CCL業務実施者が船会社以外(CY利用者)の例



※船会社・船舶代理店以外の者が、関税法施行令第15条第1項第1号に定める船長又はこれに代る者として認められないことから、CYは船積確認通知情報の出力を実施することはできない。

VIII 詳細仕様検討結果

貨物 海上 第15回WG 基本IV-4 「船積確認登録(CCL)」業務におけるパッケージソフトでの業種チェック (2)

船会社、船舶代理店以外がCCL業務を実施しようとした場合、送信前にポップアップを表示して、送信の選択を可能とする。
業務送信者の利用者IDの下3桁（識別番号）の先頭1桁が特定の文字列（船会社「C」、船舶代理店「D」）**以外の場合**にポップアップを表示する。

ポップアップ出力イメージ

船積確認登録(CCL)業務

CCL 船積確認登録

ファイル(F) 表示(V)

積載船舶*

積出港*

航海番号*

業種 CYでCCL業務を実施した場合

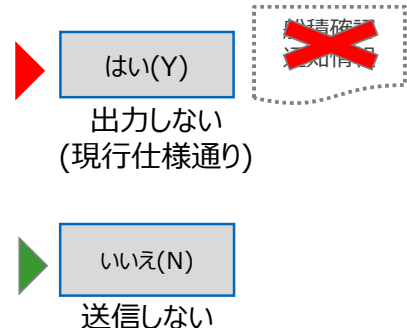
利用者IDの例 2BNACB0A

画面イメージ(仮)

業務実施者確認

ログイン利用者は船会社、船舶代理店ではありませんが
このまま送信しますか？
※輸出申告を行った利用者、申告先税関に船積確認
通知情報が出力されません。

※パッケージソフトのみの対応です。



業種 船会社でCCL業務を実施した場合

利用者IDの例 1ANAC0A

出力処理

船積確認
通知情報

業種 船舶代理店でCCL業務を実施

利用者IDの例 2CNACD0A

出力処理

船積確認
通知情報

許可・承認貨物（輸出）情報にブッキング番号を出力する。

- SAE408:「許可・承認貨物(輸出)情報」(SAE4081→SAE4082)
- SAE451:「許可・承認内容変更貨物(輸出)情報」(SAE4511→SAE4512)

ブッキング番号を追加

[illegible]

ACLカスタマイズツールの帳票カスタマイズ画面において帳票レイアウトの直線とラベルの重複があった場合も、ラベルの見切れが発生しないように変更する。

カスタマイズツール変更イメージ

[illegible]

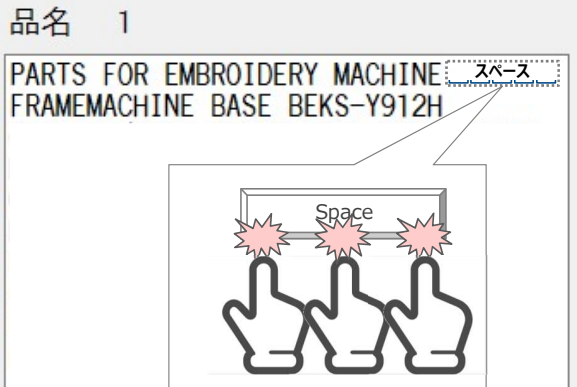
VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第8,11,17回WG	基本IV-8	ACL業務のマーク欄、品名欄の改行(折り返し可能化)
----	----	-------------	--------	----------------------------

ACL01業務及びACL02業務の品名、記号番号等の複数行項目において、行の折り返しまでのスペース補完を可能とする。行の折り返しまでのスペース補完は「Alt+Enter」にて実施可能とする。

詳細仕様検討結果

現行 入力イメージ



スペースを行末尾まで何回か入力し調整している。

※本件のWG提案の際、ACL業務に限らずパッケージソフトの全ての複数行項目において折り返し可能化のご要望を受け、対応する方針とした。

次期変更後 入力イメージ



「Alt+Enter」を入力する事でスペース補完可能とする。

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第8,11,17回WG	基本IV-8	ACL業務の入力可能文字の改善
----	----	-------------	--------	-----------------

- 荷主連絡先メールアドレス等に「_(アンダーバー)」及び「~(チルダ)」を入力可能とする。
- 荷主連絡先メールアドレスを繰返し項目とする。

詳細仕様検討結果

- ACL01業務及びACL02業務の以下の項目について、「_(アンダーバー)」及び「~(チルダ)」を入力可能とする。

- ・荷主連絡先メールアドレス
- ・荷送人住所・電話番号
- ・荷受人住所・電話番号
- ・着荷通知先住所・電話番号
- ・品名
- ・記号番号
- ・インボイス番号(「_(アンダーバー)」のみ対応)

- ACL01業務及びACL02業務の荷主連絡先メールアドレスを3回繰返し項目に変更する。

FAX番号	1		2		3	
荷主連絡先メールアドレス	1					
	2					
	3					
インボイス番号				荷主セクションコード		
Ref No.				荷主伝送先コード		
Order No.				L/C No.		

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第8,11,17回WG	基本IV-8	ACL業務の入力項目の改善・ACL業務の入力項目の追加
----	----	-------------	--------	-----------------------------

入力項目の改善：ACL01業務等のシール番号の繰返し数を4から6に変更する。
 入力項目の追加：ACL01業務のコンテナ番号に対する「内個数」、「OVER LENGTH」、「OVER WIDTH」、「OVER HEIGHT」の入力項目を登録する。

詳細仕様検討結果

①シール番号欄を4欄から6欄へ変更

001 コンテナ番号

シール番号 1 2 3
 4 5 6

個数 荷姿 -

グロス重量 - グロス容積 -

コンテナサイズ コンテナタイプ コンテナ自重 - 設定温度 -

O/L (前) cm O/L (後) cm O/W (左) cm O/W (右) cm O/H cm

内個数 1 レベル 荷姿 -
 2 レベル 荷姿 -
 3 レベル 荷姿 -

②内個数、レベル、荷姿名、荷姿コードを追加
 ※繰返し数は3回とする
 ・OVER LENGTH(前) ・OVER LENGTH(後)
 ・OVER WIDTH(左) ・OVER WIDTH(右)
 ・OVER HEIGHT
 ※単位は センチ(cm) としてラベルで表記

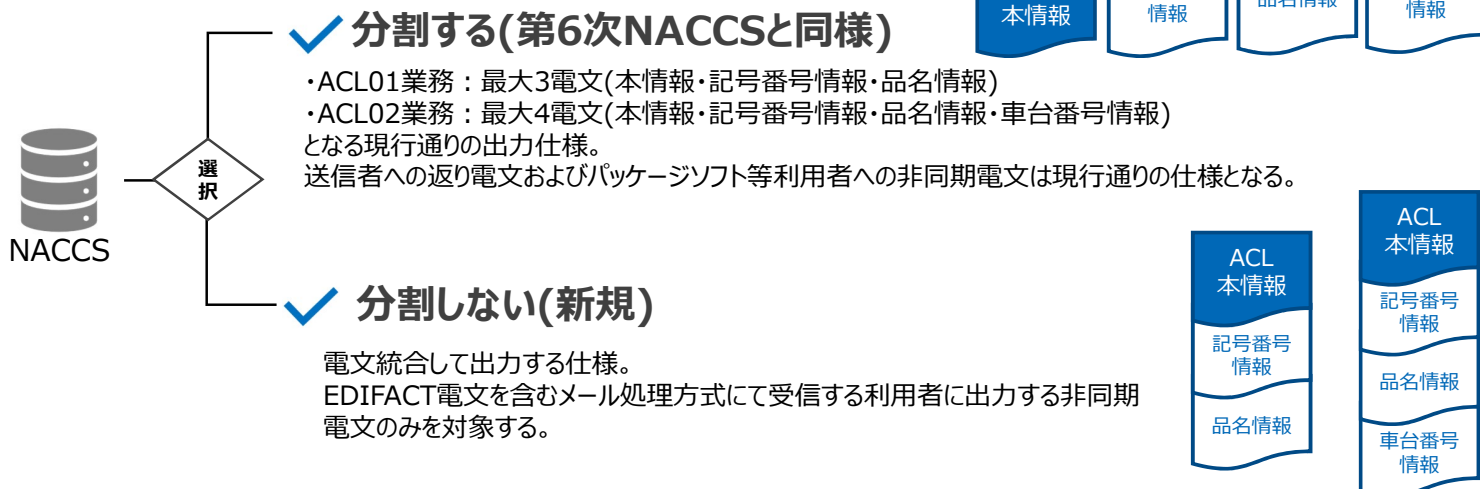
VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第8,11,17回WG	基本IV-8	ACL業務の電文分割の改善
----	----	-------------	--------	---------------

ACL情報受信者(メール/EDIFACT処理方式利用者のみ)が予め受信電文の分割の有無を選択することで、記号番号情報、品名情報、車台番号情報を分割せず、本情報相当の情報に記号番号情報、品名情報、車台番号情報も含めた新たな電文を出力する。

詳細仕様検討結果

ACL情報受信者(メール/EDIFACT処理方式利用者のみ)が予め受信電文の分割の有無を選択することで、記号番号情報、品名情報、車台番号情報を分割せず、本情報相当の情報に記号番号情報、品名情報、車台番号情報も含めた新たな電文を出力する。
 申し出の無い場合、第6次NACCSと同様に分割による電文配信とする。



VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第11回WG	基本IV-4	「積荷目録状況照会(IMI)」業務の改善 (1)
----	----	--------	--------	--------------------------

- ・IMI業務で出力する各照会結果の共通部に「運航船会社航海番号」を追加する。
- ・各照会結果の共通部の航海番号、船会社、船卸港コード、船卸港枝番の項目順をMFR業務の入力項目順に合わせ変更する。

詳細仕様検討結果

変更イメージは以下の通り。

積荷目録状況照会情報(概要照会) (SAS0840)

積荷目録状況照会情報(概要照会) (SAS0841)

積荷目録状況照会情報(概要照会) (SAS0841) 出力項目表

項目	項目名	属性	桁	繰上	繰下	区分	コード	出力条件/形式
1	出力共通項目	an	398					メールサブジェクトには以下の項目を出力 ・船船コード 9桁 ・船卸港コード+枝番 6桁
2	船理結果コード	an	75					システムで判定された船理結果コードを出力
3	照会区分	an	1					
4	船船コード	an	9					コールサイン
5	船名	an	35					正常終了の場合、船船コードに基づく船名を出力
6	運航船会社航海番号	an	10					正常終了の場合で、積荷目録管理DBに運航船会社航海番号が登録されている場合に出力
67	航海番号	an	10					正常終了の場合で、積荷目録管理DBに航海番号が登録されている場合に出力
68	船卸港コード	an	5					国連LOCODE
79	船卸港枝番	an	1					
項目810~2223は正常終了の場合で情報が存在する場合は出力								
8	航海番号	an	10					積荷目録管理DBに航海番号が登録されている場合に出力
910	入港年月日	n	8					積荷目録管理DBに入港年月日または入港予定年月日が登録されている場合に出力
1011	状況表示	an	3					当該船舶に依る積荷目録の状況を出力する B M F : 積荷目録提出前 A M F : 積荷目録提出を行っている船会社が存在する場合 P I D : 当該船舶に対して到着確認が行われている場合 E N D : 当該船舶に関するすべての貨物の船卸確認が終了している場合

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第11回WG	基本IV-4	「積荷目録状況照会(IMI)」業務の改善 (2)
----	----	--------	--------	--------------------------

- IMI業務で出力する以下の画面の共通部について、「運航船会社航海番号」を追加する。
- また、各照会結果の共通部の航海番号、船会社、船卸港コード、船卸港枝番の項目順をMFR業務の入力項目順に合わせ変更する。
- 出力項目の追加に伴い、各出力情報コードの世代が追加となる。

業務コード	業務名	出力情報コード		出力情報名
		第6次NACCS	第7次NACCS	
IMI	積荷目録状況照会	SAS0840	SAS0841	積荷目録状況照会情報(概要照会)
		SAS0851	SAS0852	積荷目録状況照会情報(B/L番号一覧)
		SAS0860	SAS0861	積荷目録状況照会情報(コンテナ番号一覧)
		SAS0871	SAS0872	積荷目録状況照会情報(積荷目録情報)
		SAS0880	SAS0881	積荷目録状況照会情報(未船卸コンテナ一覧)
		SAS0891	SAS0892	積荷目録状況照会情報(B/L照会)
		SAS0901	SAS0902	積荷目録状況照会情報(B/L主要項目一覧)
		SAS0910	SAS0911	積荷目録状況照会情報(コンテナ主要項目一覧)
		SAS1030	SAS1031	積荷目録状況照会情報(B/L番号一覧(仮陸揚))
		SAS1050	SAS1051	積荷目録状況照会情報(B/L番号一覧(包括保税運送))
		SAS1331	SAS1332	積荷目録状況照会情報(B/L番号一覧(事前通知))
		SAS1460	SAS1461	積荷目録状況照会情報(B/L番号一覧(出港前報告不一致))

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第10回WG	基本IV-4	「貨物在庫状況照会（IWS）」業務の改善
・未許可貨物(輸入においては許可済で後続業務の実施が必要な貨物を含む)の抽出照会を選択できる入力項目を追加する。 ・搬入日順出力を選択できる入力項目を追加する。				

詳細仕様検討結果

変更イメージは以下の通り。

第6次NACCS

IWS業務 入力画面

保税地域コード

コンテナ／貨物識別※

輸出入識別※

(コンテナ／貨物識別) B: 貨物
C: コンテナ
D: コンテナ番号一覧
E: 蔵入承認済貨物



第7次NACCS

保税地域コード

コンテナ／貨物識別※

輸出入識別※

在庫識別

搬入日順出力

(コンテナ／貨物識別) B: 貨物
C: コンテナ
D: コンテナ番号一覧
E: 蔵入承認済貨物

※貨物管理番号またはコンテナ番号の昇順に出力
1: 搬入日の昇順に出力 (過去日から出力)
9: 搬入日の降順に出力 (最新日から出力)

「在庫識別」を項目追加する。
 輸入：未許可貨物及び許可済で後続業務の実施が必要な貨物を照会する場合
 輸出：未許可貨物を照会する場合
 ※入力がない場合は、従来通り全ての情報を出力 [コンテナ／貨物識別]が以下の場合のみ「Y」の入力を可能とする。
 ・B：貨物 ・E：蔵入承認済貨物

「搬入日順出力」を項目追加する。
 ・搬入日の昇順に出力（過去日から出力）する場合は「1」を入力
 ・搬入日の降順に出力（最新日から出力）する場合は「9」を入力
 ※入力がない場合は、従来通り貨物管理番号／コンテナ番号の昇順に出力

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第9,12回WG	基本IV-16	「貨物情報照会（ICG）」業務の改善
貨物情報照会情報(全体情報) (SAL0261) 及び(保税運送関連情報) (SAL0331) の出力情報にて、コンテナ数が1~4本の場合は、出力画面を1ページで収めると共に視認性を向上させる。				

詳細仕様検討結果

変更前 コンテナ数が1~4本の場合、コンテナ番号とフリータイムのページが全体情報と分かれて出力されており、視認性が良くない。

貨物情報照会情報(全体情報) (SAL0261)

貨物情報照会情報(全体情報) (SAL0261) の出力画面は、コンテナ数が1~4本の場合、ページが2枚に分かれてしまい、視認性が良くない。

変更後 コンテナ1~4本目の場合は、コンテナ番号とフリータイムのページを全体情報と一緒に表示する事で視認性を向上させる。

貨物情報照会情報(全体情報) (SAL0261) ※出力情報コードの世代に変更なし

貨物情報照会情報(全体情報) (SAL0261) の出力画面は、レイアウトの変更に伴い、既存の項目間のスペースを縮小する。

コンテナ番号とフリータイムのページを全体情報と一緒に表示することにより、1ページに収まる。

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第10回WG	基本IV-4	「貨物取扱登録(改装・仕分け)(SHS)」業務等の帳票レイアウトの改善
「貨物取扱登録(改装・仕分け)(SHS)」業務および「貨物情報仕分け(CHJ)」業務において、2ページ目に出力している欄部の先頭1欄目を1ページ目に収まるレイアウトとする。				

詳細仕様検討結果

レイアウトの変更対象は以下の3情報。

- ・貨物取扱届(改装・仕分け)情報(SAL0031)
- ・貨物取扱(改装・仕分け)情報(SAL0041)
- ・貨物情報仕分け情報(SAL0191)

貨物取扱(改装・仕分け)情報 (SAL0041)

貨物取扱届(改装・仕分け)情報 (SAL0031)

1ページ

2ページ

- ・出力情報コードの世代の変更は無し
- ・2ページ目にあった繰り返し部の1欄目を1ページ目に出力
- ・2ページ目は2欄目を出力

VIII 詳細仕様検討結果

貨物	海上	第11回WG	基本IV-4	「システム外搬入登録(輸出許可済)(BIE)」業務の入力項目への「許可年月日」の追加等
BIE業務の入力項目に「許可日」を追加し、「輸出貨物情報訂正(BIF)」業務で訂正可能とする。BIE業務で入力した「許可日」が、管理資料「G02 輸出貨物搬出入データ」の「許可日」に出力されるようにする。				

詳細仕様検討結果

BIE業務、輸出貨物情報訂正(BIF業務)、BIF11業務後の呼出情報(SAT016)に「許可年月日」を項目を追加し、入力された「許可年月日」を管理資料「輸出貨物搬出入データ(G02)」の既存項目である「許可日」に出力する。

システム外輸出貨物情報(SAT013) 出力イメージ

BIE業務の項目追加画面イメージ

BIEシステム外搬入確認 (輸出許可済)

ファイル(F) 表示(V)

輸出許可番号水

搬入日時水 -

積戻し許可 ☐

先送個数

重量水 - 容積

到着個数水

許可年月日水

「許可年月日」項目を追加 (必須項目)

システム外輸出貨物情報

輸出管理番号 XXXXXX1XXXXXX2XXXXXXX3XXXX

保税地域 XXXX - XXXXXXX1XXXXXXX 登録者 XXXX 登録年月日 yyyy/MM/dd

輸出許可番号 XXXXXXX1E

許可年月日 yyyy/MM/dd

搬入日時 yyyy/MM/dd - XX:XX

積戻し許可 X

輸出貨物搬出入データ(G02) 出力イメージ

搬入日	搬入時刻	搬出日	搬出時刻	搬出取消日	搬出区分	許可番号	許可日	搬出先
99999999	XXXX	99999999	XXXX	99999999	~	XXX	XXXXXXXX1X	99999999XXXXXXX
99999999	XXXX	99999999	XXXX	99999999	~	XXX	XXXXXXXX1X	99999999XXXXXXX
99999999	XXXX	99999999	XXXX	99999999	~	XXX	XXXXXXXX1X	99999999XXXXXXX
※明細数分繰り返す								
99999999	XXXX	99999999	XXXX	99999999	~	XXX	XXXXXXXX1X	99999999XXXXXXX
99999999	XXXX	99999999	XXXX	99999999	~	XXX	XXXXXXXX1X	99999999XXXXXXX
99999999	XXXX	99999999	XXXX	99999999	~	XXX	XXXXXXXX1X	99999999XXXXXXX

既存項目「許可日」に出力

<輸入食品、動物検疫、植物検疫編>

食品 動検 植検	航空 海上	第17回WG	基本Ⅲ-5	通関系関連省庁添付登録業務(MSF)の改善 (1)
通関系関連省庁添付登録業務のMSF01/02業務に対応した添付訂正業務及び添付照会業務を新設し、登録されたファイル訂正方法をMSX業務・申告添付訂正(MSY01)業務と同様の訂正・照会方法に改善する。				

詳細仕様検討結果

食品等輸入届出の添付にかかる新規業務

業務コード(仮)	業務名	機能
MSH11	通関系関連省庁添付訂正呼出し (検疫所 (食品))	・入力された食品等輸入届出番号に紐づく添付ファイル情報を呼出す
MSH01	通関系関連省庁添付訂正 (検疫所 (食品))	・ファイルの追加を可能とする ・ファイルを削除する場合は、対象ファイルの削除対象表示欄に「D」を入力する ・通信欄のみ訂正する場合においても、業務実施可能とする
MSI01	通関系関連省庁添付一覧照会 (検疫所 (食品))	・入力された食品等輸入届出番号に紐づく添付ファイル情報を照会する

食品 動検 植検	航空 海上	第17回WG	基本Ⅲ-5	通関系関連省庁添付登録業務(MSF)の改善 (2)
-------------	----------	--------	-------	---------------------------

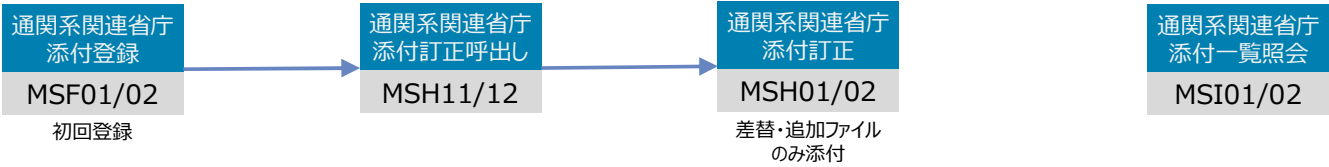
動物検疫・植物検疫関連の添付にかかる新規業務

業務コード(仮)	業務名	機能
MSH12	通関系関連省庁添付訂正呼出し (動物検疫所、植物防疫所)	・入力された申請番号に紐づく添付ファイル情報を呼出す
MSH02	通関系関連省庁添付訂正 (動物検疫所、植物防疫所)	・ファイルの追加を可能とする ・ファイルを削除する場合は、対象ファイルの削除対象表示欄に「D」を入力する ・通信欄のみ訂正する場合においても、業務実施可能とする
MSI02	通関系関連省庁添付一覧照会 (動物検疫所、植物防疫所)	・入力された申請番号に紐づく添付ファイル情報を照会する

※動物検疫・植物検疫関連については「書類区分」欄を追加し、ファイル毎に書類区分を入力する

食品 動検 植検	航空 海上	第17回WG	基本Ⅲ-5	通関系関連省庁添付登録業務(MSF)の改善 (3)
-------------	----------	--------	-------	---------------------------

次期での業務フロー



※動物検疫・植物検疫関連については「書類区分」欄を追加し、ファイル毎に書類区分を入力する

<輸入食品編>

食品	航空 海上	第15回WG	基本IV-4	IFA業務等での蔵置場所チェック処理の追加
----	----------	--------	--------	-----------------------

「届出種別」が「N：搬入後」でかつ貨物情報が存在する場合にのみ、入力した「保管場所コード」と貨物情報の蔵置場所の一致チェックを追加し、異なる場合に注意喚起メッセージを出力する。

詳細仕様検討結果

次期

IFA業務入力画面(抜粋)

共通部 繰返部	
種別*	N
届出番号	
共通番号	-
輸入者	
保管場所* 1ABCD	
B/L 番号	NACS100
積載船(機)*	
貨物の記号	

■ 貨物情報内容
B/L 番号 : NACS100
蔵置場所 : 1ABAA

対象業務

「食品等輸入届出事項登録(IFA)業務
「食品等輸入届出変更事項登録 (IFA01)」業務
「食品等輸入届出(IFC)」業務
「食品等輸入届出変更(IFE)」業務

事項登録(IFA/IFA01)時に異なる場合は、ワーニングを出力する
後続のIFC/IFE業務時でも異なる場合は、ワーニングを出力する

VIII 詳細仕様検討結果

食品	航空 海上	第15,19回WG	基本IV-18	輸入食品業務に係る紙申請業務の汎用申請化（1）
----	----------	-----------	---------	-------------------------

輸入食品業務に関連する検疫所への汎用申請業務を新設する。

詳細仕様検討結果

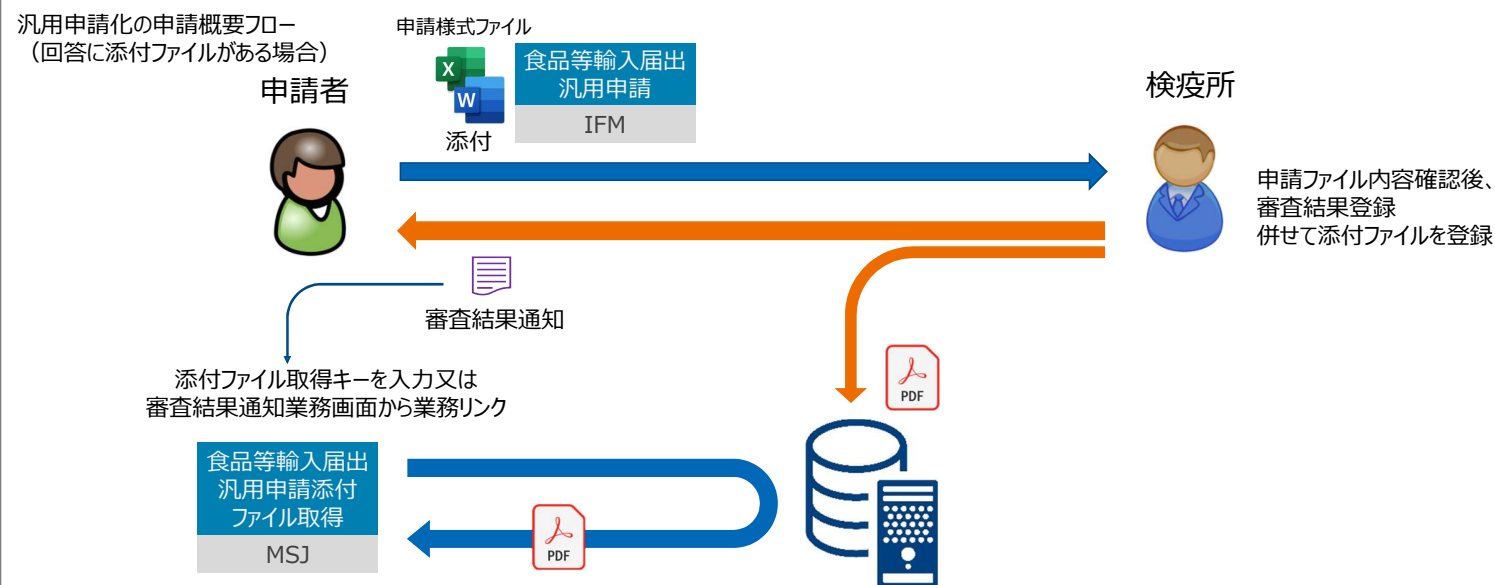
輸入食品業務に関連する検疫所への汎用申請にかかる新規業務

業務コード(仮)	業務名	機能
IFM	食品等輸入届出汎用申請	・1 送信 1 件とし、添付ファイルをあわせて送信する。 ・IFM業務実施者に「食品等輸入届出汎用申請控」を出力する。 ・検疫所にて申請に対する審査結果登録を行った際に、「食品等輸入届出汎用申請審査結果通知」をIFM業務実施者に出力する。
IFN	食品等輸入届出汎用申請変更	・不承認の場合のみ、申請変更を可能とする。 ・ファイルの追加、差替え、削除が発生した場合は、変更後のすべてのファイルを添付する。 ・添付ファイルを引き継ぐ場合は、添付ファイル変更なしチェックボックスをチェックする。 ・最大99回まで変更を可能とする。 ・IFN業務実施者に「食品等輸入届出汎用申請変更控」を出力する。
MSJ	食品等輸入届出汎用申請 添付ファイル取得	・「食品等輸入届出汎用申請審査結果通知」内の添付ファイル取得キーを入力し、添付ファイルを取得する。 ・「食品等輸入届出汎用申請審査結果通知」をNACCSパッケージソフトの業務画面展開機能により画面表示する。業務リンクにより、添付ファイル取得キーを自動補完・送信し、添付ファイルを取得する。

※対象とする手続は検討中

VIII 詳細仕様検討結果

食品	航空 海上	第15,19回WG	基本IV-18	輸入食品業務に係る紙申請業務の汎用申請化（2）
----	----------	-----------	---------	-------------------------



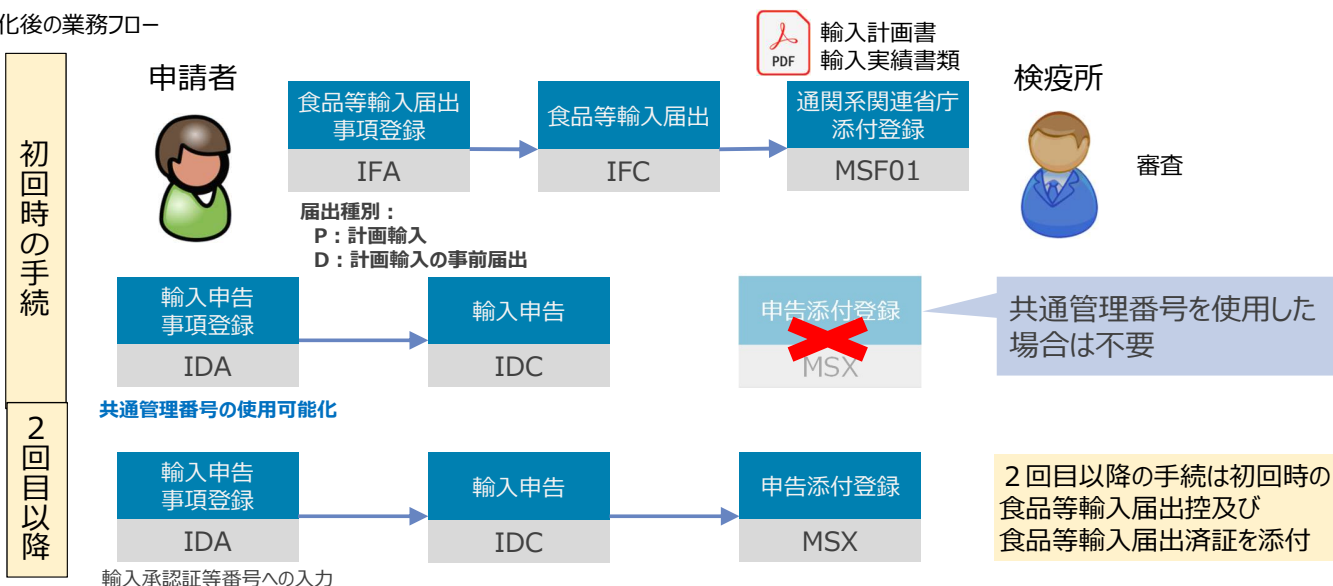
VIII 詳細仕様検討結果

食品 航空 第19回WG 基本IV-18 計画輸入届出の電子化

食品等輸入届出事項登録(IFA)業務の届出種別に計画輸入に関する種別を追加入力可能とし、初回の計画輸入届出をシステムで実施可能とする。

詳細仕様検討結果

電子化後の業務フロー

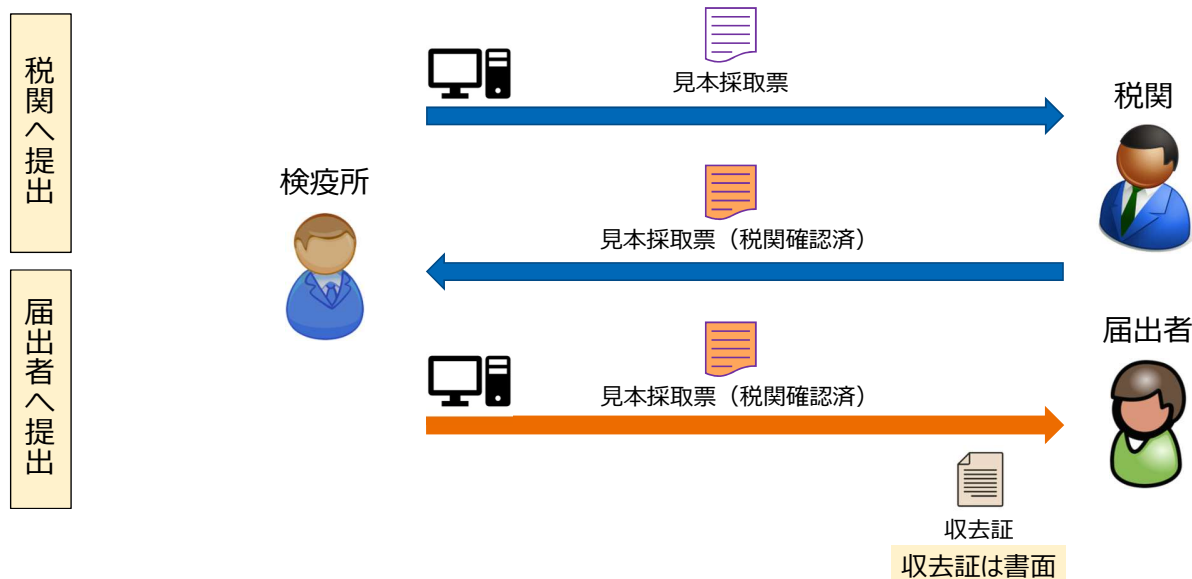


VIII 詳細仕様検討結果

食品 航空 第19回WG 基本IV-18 見本採取票の電子化

見本採取票を税関及び届出者にシステムで帳票出力できるようにする。

詳細仕様検討結果



<動物検疫、植物検疫編>

動検 植検	航空 海上	第18回WG	基本IV-17	動物検疫業務、植物検疫業務の管理資料の追加（1）
NACCSを利用して行われた動物検疫・植物検疫関連業務について、通関業務取扱明細簿の記載項目に即した件数等の把握が可能となる新規管理資料（動物・植物申請一覧データ）を提供し、動物検疫・植物検疫関連業務の件数等の把握を可能とする。				

詳細仕様検討結果

<動物検疫関連申請一覧データの出力イメージ>

・ 共通部項目（証明書交付年月日からB L / A W Bまで）～ 欄部項目（品名から単位まで）

（出力共通項目）			
20221000		1	
動物検疫関連申請一覧データ			
証明書交付年月日	初回申請年月日	申請年月日	
20220903	20220901	20220902	
20220906	20220904	20220905	
20220917	20220901	20220902	
20220912	20220904	20220905	
20220903	20220901	20220902	
20220906	20220904	20220905	

1 欄目		
品名	数量	単位
BEEF (CHILLED)	12345678901234. 10	KG
BEEF (FROZEN)	12345678. 12	KG
牛	123456	頭（羽・群）数
HORSE	123456	頭（羽・群）数
犬	123	頭
CAT	1	頭

出力順は以下のとおり

- ①輸入畜産物
- ②輸出畜産物
- ③輸入動物
- ④輸出動物
- ⑤輸入犬等
- ⑥輸出犬等

輸入畜産物の場合は種類名を出力
輸出畜産物の場合は種類名を出力
輸入動物の場合は動物種名を出力
輸出動物の場合は動物種名を出力
輸入犬等の場合は動物種名を出力
輸出犬等の場合は動物種名を出力

輸入畜産物の場合は数量を出力
輸出畜産物の場合は数量を出力
輸入動物の場合は合計頭（羽・群）数を出力
輸出動物の場合は合計頭（羽・群）数を出力
輸入犬等の場合は頭数または「1」を出力
輸出犬等の場合は「1」を出力

輸入畜産物の場合は2欄目以降繰り返し出力（最大20欄まで）
輸出畜産物の場合は2欄目以降繰り返し出力（最大20欄まで）
輸入動物の場合は2欄目以降の出力なし（1欄のみ）
輸出動物の場合は2欄目以降の出力なし（1欄のみ）
輸入犬等の場合は2欄目以降繰り返し出力（最大10欄まで）
輸出犬等の場合は2欄目以降繰り返し出力（最大10欄まで）

動検 航空 第18回WG 基本IV-17 動物検疫業務、植物検疫業務の管理資料の追加（2）

＜植物検疫関連申請一覧データの出力イメージ＞

・ 共通部項目（証明書交付年月日からB L / A W Bまで）～ 欄部項目（品名から単位まで）

（出力共通項目）		
20221000	1	
植物検疫関連申請一覧データ		
証明書交付年月日	初回申請年月日	申請年月日
20220903	20220901	20220902
20220906	20220904	20220905

出力順は以下のとおり

- ① 輸入植物
- ② 輸出植物

1欄目		
品名	数量	単位
MELON(=BRYONIA COLLOSA)	12345678.9	KG
MELON(=BRYONIA COLLOSA)	12345678.9	KG

輸入植物の場合は品目名（種類）を出力
輸出植物の場合は種類・名称（欧文）を出力

輸入植物の場合は数量を出力
輸出植物の場合は数量を出力

輸入植物の場合は2欄目以降繰り返し出力（最大20欄まで）
輸出植物の場合は2欄目以降繰り返し出力（最大20欄まで）

<動物検疫編>

動検 航空 第18回WG 基本IV-18 動物検疫所から申請者への連絡機能の追加

動物検疫所から申請者への連絡機能の追加

詳細仕様検討結果

動物検疫所側の業務に申請者への連絡機能を設ける。

申請者のうち、NACCSパッケージソフト（NACCS-EDI）利用者は、帳票電文にて通知を受信し、輸入畜産物検査申請情報照会（IIL）業務にて連絡内容を確認できるようにする。Web利用者は、メールにて通知を受信し、輸入畜産物検査申請情報照会業務にて連絡内容を確認できるようにする。必要に応じて、指定保管場所関係者（入庫状況登録（ISS）実施者）を含めて連絡可能とする。

パターン1：申請者のみへ通知



パターン2：申請者及び指定保管場所関係者へ通知



動物検疫所からの連絡通知方法及び連絡内容の確認業務

利用者	利用区分	通知方法	連絡内容の確認業務
・申請者 ・指定保管場所関係者	NACCS パッケージソフト (NACCS-EDI)	帳票電文	輸入畜産物検査申請情報照会 (IIL) 業務
	WebNACCS	メール	輸入畜産物検査申請情報照会業務

VIII 詳細仕様検討結果

動検	航空 海上	第18回WG	基本IV-18	輸入畜産物業務における受付項目の追加
----	----------	--------	---------	--------------------

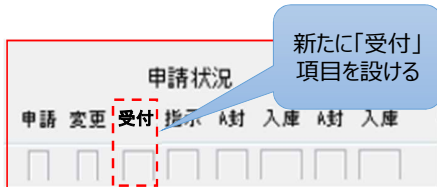
輸入畜産物業務における受付項目の追加

詳細仕様検討結果

輸入畜産物検査申請一覧照会（ILI）業務の申請状況一覧に「受付」項目を追加する。

●「受付」項目については、動物検疫所による申請の受付がされていない場合、出力値を「-（空欄）」（出力値無し）とし、動物検疫所が申請の受付をした場合は、出力値を「A」とする。

●新たに「受付」項目を追加することに伴い、通関系関連省庁添付登録（動物検疫所、植物防疫所）（MSF02）業務について、「未受付」の場合は添付ファイルの差替えを可能とする。「受付」後は、現行と同様、添付ファイルの差替えに変更承認を必要とする。



受付項目の概要

出力値	状態	概要	添付の差替えの可否
-（空欄）	未受付	動物検疫所による申請の受付がされていない状態	差替え可
A	受付	動物検疫所が申請の受付をした状態	差替え不可

VIII 詳細仕様検討結果

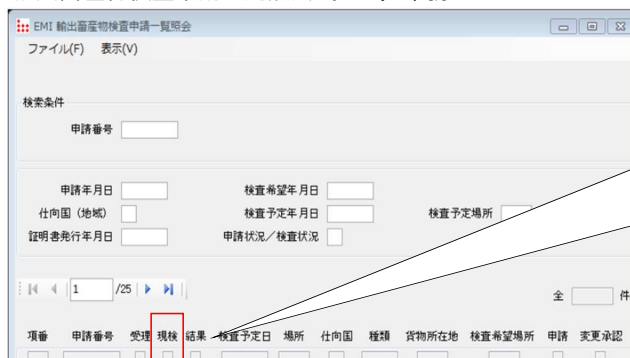
動検	航空 海上	第18回WG	基本IV-18	輸出畜産物検査申請一覧照会（EMI）業務における検査状況（現物検査）の出力値の見直し
----	----------	--------	---------	--

輸出畜産物検査申請一覧照会（EMI）業務における検査状況（現物検査）の出力値の見直し

詳細仕様検討結果

輸出畜産物検査申請一覧照会（EMI）業務（Web含む）における検査状況（現物検査）の出力値を見直し、「1」を現物検査「省略」とし、「2」を現物検査「実施」とする。

輸出畜産物検査申請一覧照会（EMI）業務



出力値の見直し

コード	現行	次期
1	実施	省略
2	省略	実施

検査状況【現検】（次期）

1：省略 2：実施

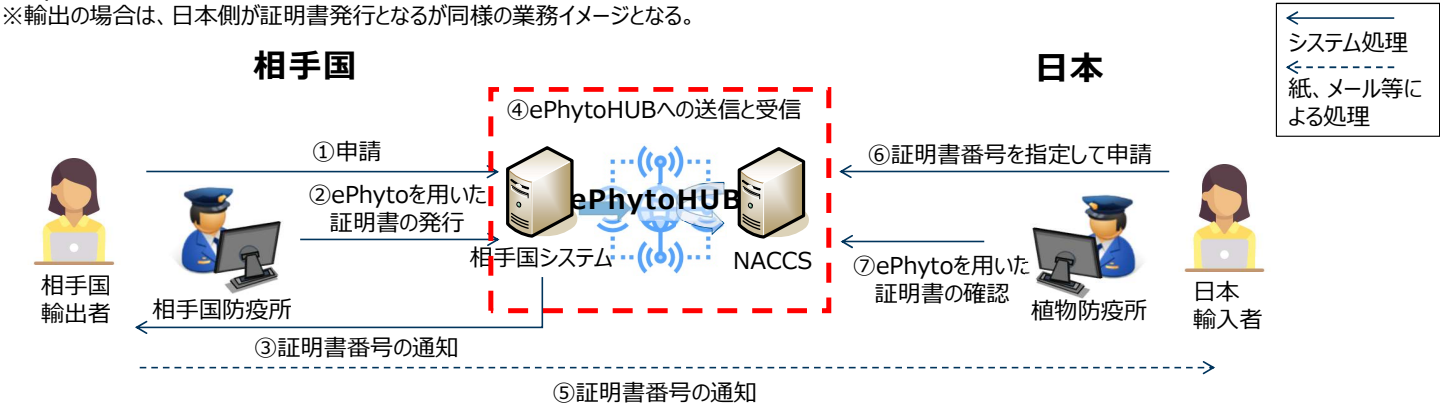
<植物検疫編>

植検	航空 海上	第18回WG	基本IV-18	電子植物検疫証明書（ePhyto）の開発（1）
----	----------	--------	---------	-------------------------

植物検疫関連業務で電子植物検疫証明書(ePhyto)を用いた業務を実施可能とする。

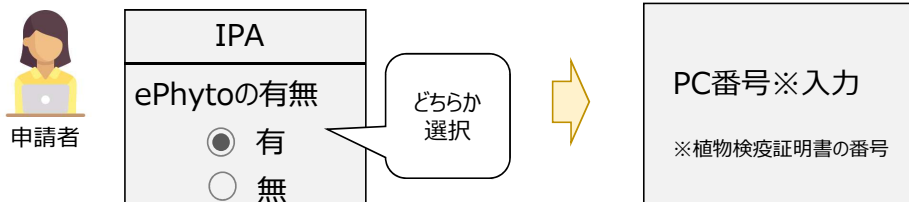
詳細仕様検討結果

ePhyto導入後業務イメージ（輸入）
※輸出の場合は、日本側が証明書発行となるが同様の業務イメージとなる。



植検 航空 第18回WG 基本IV-18 電子植物検疫証明書（ePhyto）の開発（2）

輸入植物検査申請事項登録（IPA）業務（イメージ）

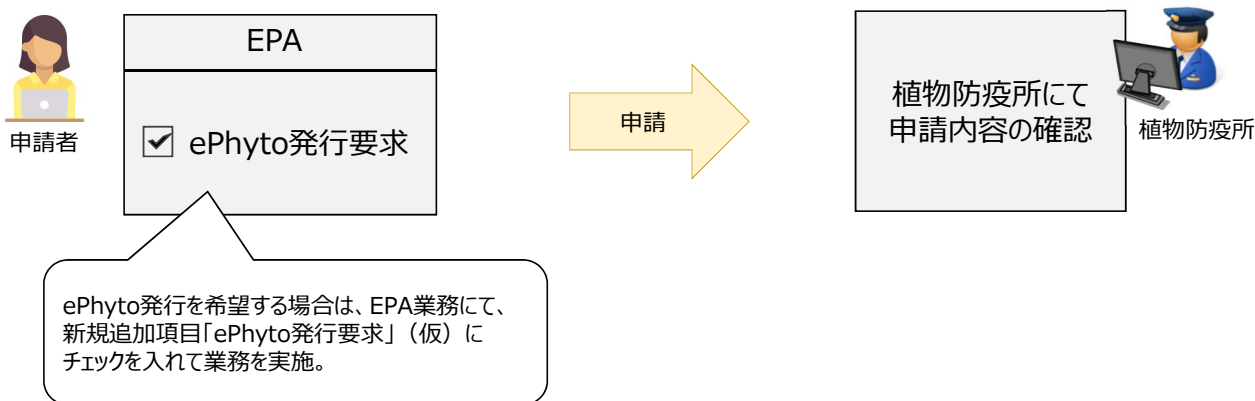


項目	現行	次期
PC番号_枠欄	1 欄	10欄
PC番号_桁数	20桁	60桁

ePhyto導入に伴い拡張

植検 航空 第18回WG 基本IV-18 電子植物検疫証明書（ePhyto）の開発（3）

輸出植物検査申請事項登録（EPA）業務（イメージ）



VIII 詳細仕様検討結果

植検	航空 海上	第18回WG	基本IV-18	輸出植物検査申請事項登録業務における「欄部項目入力」へのコピー＆ペースト機能追加
----	----------	--------	---------	--

輸出植物検査申請事項登録業務における「欄部項目入力」へのコピー＆ペースト機能追加（Web業務のみ）

詳細仕様検討結果

輸出植物検査申請事項登録業務において、コピーボタン（仮）を新規に設け、コピーしたい欄情報をコピーできるようにする。また、コピーした欄情報を、任意の欄に反映できるようにするため、ペーストボタン（仮）を新規に設け、コピーした欄情報を反映できるようにする。誤ってコピーした場合、コピーした情報を削除できるようにするため、コピー情報削除ボタン（仮）を新規に設け、コピーした欄情報を削除できるようにする（Webのみの仕様）。

輸出植物検査申請事項登録（EPA01）業務_欄部項目入力画面コピー等ボタン新設（イメージ）

1234567891011121314151617181920

欄部項目入力

欄番号12

コピーペーストコピー情報削除欄内クリア

種類・名称(必須)12-12-12345678-12-12検索XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXXXX3XXXXXXXXXX4

種類・名称(欧文)(必須)XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXXXX3XXXXXXXXXX4XXXXXXXXXX5XXXXXXXXXX6

輸出植物検査申請事項登録業務における欄部項目入力のコピー対象項目一覧

種類・名称【大分類コード】	種類・名称【中分類コード】	種類・名称【植物コード】	種類・名称【小分類コード】	種類・名称【細分類コード】
種類・名称（欧文）	学名（欧文）	ブランド・品種名	種類数	梱数（単位含む）
数量【数量】	数量（単位含む）	産地（欧文）【コード】	産地（欧文）【名称】	原産国（欧文）【コード】
原産国（欧文）【名称】	発送国（欧文）【コード】	発送国（欧文）【名称】	栽培地検査情報等	

VIII 詳細仕様検討結果

植検	航空 海上	第18回WG	基本IV-18	再輸出の検査申請時の「生産国の検査合格証明書」の初期設定値の変更
----	----------	--------	---------	----------------------------------

再輸出の検査申請時の「生産国の検査合格証明書」の初期設定値の変更（Web業務のみ）

詳細仕様検討結果

再輸出の検査申請を行う際に、新規に検査申請事項登録入力画面を初期表示した際、「生産国の検査合格証明書」のラジオボタンの初期チェックを「原本」ではなく「原本写」に設定する（Webのみの仕様）。

植物等輸出検査 - 申請情報の入力 -

利用者名 代表者氏名

入力 >> 確認登録 >> 完了

基本情報入力

申請先助産所(必須)200-

申請番号

申請年月日

協会経由

共通項目入力

必要とする検査合格証明書 通常検査合格証明書 再輸出検査合格証明書

中略

輸入国政府の輸入許可番号

生産国の検査合格証明書(必須)No.

○原本 ●原本写

検査申請事項登録 入力画面

○原本 ●原本写

植検	航空 海上	第18回WG	基本Ⅳ-18	申請情報の流用時のコードに紐づいた情報の出力及び植物等輸出検査申請控等の表示内容の追加
----	----------	--------	--------	---

申請情報の流用時のコードに紐づいた情報の出力（Web業務のみ）及び植物等輸出検査申請控等の表示内容の追加

詳細仕様検討結果

●申請情報の流用時、「輸出植物検査申請事項登録業務」の輸入国名、産地、原産国及び発送国について、流用元の情報ではなく、NACCS（植物検疫関連業務）で保持しているコードに紐づいた情報を出力する（Webのみの仕様）。

輸入国名（欧文）及び産地（欧文）の流用時イメージ



●植物等輸出検査申請控・入力控（それぞれ再輸出含む）※に、①植物コードに紐づいた表示名称、②輸入国コード及び③産地・原産国コードを追加で出力する。

※対象帳票

Web：「入力控」、「入力控（再輸出）」、「植物等輸出検査申請控」、「植物等輸出検査申請控（再輸出）」

NACCS-EDI(パッケージソフト)：「植物等輸出検査申請事項登録入力控情報（CAH020）」、「植物等輸出検査申請事項登録入力控情報（再輸出）（CAH022）」、「植物等輸出検査申請控情報（CAH026）」、「植物等輸出検査申請控情報（CAH027）」

<外為法編>

外為	航空 海上	第19回WG	基本IV-18	裏書業務における一括登録業務の新規追加
----	----------	--------	---------	---------------------

電子ライセンスに登録されている全ての取引明細に対して、一括での裏書登録を可能とする、「外為法 裏書情報登録（輸出）（一括）（JTA05）」業務、「外為法 裏書情報登録（事前確認（取引明細別裏書））（一括）（JTA06）」業務を新設する。

詳細仕様検討結果

「外為法 裏書情報呼出し（JTB）」業務において、「取引明細項番」があるライセンスの場合で、「取引明細項番」を入力しない場合は、電子ライセンス番号の申請様式に応じて、新規の一括裏書登録業務（JTA05、JTA06）を呼び出す。

JTB 外為法 裏書情報呼出し

申告番号*

電子ライセンス番号*

取引明細項番 ☐

原産地 国コード ☐

取引明細項番の
入力無し

対象申請様式	呼び出される業務
「輸出許可申請様式」	JTA05（新規）
「輸出承認申請様式」	
「事前確認申請様式（ワシントン）」	JTA06（新規）
「事前確認申請様式（かに）」	
「事前確認申請様式（まぐろ）」	
「事前確認申請様式（オゾン）」	

1電子ライセンスに対する
1申告情報の裏書を行う。

電子ライセンスに登録されて
いる全ての取引明細情報
を自動出力する。

（仮）裏書登録画面イメージ（JTA05）

取引明細番号	商品名	総数量	実績累計	残量	単位	申告欄番号	船積数量	建値	送状金額	通貨	積出港
1	NC Machine Tool	3	0	3	NO	54	3	FOB	12,000,000	JPY	JPUKB
2	Galaxy	5	1	4	NO	78	4	FOB	300,000	JPY	JPUKB

電子ライセンスの取引明細情報が自動出力された
以降の行は、自由入力行とする。自動出力行・自由
入力行を合わせて200行を上限値とする。

※「外為法 裏書情報照会（JTU）」業務で、「取引明細項番」を入力せずに照会した場合、一括での照会を可能とする。

外為	航空 海上	第19回WG	基本IV-18	外為法関連業務のWeb化
----	----------	--------	---------	--------------

外為法関連業務について、WebNACCSによる業務実施を可能とする。

詳細仕様検討結果

・Web化対象申請様式
申請書作成ソフトを利用して作成している申請書のうち、以下をWeb化の対象とする。

申請様式番号	申請様式名
100	輸出許可申請様式
200	輸出承認申請様式（共通）
600	輸入割当承認同時申請様式

Web化対象の申請様式は、
第7次NACCS更改以降、順次追加予定。

・Web化対象業務
NACCSパッケージソフトにて実施している外為法関連業務のうち、以下をWeb化の対象とする。

区分	業務名	備考
申請業務	外為法 新規・電子ライセンスの訂正申請	JAA（外為法 新規・電子ライセンスの訂正申請）に相当
	外為法 補正申請	JAB（外為法 補正申請）に相当
	外為法 取下申請	JAC（外為法 取下申請）に相当
	外為法 再発行申請	JAD（外為法 再発行申請）に相当
	外為法 必要添付書類等照会	JAM（外為法 必要添付書類等照会）に相当
	外為法 添付書類等追加申請	JAF（外為法 添付書類等追加申請）に相当
	外為法 進捗状況照会	JAP（外為法 進捗状況照会）に相当
	外為法 申請済み申請書取得	JAG（外為法 申請済み申請書取得）に相当
	外為法 汎用申請	JAH（外為法 汎用申請）に相当
	外為法 申請者情報照会	JAИ（外為法 申請者情報照会）に相当
	外為法 申請者情報登録呼出し	JAJ（外為法 申請者情報登録呼出し）に相当
	外為法 申請者情報登録	JAJ01（外為法 申請者情報登録）に相当
	外為法 パーゼル移動書類申請	JMD（外為法 パーゼル移動書類申請）に相当
通関業務	外為法 通関業者指定	JCA（外為法 通関業者指定）に相当
	外為法 指定済み通関業者照会	JCI（外為法 指定済み通関業者照会）に相当
	外為法 指定済み通関業者解除呼出し	JCC（外為法 指定済み通関業者解除呼出し）に相当
	外為法 指定済み通関業者解除	JCC01（外為法 指定済み通関業者解除）に相当
	外為法 電子ライセンス情報照会	JTS（外為法 電子ライセンス情報照会）に相当

<海上入出港編>

入出港	海上	第14,18,19回WG	基本IV-16	WebNACCS（海上入出港業務）の改善（1）
WebNACCS（海上入出港業務）について、利便性、操作性等の向上を目的として改善を行う。				

詳細仕様検討結果

①画面遷移の見直し 入港前統一申請業務にてドローメニューを設置し、申請メニュー間のページ遷移機能の強化、書類の作成状態を可視化する。

ログイン

メインメニュー

申請画面

乗組員・旅客
情報事前報告情報

乗員上陸許可申請

係留施設使用許可申請

ドローメニューから申請
を選択することで申請画
面間の遷移が可能。

ドローメニュー

入港前統一申請（WPT）

申請メニュー

税関

乗組員・旅客情報事前報告情報

入管

入港通報（予備宣言情報）

乗員上陸許可申請

検疫所

入港通報

検疫通報

地方運輸局

係留施設情報

港湾管理者

係留施設使用許可申請

港長

入港前統一

登録名の右に於
てから、[送信]を
呼出/読み込

提出先

税関

入管

検疫所

ドローメニューの開閉状態をページを移動した際も引き継
げるよう、ピン留機能を実装

ピン留ON

ピン留OFF

ドローメニュー内のステータス

アイコン	説明
	申請書類一覧の送信対象をチェックする
	入力[書類]画面で一時保存をする (仮登録含む)
	エラーチェック・送信により、エラーを検出する

VIII 詳細仕様検討結果

入出港 海上 第14,18,19回WG 基本IV-16 WebNACCS（海上入出港業務）の改善（2）

②モバイル対応

・入力項目が多いため、利用する端末としては、タブレット端末を想定。
スマートフォンでも利用は可能とする。

・対象OSは、iOS、iPadOS、Androidに対応予定、
対象ブラウザは、Safari、GoogleChromeに対応予定。
※対象OS、ブラウザのバージョンは決定次第、周知予定

③海上入出港業務のメインメニュー画面からWNC業務を削除

WVS業務の改善により、海上入出港業務関連の帳票を取得するため、
WNC業務を利用する必要がなくなることから、海上入出港業務のメインメニュー
画面からWNC業務を削除する。

④申請情報呼出時のステータス表示追加

呼出済の申請について、呼出済ステータスが表示されるよう改善する。

VIII 詳細仕様検討結果

入出港 海上 第14,18,19回WG 基本IV-16 WebNACCS（海上入出港業務）の改善（3）

⑤WAS業務への登録忘れ防止メッセージの追加

宛先未完了のまま、業務終了してしまうことを防止するため、改善を行う。

⑥宛先表示順の変更

手続の流れに併せ、申請先表示順を変更する。

VIII 詳細仕様検討結果

入出港	海上	第14,18,19回WG	基本IV-16	WebNACCS（海上入出港業務）の改善（4）
-----	----	--------------	---------	-------------------------

⑦WebNACCS（海上入出港業務）におけるグリッド機能の追加

第7次NACCSでは、WebNACCS（海上入出港業務）においてもグリッド機能を提供する。

グリッド機能イメージ図

➤ 提供するグリッド機能

- ・グリッド（表）のビュー
- ・グリッド（表）のコピー
- ・グリッド（表）への貼り付け
- ・グリッド（表）への行の挿入
- ・グリッド（表）の行の削除

➤ グリッド機能を提供する情報

※括弧内にグリッドで登録可能な件数を記載

- ・乗組員情報（30人）
- ・旅客情報（20人）
- ・危険物情報（20件）
- ・船用品情報（50件）
- ・本邦入港前外国の寄港地情報（30港）

VIII 詳細仕様検討結果

入出港	海上	第14回WG	基本IV-10	WVS業務の改善
-----	----	--------	---------	----------

入出港関連の帳票を確認・取得する業務を一本化する。

詳細仕様検討結果

入出港関連の帳票確認業務は、書類毎に「帳票確認（WNC）」業務と「書類状態確認（WVS）」業務を使い分ける必要があったが、次期WebNACCSにおいては、入出港関連の帳票確認業務をWVS業務に一本化する。

書類状態確認（WVS）

書類状態確認 検索

条件を指定し、[検索]をクリックしてください。検索結果が下に表示されます。

1. 検索条件

照会種別	必須	申請情報	業務名称
宛先		☐ 申請情報 ☐ 船舶情報 ☐ 運航情報 ☐ 乗組員情報 ☐ 旅客情報 ☐ 船用品情報 ☐ 帳票情報	☐ 検査所 ☐ 海上保安部署 ☐ 地方運輸局 ☐ 海上交通セン
届出／申請番号			船舶コード

WNC業務でしか取得ができなかった入出港関連の帳票をWVS業務で取得できるように改善する

VIII 詳細仕様検討結果

入出港	海上	第14回WG	基本IV-10	CSVファイル作成ツールの改善及びWUD業務の改善（1）
乗組員・旅客・危険物作成ツールでのCSV保存の際に、ファイル名称を任意で設定できるように変更を行う。また、アップロード後のファイル選択や検索方法を改善する。				

詳細仕様検討結果

ツール内に「ファイル名」欄を追加し、任意のファイル名を設定可能とする。

乗組員・旅客・危険物情報作成ツール

当ツールは入出港業務（WebNACCS）で使用する乗組員情報・旅客情報・危険物情報を表の入力内容から作成するツールです。

1. CSVファイル出力
CSVファイルを出したいシート（乗組員・旅客・危険物）の表へ情報を入力してください。CSVファイルを出したいフォルダを選択してください。出力するファイル名を入力したら出力したいファイルのボタンを押下してください。
※1 接頭辞の「crew_」「pass_」「dang_」末尾の「.csv」は自動で付与されます。
crew_〇〇〇.csvの〇〇〇にあたるファイル名を入力してください。
入力がない場合、「接頭辞_年月日時分秒.csv」の形式で出力されます。
※2 船名等、ファイルの内容が半角英字や半角数字となるような任意の文字列を入力してください。

ファイル出力先 参照

ファイル名

乗組員CSV出力 旅客CSV出力 危険物CSV出力

2. CSVファイル読込
読み込むファイルの種別を選択して、読込ボタンを押下してください。

種別 乗組員

読込

入力されたファイル名で保存する。
※ 接頭辞の「crew_」「pass_」「dang_」、末尾の「.csv」は自動で付与する。

（例）「内航丸_20220101」と入力して乗組員CSV出力した場合は、「crew_内航丸_20220101.csv」というファイル名で保存される。

VIII 詳細仕様検討結果

入出港	海上	第14回WG	基本IV-10	CSVファイル作成ツールの改善及びWUD業務の改善（2）
-----	----	--------	---------	------------------------------

項目「備考欄」を追加し、任意の文字列を登録可能にする。
登録した文字列によるアップロードファイルの検索を可能にし、登録した文字列は検索結果表示画面に表示する。
また、連続でのファイルアップロードを可能とするため、アップロード結果画面より、アップロード画面に戻ることができるよう画面遷移を改善する。

アップロード画面

CSVアップロード（WUD）

乗組員・旅客・危険物 アップロード

CSVファイル選択

種別 乗組員情報

対象ファイル C:\temp\crew_NAIKOSEN4_20211215135357.csv

備考欄 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

全角入力、50文字程度
半角入力、100文字程度

アップロード情報検索画面

CSVアップロード（WUD）

乗組員・旅客・危険物 アップロード情報検索

検索条件

種別 乗組員情報

アップロード番号 アップロード年月日

アップロードファイル名

備考欄 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

検索キーとしても「備考欄」を追加

アップロード結果画面

CSVアップロード（WUD）

乗組員・旅客・危険物 アップロード結果

① 乗組員情報をアップロードしました。
ステータス: 正常
アップロード番号: UP001202246
件数: 1
アップロードファイル名: crew_NAIKOSEN4_20211215135357.csv
アップロード日時: 2021/12/17 17:34:06
備考欄: XXXXXX

メニューに戻る アップロード画面に戻る

アップロード画面に戻り、続けてアップロードが可能

アップロード情報検索結果画面

検索結果 (22 件)
※1 ページ 1 / 2 ページ

選択	アップロード番号	アップロード日時	アップロードファイル名	備考欄	件数
☒	UP001202246	2021/12/15 13:58:36	crew_NAIKOSEN4_20211215135357.csv		1
☐	UP001202215	2021/12/13 15:54:08	crew_NAIKOSEN4_20211207135957.csv		1
☐	UP001202202	2021/12/13 15:25:49	crew_NAIKOSEN4_20211207135957.csv		1
☐	UP001201756	2021/11/29 14:26:06	crew_20211129142557.csv		1
☐	UP001201745	2021/11/29 14:25:08	crew_20211129142552.csv		2
☐	UP001201712	2021/11/29 13:48:07	crew_20211129134808.csv		2

アップロード時に入力した備考を表示

VIII 詳細仕様検討結果

入出港 海上 第14回WG 基本IV-10 WOT業務の改善

「出港届等（WOT）」業務（内航）にて、「入港届等」を呼出可能業務とする。

詳細仕様検討結果

呼び出し可能業務

船舶基本情報登録（内航）
入港前統一申請（内航）
入港届等（内航）
出港届等（内航）

出港届等（内航） 呼出検索

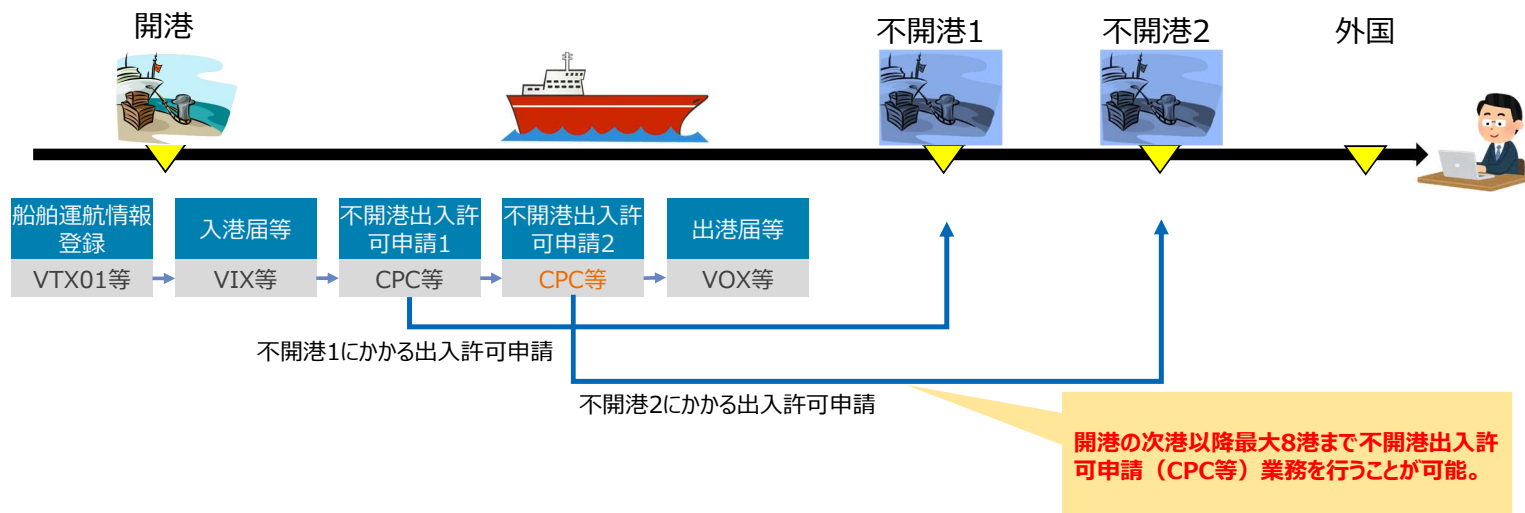
検索条件			
船名検索*		届出/申請番号	
船舶コード種別		船舶コード	
船舶名称			
検索年月日（日）		検索年月日（至）	
			リセット 検索

VIII 詳細仕様検討結果

入出港 海上 第18回WG 基本IV-14 不開港から不開港への船舶出入港に係る許可申請のシステム可能化

出港届等（VOX等）業務に紐づけ可能な「不開港出入許可申請番号」項目を1欄から8欄に増加することにより、不開港出入許可申請（CPC等）業務において、開港の次港以降最大8港まで不開港出入許可申請（CPC等）業務を行うことを可能とする。

詳細仕様検討結果



VIII 詳細仕様検討結果

入出港	海上	第14回WG	基本IV-4	入港通報等の添付ファイル機能の追加
-----	----	--------	--------	-------------------

海港検疫申請時の添付ファイル機能を追加する。

詳細仕様検討結果

ファイル申請業務（WFT／KFT）について、検疫所宛にファイル添付をできるよう変更する。（現行の港湾管理者宛の添付ファイル機能と同等）添付可能とする申請は、「入港通報」「検疫通報」「入港届（明告書含む）」とする。

WFT・KFT画面

<WFT>ファイル申請：申請書類へのファイル添付

ファイル申請(WFT)

申請書類へのファイル添付

宛先情報
宛先：金沢港検疫所（金沢港）

申請情報
検疫区分：入港届
添付対象情報種別名：入港届（明告書含む）

添付ファイル
添付するファイル：ファイルを選択 選択していません

<KFT>ファイル申請：申請書類へのファイル添付

宛先に検疫所を設定可能にする

申請先登録コード

添付対象情報種別名に以下の書類を追加する。
入港通報、検疫通報、入港届（明告書含む）

VIII 詳細仕様検討結果

入出港	海上	第14回WG	基本IV-4	検疫所へ本邦寄港地情報の通知
-----	----	--------	--------	----------------

検疫所へ本邦寄港地情報を通知する。

詳細仕様検討結果

現行の検疫所側のシステムにおいては、当港入港前本邦寄港地情報が表示されない仕様となっているため、申請者よりFAX等で追加情報を取り寄せていたが、システム上で当港入港前本邦寄港地情報を確認できるよう仕様変更を行う。

WebNACCS：WPT61業務-入港通報

入港前統一申請(WPT)

入港通報(外航) 新規登録

宛先情報
宛先：東京検疫所

船舶情報
船舶コード：
航海番号(1)： 航海番号(2)：

当港入港前本邦寄港地情報

項番	寄港地コード	出港年月日
1	一覧参照	

+ 追加入力

当港入港前本邦寄港地情報欄に**出港年月日**を入力する申請項目を追加する。

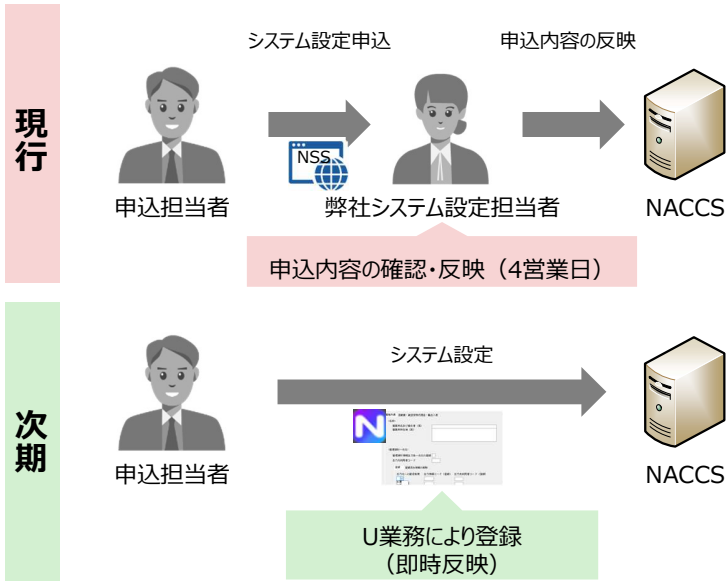
- ・出港年月日については「任意」項目とする。
- ・日付として正しい値（存在する日付）であることをチェックする。

※船舶運航情報登録（VTX01）の出港年月日も「任意」

<利用申込編>

NSS	航空 海上	第17回WG	基本IV-13	利用申込手続の改善（1）
システム設定申込の一部を利用者設定業務（U業務）として開放し、設定変更に要する期間を短縮する。また、新規利用申込での2段階申込手続を見直し、スムーズな利用開始が行えるよう改善を行う。				

詳細仕様検討結果



システム設定申込画面（現行）：NSS（ウェブサイト）にて入力

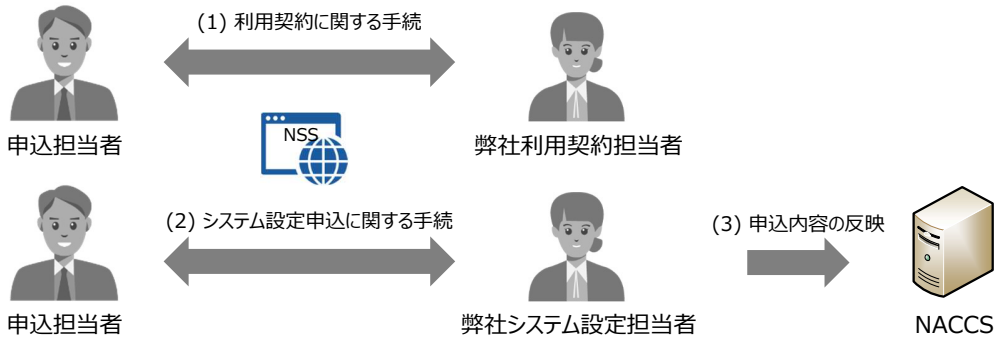
The screenshot shows a web form for system setup application. It includes fields for company name, contact information, and various codes. There are checkboxes for different types of applications and a section for additional information. The form is titled 'システム設定申込画面（現行）：NSS（ウェブサイト）にて入力'.

システム設定画面案（次期）：NACCSの利用者設定業務にて入力

The screenshot shows a proposed web form for system setup application. It includes fields for company name, contact information, and various codes. There are checkboxes for different types of applications and a section for additional information. The form is titled 'システム設定画面案（次期）：NACCSの利用者設定業務にて入力'.

NSS 航空 第17回WG 基本IV-13 利用申込手續の改善（2）

現行



次期



第7次NACCSに関する情報、問合せ先

IX 第7次NACCSに関する情報、問合せ先

<第7次NACCSに関する情報>

第7次NACCSに関する情報は、NACCS掲示板の以下URLに掲載しております。
本日の資料やこれまでの専門部会、WG資料等を掲載しておりますので、必要に応じてご参照いただきますようお願いいたします。

■ 第7次NACCSに関する情報ページ

URL : <https://bbs.naccscenter.com/naccs/dfw/web/dai7ji/index.html>

(NACCS掲示板 > NACCS業務仕様・関連資料 > 各種資料 > 第7次NACCS更改関連情報)



本日ご説明した内容を含む説明動画を掲載いたします。

動画の掲載についてもNACCSセンターホームページ、NACCS掲示板の新着情報や第7次NACCSに関する情報ページにてご案内させていただきます。

<問合せ先>

本資料に関する問合せは、以下の「問合せフォーム」よりお問合せください。

■ 第7次NACCS詳細仕様（制度改正等を除く）説明会問合せフォーム

URL : <https://bbs.naccscenter.com/naccs/dfw/web/inquiry/v7toiawase/v7toiawase/>

(本説明会のご案内ページ下段にリンクがございます。)



便利な機能のご紹介

お客様の利便性向上につながる機能のご紹介資料です。
社内や関係者様への周知等でご活用ください。



UI

第7次NACCS

NACCSパッケージソフトのユーザーインターフェース改善

NACCSパッケージソフトのユーザーインターフェース改善について、利便性、操作性等の向上を目的として、主に以下の改善を行います。

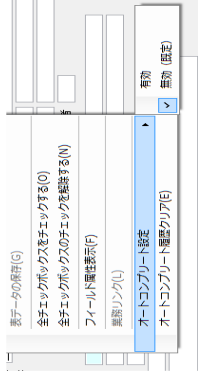
- ①オートコンプリート対象項目の拡大
- ②個人用入力チェック機能の追加
- ③複数行項目での折り返し可能化

POINT

01

オートコンプリート対象項目の拡大

過去の入力履歴から入力候補を提示する
オートコンプリート機能の対象項目を
利用者側にて設定できるよう変更します。

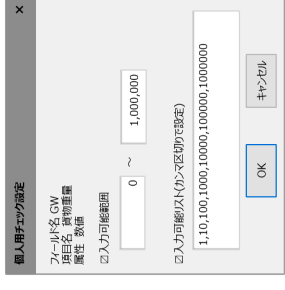


POINT

02

個人用入力チェック機能の追加

個人用に入力チェック条件を追加できる
機能を追加します。入力内容が設定した
入力チェック条件を満たしていないければ、
ポップアップ、警告ダイアログが表示されます。

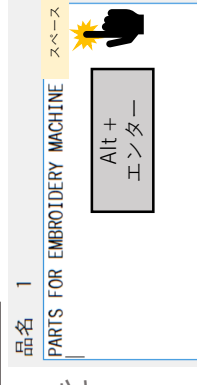


POINT

03

複数行項目での折り返し可能化

複数行の入力が可能な項目で行の
折り返しをする場合、「Alt+エンターキー」を
1回入力することで、次の行まで自動的に
スペース埋めできるよう変更します。



詳細な内容については、第9、15回WG資料をご参照ください。

URL : http://www.naccs.jp/archives/7g_naccs/senmon/index.html



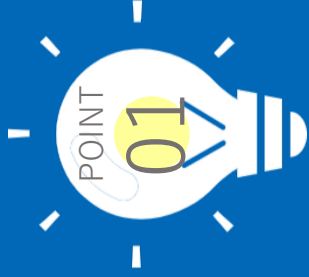
UI

第7次NACCS

WebNACCSにおけるユーザーインターフェースの見直し

利便性、操作性等の大幅な向上を目的に、画面遷移、レイアウト、デザイン等について改善を行います。

- ① レイアウト・デザイン等の改善
- ② 入力機能の改善 I
- ③ 入力機能の改善 II



レイアウト・デザイン等の改善

「海上入出港業務」「輸出入通関・貨物関連業務」について、利便性・操作性等を考慮した改善を行います。

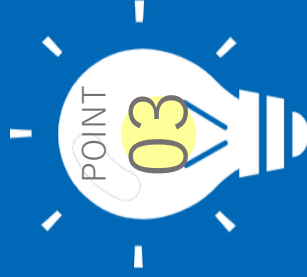
- ・グローバルメニューの設置
- ・文字の視認性向上
- ・リンクのボタン表示



入力機能の改善 I

- ・日付の入力補助

カレンダーから日付を選択することで入力を可能とします。
入力ガイドの設置
エラーの多い項目を中心にガイダンスを表示します。



入力機能の改善 II

- ・エラー表示の改善

修正すべき箇所が直ぐ分かるように強調表示します。

詳細な内容については、第14回WG資料をご参照ください。

URL : http://www.naccs.jp/archives/7g_naccs/senmon/index.html



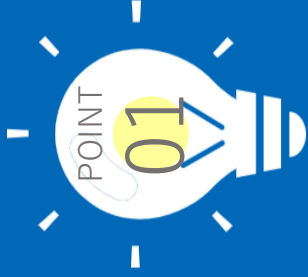
UI

第7次NACCS

携帯端末への対応

WebNACCSの「輸出入通関・貨物関連業務」について、従来のパソコン向けのペー ジレイアウトに加え、スマートフォン・タブレット向けのペー ジレイアウトを提供します。

- ①スマートフォン・タブレットにもデジタル証明書
- ②ペー ジレイアウト
- ③携帯端末向けペー ジレイアウト提供対象業務



スマートフォン・タブレットにもデジタル証明書

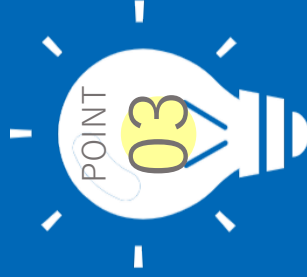
新しいデジタル証明書はスマートフォンやタブレット端末でも取得が可能となり、WebNACCSが利用できます。



ペー ジレイアウト

従来のパソコン向けのペー ジレイアウトに加え、スマートフォン・タブレット向けのペー ジレイアウトを提供します。

- ・大画面向けの二段組のペー ジレイアウト
- ・中小画面向けの一段組のペー ジレイアウト



携帯端末向けペー ジレイアウト提供対象業務

スマートフォン・タブレット向けのペー ジレイアウトを提供します。

「輸出入通関・貨物関連業務」で提供する各照会業務および包括保険確認登録業務

詳細な内容については、第14回WG資料をご参照ください。

URL : http://www.naccs.jp/archives/7g_naccs/senmon/index.html



貨物

第7次NACCS

貨物状況通知サービスの提供

貨物が搬入されたかどうか都度照会を実施しているため、搬入時や許可時等の貨物状況が変更となった時に通知が欲しいとの要望にお応えして、新規業務をご提供します。

POINT

01

リアルタイムに状況通知を受信！

事前に予約登録した通知契機業務実施時にリアルタイムに予約端末へ帳票電文が通知されます。
(例：搬入業務がされたと同時に状況通知が出力)



POINT

02

確認のための数度の照会が不要に！

通知を受けたい対象貨物等を事前に予約登録しておくことで、予約した通知契機業務での状況変更されるまでの数度の照会が不要となります



POINT

03

通知先予約で社内問合せ削減に寄与！

同一企業の別利用者ID・別端末への通知設定も可能です*
電話等でやり取りしていた社内問合せ削減に寄与します



*通知先利用者IDで各照会業務権限が有している事が前提です

詳細な内容については、第16回WG資料をご参照ください。

URL : http://www.naccs.jp/archives/7g_naccs/senmon/index.html



貨物

第7次NACCS

ACL業務の改善

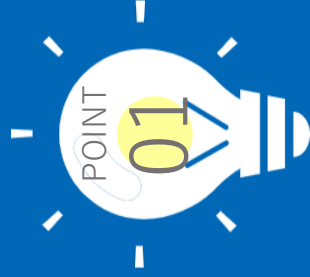
長年改善のご要望をいただいていたメールアドレスなどへの
“(アンダーバー)”の入力可能性の他、より登録者様、受信者様の
利便性向上に向けた仕様変更を行います。

各POINTの対象業務

POINT 01 ACL01/ACL02

POINT 02 ACL01/ACL11/IAL

POINT 03 ACL01/ACL02



“(アンダーバー)、～(チルダ) 入力可能化

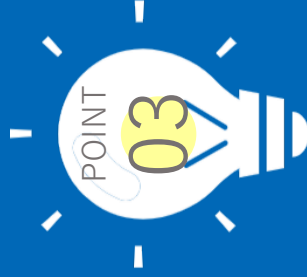
以下の項目にアンダーバー、チルダの入力が可能になります。

- ・荷送人/荷受人/着荷通知先 名称、住所・電話番号
- ・品名 ・記号番号 ・インボイス番号
- ・荷主連絡先メールアドレス(1欄から3欄に項目追加)



項目追加

- ①コンテナごとのディメンション、内個数の追加
- ②シール番号欄の追加(4欄から6欄へ)



電文分割の選択可能化(メール処理方式受信者の方向け)

記号番号情報、品名情報、車台番号情報を本情報と
分割しないで受信できる新規電文を設けます。

予めEXC型受信電文の分割有無を選択可能とし、現状
通り分割での電文受信も可能です。

詳細な内容については、第17回WG資料をご参照ください。

URL : http://www.naccs.jp/archives/7g_naccs/senmon/index.html

荷主の皆様へ！DXの時代です！ S/Iを電子化してみませんか！！

貨物

第7次NACCS SIR業務とEIR業務の統合

シッピングインストラクション（S/I）の送信業務について、
海上用（SIR業務）と航空用（EIR業務）を統合いたします。

統合に伴い、後続のインボイス・パッキングリスト情報登録業務（IVA）
にて、S/I情報を活用した入力が可能になります。※

NACCSを用いたS/Iのメリットをご紹介します。

POINT

01

情報の伝達

NACCSを通じて、海貨業者やフォワーダーへS/I情報を
伝達することができます。

POINT

02

貨物状況の照会（業務コード：ISI）

貨物の搬出入状況や輸出申告状況等の照会が
可能になります。

POINT

03

後続業務でのS/I情報の活用

後続業務にてS/I情報を活用した入力が可能となり、転記
ミス等の防止・入力の省力化につながります。

詳細な内容については、第8回WG資料をご参照ください。

URL： http://www.naccs.jp/archives/7g_naccs/senmon/index.html

※ 海上貨物については現行システムでも既に可能です。

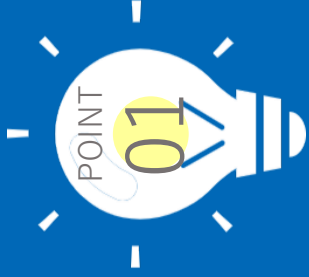
海上
入出港

第7次NACCS
WebNACCS (海上入出港業務) の改善

WebNACCS（海上入出港業務）について、利便性、操作性等の向上を目的として、主に以下の改善を行います。

- ①画面遷移の見直し
- ②モバイル対応
- ③グリッド機能の追加

なお、WebNACCS全体のユーザーインターフェースの見直しとして、デザイン、レイアウトの改善や、カレンダー入力、エラー表示の改善についても併せて実施します。



画面遷移の見直し

ドローメニューを設置し、申請メニュー間のページ遷移機能の強化、書類の作成状態を可視化します。



アイコン表示



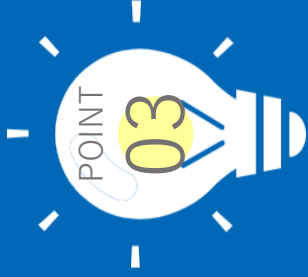
一時保存


$$\frac{1}{H}$$


モバイル対応

タブレット端末を想定し、モバイル対応を行います。
なお、スマートフォンでも利用可能です。

対象OSは、iOS、iPadOS、Androidに対応予定



グリッド機能の追加

WebNACCS（海上入出港業務）においても
グリッド機能を提供します。
Excelのように一覧形式で入力が可能となります。



詳細な内容については、第14、18、19回WG資料をご参照ください。

URL : http://www.naccs.jp/archives/7q_naccs/senmon/index.html



NACCS

Nippon Automated Cargo And Port Consolidated System